


## カラーカメラ HDC3200

### 取扱説明書

国・地域によっては販売されない機種があります。  
ソニーの相談窓口を確認してください。

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、  
いつでも見られるところに必ず保管してください。

# 目次

<b>概要</b> .....	<b>3</b>
対応フォーマットについて .....	3
システム構成 .....	4
<b>各部の名称と働き</b> .....	<b>5</b>
アクセサリ取り付け部 .....	5
操作 / 端子部 .....	6
<b>準備</b> .....	<b>10</b>
レンズの取り付け .....	10
フランジバックの調整 .....	10
接眼ビューファインダーの取り付け .....	11
直視ビューファインダーの取り付け .....	12
ケーブルクランプベルト（付属）の取り付け .....	12
ショルダーパッドの位置調整 .....	13
三脚への取り付け .....	14
<b>撮影のための調整と設定</b> .....	<b>15</b>
ブラックバランス / ホワイトバランスの調整 .....	15
電子シャッターの設定 .....	16
トランスポート変換機能の設定 .....	17
フォーカスアシスト機能の設定 .....	17
フォーカスポジションメーター機能の設定 .....	19
VF ダイナミックコントラスト機能の設定 .....	20
HDR Look 機能の設定 .....	20
<b>カメラ出力の設定</b> .....	<b>21</b>
<b>ビューファインダー画面上の状態表示</b> .....	<b>22</b>
<b>メニュー操作</b> .....	<b>23</b>
メニュー操作の開始 .....	23
ページの選択 .....	24
メニュー項目の設定 .....	24
USER メニューの編集 .....	25
<b>メニュー一覧</b> .....	<b>28</b>
メニューツリー .....	28
OPERATION メニュー .....	34
PAINT メニュー .....	47
MAINTENANCE メニュー .....	52
FILE メニュー .....	60
DIAGNOSIS メニュー .....	62
<b>付録</b> .....	<b>63</b>
使用上のご注意 .....	63
エラーメッセージ .....	64
<b>USB メモリーの取り扱い</b> .....	<b>65</b>
<b>仕様</b> .....	<b>66</b>
別売品 / 関連機器 .....	66
外形寸法 .....	67

# 概要

HDC3200は2/3型グローバルシャッター付きCMOSセンサーによりF10 (4K/59.94P)/F11 (4K/50P)の高感度と高S/Nを実現しています。

HDC3200はファイバーケーブルでカメラコントロールユニット (CCU) HDCU3100<sup>a)</sup>、HDCU3170<sup>b)</sup>、HDCU3500、HDCU2000シリーズ<sup>c)</sup>、またはHDCU5000と接続することにより、スタジオカメラとしての運用が可能です。

- a) HDCU3100のソフトウェアバージョンを2.00以上にして使用してください。
- b) オプティカルファイバーコネクタキット HKCU-FB30 (別売) を装着してください。
- c) HDCU2000シリーズのソフトウェアバージョンを3.30以上にして使用してください。

## ご注意

システム運用を開始する前に、本機、およびシステム構成機器のソフトウェアバージョンとROMバージョンが動作保証バージョンになっていることを確認してください。

## 対応フォーマットについて

本機は、標準で以下のフォーマットに対応しています。

- 1920x1080/59.94i
- 1920x1080/50i
- 1280x720/59.94P
- 1280x720/50P

また、下記のカメラオペレーティングソフトウェア (別売) をインストールすることで、対応フォーマットを拡張することができます。

◆ 詳しくは、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。

拡張フォーマット	カメラオペレーティングソフトウェア			
	HZC-PRV50	HZC-DFR50	HZC-PSF50	HZC-UG50
1920x1080/59.94P <sup>*1</sup>	○			
1920x1080/50P	○			
1920x1080/59.94P (HDR) <sup>*1</sup>	○			
1920x1080/50P (HDR)	○			
1920x1080/59.94i(2x)		○ <sup>*2</sup>		
1920x1080/50i(2x)		○ <sup>*2</sup>		
1280x720/59.94P(2x)		○ <sup>*2</sup>		
1280x720/50P(2x)		○ <sup>*2</sup>		
1920x1080/23.98PsF			○	
1920x1080/24PsF			○	
1920x1080/29.97PsF			○	
1920x1080/25PsF			○	
3840x2160/59.94P <sup>*3</sup>	○ <sup>*4</sup>			
3840x2160/50P	○ <sup>*4</sup>			
3840x2160/24P			○ <sup>*4</sup>	
3840x2160/23.98P			○ <sup>*4</sup>	
3840x2160/25P			○ <sup>*4</sup>	
HD(RGB444)				○

○：必要なカメラオペレーティングソフトウェア

\*1 60.00Hz の設定が ENABLE の場合、60P を含みます。

\*2 HZC-DFR50 を有効にするためには、ソフトウェアライセンスに加えて Filter Disk Unit の交換が必要です。

詳しくはソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。

\*3 OUTPUT FORMAT の 60.00Hz の設定が ENABLE の場合、60P にも対応します。

\*4 カメラコントロールユニットに別売品の装着が必要です。詳しくは、ソニーの営業担当者にお問い合わせください。

各ソフトウェアには使用期間限定版ライセンスが用意されており、末尾の文字が期限を示します。末尾にライセンス期限を示す文字がない場合は、無期限のライセンスになります。

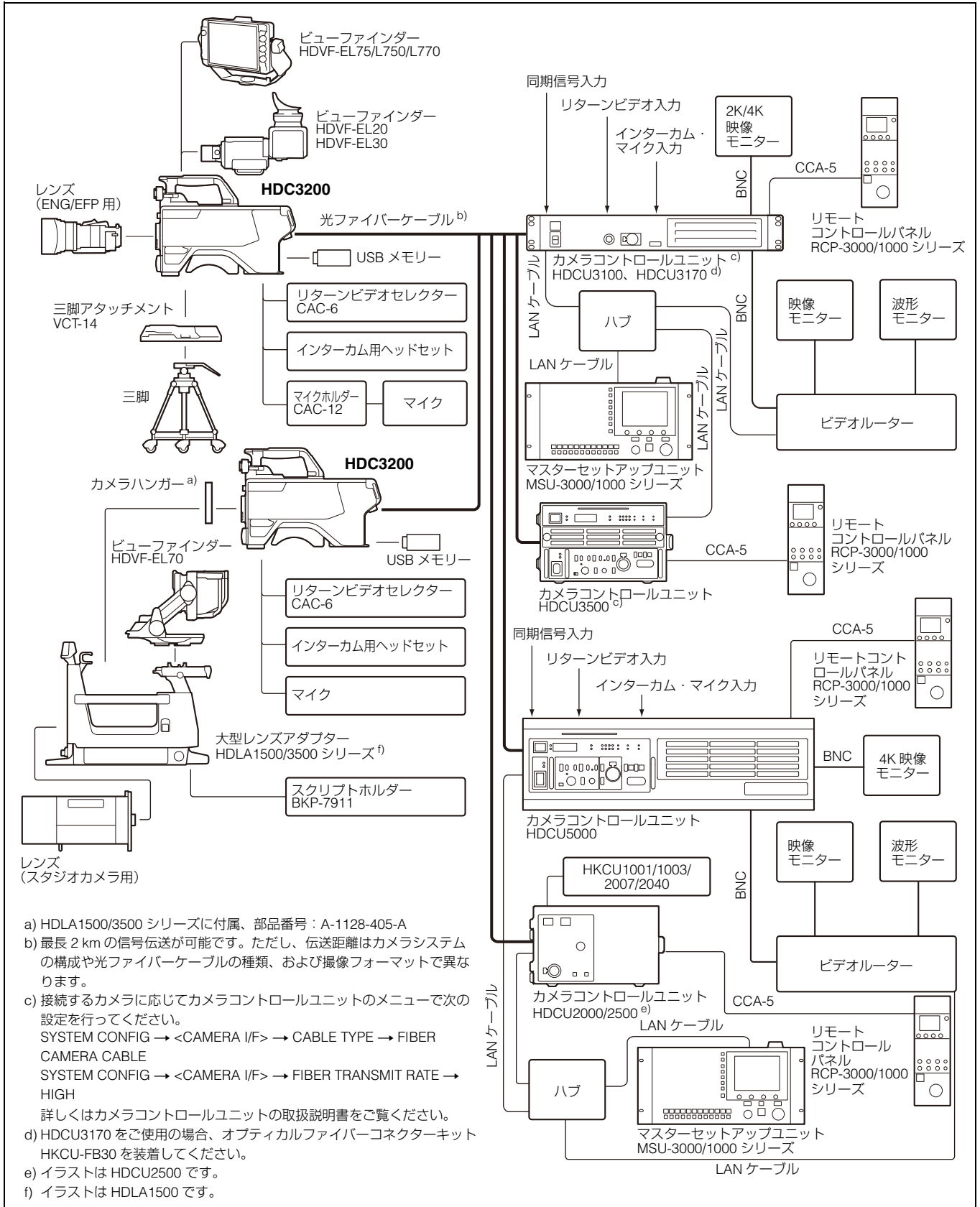
- M：30 日間限定
- W：7 日間限定

# システム構成

## ご注意

図に記載されている周辺機器や関連機器は、「生産完了」となっている場合があります。  
機器の選定にあたっては、ソニーの営業担当者またはお買い上げ店にお問い合わせください。

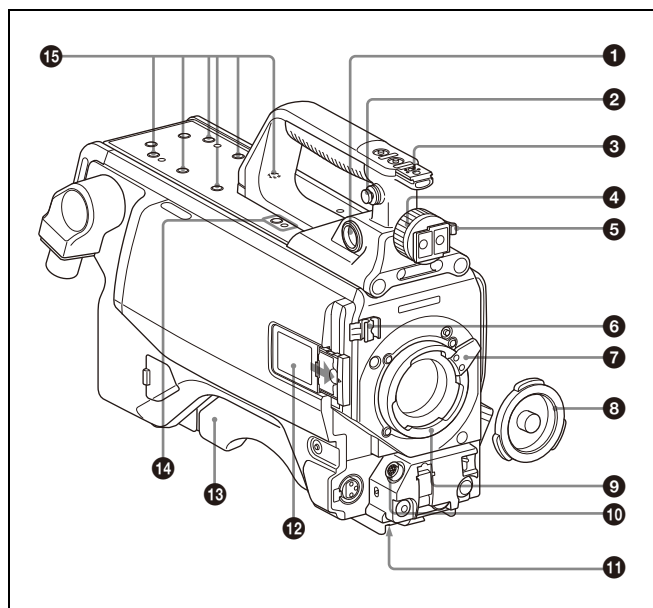
## 接続例（光ファイバー伝送）



- a) HDLA1500/3500 シリーズに付属、部品番号：A-1128-405-A
- b) 最長 2 km の信号伝送が可能です。ただし、伝送距離はカメラシステムの構成や光ファイバーケーブルの種類、および撮像フォーマットで異なります。
- c) 接続するカメラに応じてカメラコントロールユニットのメニューで次の設定を行ってください。  
SYSTEM CONFIG → <CAMERA I/F> → CABLE TYPE → FIBER CAMERA CABLE  
SYSTEM CONFIG → <CAMERA I/F> → FIBER TRANSMIT RATE → HIGH  
詳しくはカメラコントロールユニットの取扱説明書をご覧ください。
- d) HDCU3170 をご使用の場合、オプティカルファイバーコネクターキット HKCU-FB30 を装着してください。
- e) イラストは HDCU2500 です。
- f) イラストは HDLA1500 です。

# 各部の名称と働き

## アクセサリ取り付け部



### ① VF (ビューファインダー) 端子 (20ピン)

ビューファインダー (別売) のケーブルを接続します。

### ② ショルダーベルト取り付け金具

ショルダーベルト (別売) の一端をこの取り付け金具に取り付け、もう一端を右側面のショルダーベルト取り付け金具に取り付けます。

### ③ アクセサリーシュー

1/4インチネジで取り付けるタイプです。

### ④ ビューファインダー左右位置固定リング

ビューファインダーの左右位置をロックします。位置を調整するときは、このリングをゆるめます。

### ⑤ ビューファインダー前後位置固定レバー

ビューファインダーの前後位置は、前後位置固定レバーのロックを解除した状態で調整し、位置が決まったらロックします。

◆ ビューファインダーの位置の調整について詳しくは、「接眼ビューファインダーの取り付け」(11ページ)をご覧ください。

### ⑥ レンズ用ケーブルクランプ

レンズ (別売) のケーブルを固定します。

### ⑦ レンズ固定レバー

レンズをレンズマウントに固定します。

### ⑧ レンズマウントキャップ

レンズを取り付けていないときは、このキャップをはめ込んでおいてください。レンズ固定レバーを押し上げると、取り外せます。

### ⑨ レンズマウント

レンズを取り付けます。

### ⑩ LENS (レンズ) 端子 (12ピン)

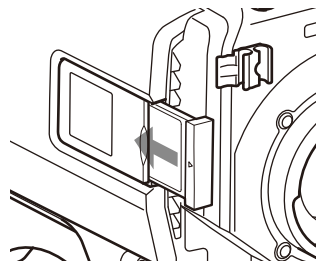
レンズのケーブルを接続します。この端子を介して、本機からレンズの機能をコントロールすることができます。

### ⑪ 三脚マウント

本機を三脚に固定するとき、三脚アタッチメントVCT-14を取り付けます。

### ⑫ カメラナンバー

付属のカメラナンバーラベルを挿入し、カメラナンバーを表示することができます。



### ⑬ ショルダーパッド

前後に位置を調整できます。

◆ 詳しくは「ショルダーパッドの位置調整」(13ページ)をご覧ください。

### ⑭ マイクホルダー取り付け部

マイクホルダー CAC-12を取り付けることができます。

◆ 詳しくはマイクホルダーの取扱説明書をご覧ください。

### ⑮ V ウェッジシューアタッチメント取り付け部

ビューファインダー HDVF-EL75/L750/L770を取り付けるとき、ここにウェッジシューを取り付けます。

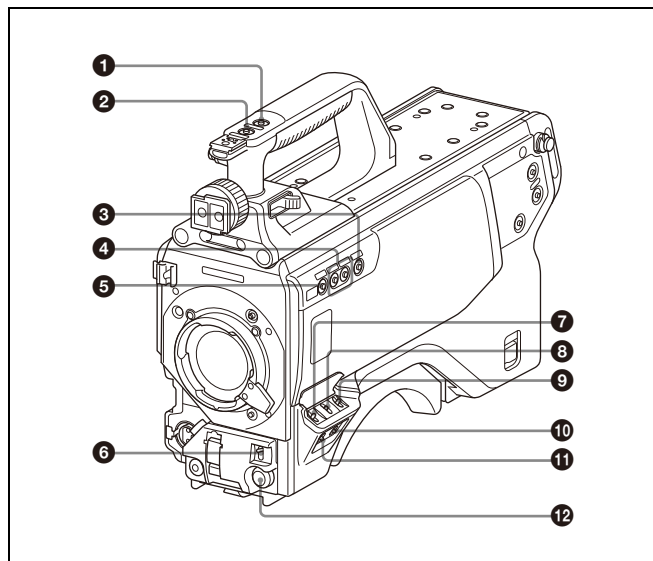
### 【ご注意】

Vウェッジシューアタッチメントは前後のどちらかを選んで取り付けてください。なお、前側を選んだ場合、ビューファインダーのチルトパン操作角度に制限が生じます。

◆ 取り付け方法については、ビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。

## 操作 / 端子部

### 前面 (右)



#### ① INCOM (インターカム) ボタン

押ししている間、インターカムのマイクがONになります。このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

#### ② RET 1 (リターンビデオ 1) ボタン

押ししている間、カメラコントロールユニットからのリターンビデオ1信号をビューファインダー画面でモニターできます。側面のRET 1ボタン (7ページ) および後面操作パネルのRET/ASSIGNABLE ボタンA (8ページ) と同じ機能です。このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

#### ③ アサインابلスイッチ

ビューファインダーに表示されるメニューを使って、各種の機能を割り付けることができます。また、割り付けた機能に該当するラベル (付属) を貼り付けて、割り付けた機能名を表示することもできます。

#### ④ 内蔵フィルター切り換えボタン

FILTER LOCALボタンを押しながら、切り換えボタン (UP/DOWN) を押して内蔵のNDフィルターを切り換えます。

#### ⑤ FILTER LOCAL (内蔵フィルター) ボタン

このボタンを押しながら、どちらかの内蔵フィルター切り換えボタンを押して内蔵のNDフィルターを切り換えます。

#### ⑥ AUTO W/B BAL (ホワイトバランス/ブラックバランス自動調整) スイッチ

カメラコントロールユニットを接続せずカメラ単体で使用する時、ホワイトバランスとブラックバランスを自動調整します。**WHT** : ホワイトバランスを自動調整します。**BLK** : ブラックバランスを自動調整します。

#### ⑦ GAIN (ゲイン) スイッチ

カメラコントロールユニットを接続せずカメラ単体で使用する時、撮影時の照明の状態に応じて映像アンプのマスターゲイン (利得) を切り換えます。L、M、Hの設定に対応するゲイン値は、出荷時にL=0 dB、M=6 dB、H=12 dBに設定されています。

#### ⑧ OUTPUT/AUTO KNEE (出力信号選択 / オートニー) スイッチ

カメラコントロールユニットを接続せずカメラ単体で使用する時、本機からビューファインダー、ビデオモニターへの出力信号 (カラーバー信号、またはカメラが撮影している映像) を選びます。撮影している映像を出力信号として選択しているときは、オートニー機能を使用できます。スイッチ設定と出力信号/オートニー機能の選択の関係は次のとおりです。

OUTPUT	AUTO KNEE	機能
BARS	OFF	カラーバー信号が出力される。
CAM	OFF	カメラで撮影している映像が出力される。オートニー回路は機能しない。
CAM	ON	カメラで撮影している映像が出力される。オートニー回路が機能する。

#### ⑨ WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り換え) スイッチ

カメラコントロールユニットを接続せずカメラ単体で使用する時、ホワイトバランスの調整方式、および調整値を記憶させて使用することができます。**PRST (プリセットメモリー)** : 色温度 3200K に対応するホワイトバランスのプリセット値に調整されます。**A または B** : メモリー A または B を選択します。

#### ⑩ DISPLAY (ディスプレイ) スイッチ

以下のように機能します。**DISPLAY** : ビューファインダー画面にオペレーション時の状態を示す文字が現れます。**OFF** : ビューファインダー画面の文字表示がすべて消えます。**MENU** : ビューファインダー画面に設定メニューが表示されます。

#### ⑪ STATUS/CANCEL (ステータス/取り消し) スイッチ

**STATUS** : メニューが表示されていないときは、本機のステータス情報を表示します。**CANCEL** : ビューファインダーにメニューが表示されているとき、メニュー設定の内容を取り消したり、メニューの前画面に戻る働きをします。

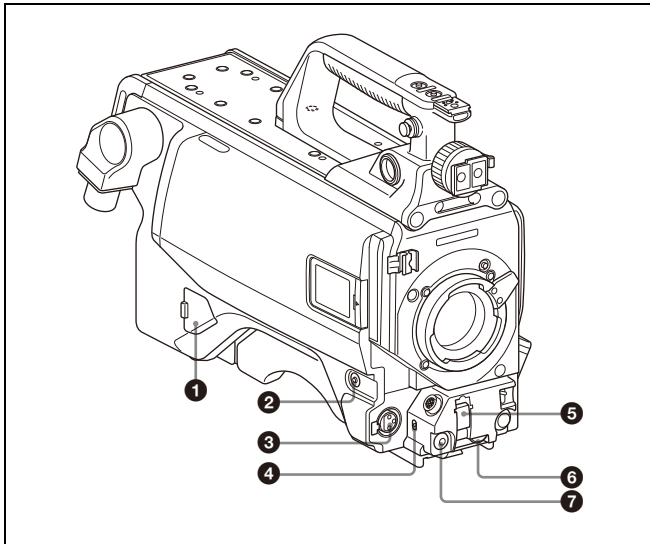
#### ⑫ MENU SEL (メニュー選択) つまみ /ENTER (確定) ボタン (ロータリーエンコーダー)

ビューファインダー画面に表示されるメニュー項目を選択 (つまみを回す) /確定 (ボタンを押す) します。メニュー表示状態でないときにENTERを押すことで、スタンドアロンでシャッターがECSのときはECSの周波数を変更することができます。それ以外のときはVF DETAILを調整することができます。

#### ご注意

⑥～⑨の機能は、カメラコントロールユニットや、RCP、MSUなどのリモートコントロール機器を接続したときは、接続した機器からのコントロールになり、カメラ本体のスイッチは動作しません。

## 前面 (左)



### ① DC 電源出力端子 (2 ピン)

この端子から最大2.5 Aまで外部機器へ給電することができます。

### ② RET 1 (リターンビデオ 1) ボタン

押し続けている間、カメラコントロールユニットからのリターンビデオ1信号をビューファインダー画面でモニターできます。ハンドル上部のRET 1ボタン (6ページ) および後面操作パネルのRET/ASSIGNABLE ボタンA (8ページ) と同じ機能です。このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

### ③ MIC 1 IN (マイク入力) 端子 (XLR 型、3 ピン)

マイクを接続します。

後面コネクターパネルのCH1スイッチ (9ページ) によって、AUDIO IN CH-1端子 (9ページ) と切り換えて使用します。

### ④ MIC (マイク) 電源スイッチ

**+48V** : MIC 1 IN 端子に接続したマイクに +48V の電源を供給します。

**OFF** : MIC 1 IN 端子に接続したマイクに電源を供給しないで使用します。

### ⑤ SHUTTER (シャッター) スイッチ

カメラコントロールユニットを接続せずカメラ単体で使用する時、電子シャッターのON/OFF、シャッタースピードの選択に使用します。

**OFF** : 電子シャッターは動きません。

**ON** : 電子シャッターを使用します。

**SEL** : スイッチをこの位置にすると、シャッタースピードおよびシャッターモードの設定が切り換わります。

◆ 詳しくは「電子シャッターの設定」(16ページ) をご覧ください。

### ⑥ INTERCOM LEVEL (インターカム音量) つまみ

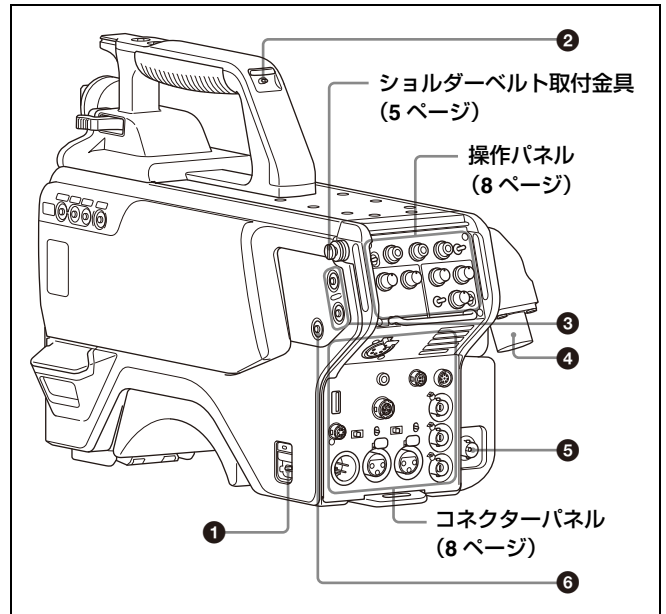
インターカムおよびイヤホンの音声レベルを調整します。インターカムレベルの調整は後面操作パネルのINTERCOM LEVELスイッチ (8ページ) がFNT側に設定されているときに有効です。

### ⑦ RET 2 (リターンビデオ 2) ボタン

このボタンを押すと、ビューファインダー画面が後面操作パネルのRET/ASSIGNABLE ボタンA、B、Cまたはメニューで選択したリターンビデオ信号に切り換わります。

このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

## 後面



### ① CAMERA POWER (カメラ電源) スイッチ

**CCU** : カメラコントロールユニットからの給電で電源が入ります。

**EXT** : DC IN 端子からの給電で電源が入ります。

### ② タリーランプとタリースイッチ

**ON** : 接続したカメラコントロールユニットへのタリー入力やCALL ボタンなどによる呼び出し時にタリーランプが点灯します。

**OFF** : タリーランプを点灯禁止にします。

### ③ RET1/2 (リターンビデオ 1/2) ボタン

押し続けると、ビューファインダー画面が後面操作パネルまたはメニューで選択したリターン信号に切り換わります。

このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

### ④ CCU (カメラコントロールユニット) 端子

光電気マルチケーブルでカメラコントロールユニットと接続します。

### ⑤ SDI 1 (シリアルデジタルインターフェース 1) 端子 (BNC 型)

3G-SDI信号、またはHD-SDI信号を出力します。

またはHD PROMPTER信号の出力とHD TRUNK信号の入力ができます。

◆ 信号の設定方法については、「カメラ出力の設定」(21ページ) をご覧ください。

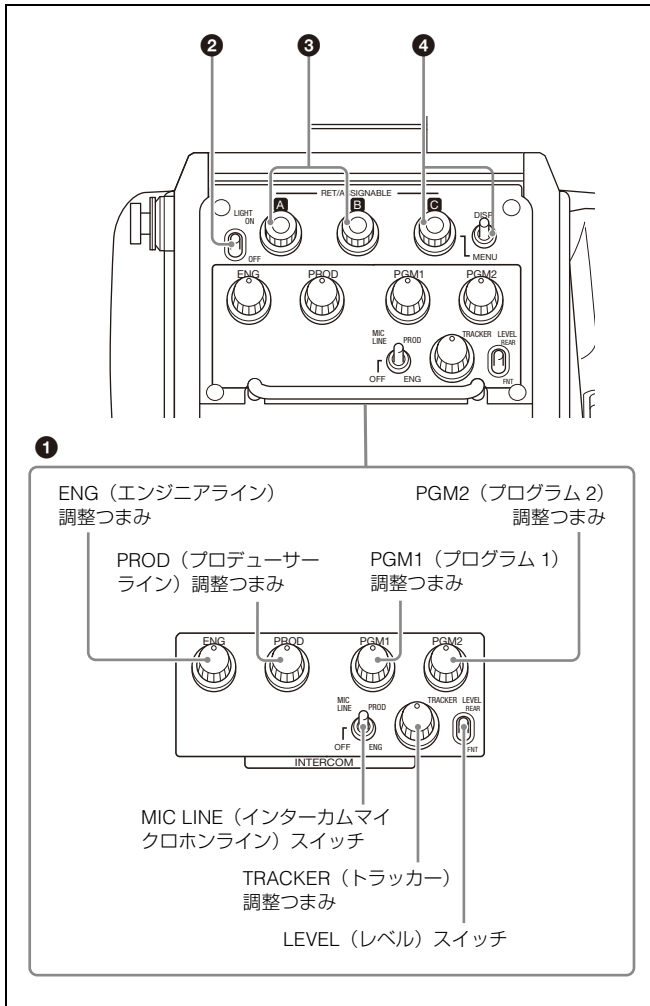


## 6 CALL (コール) ボタン

押すと、RCP-3000/1000シリーズのリモートコントロールパネルやマスターセットアップユニットMSU-1000シリーズのレッドタリールンプが点灯します。RCPやMSUオペレーターを呼び出すときに使います。

このボタンには、ビューファインダーに表示されるメニューを使用して各種の機能を割り付けることもできます。

## 操作パネル



### 1 INTERCOM (インターカム) つまみ/スイッチ

インターカムラインに対し、ENG調整つまみ、PROD調整つまみ、PGM1調整つまみ、PGM2調整つまみ、MIC LINEスイッチ、TRACKER調整つまみ、およびLEVELスイッチが用意されています。

#### ENG (エンジニアライン) 調整つまみ

エンジニアラインの音声受話レベルを調整します。

#### PROD (プロデューサーライン) 調整つまみ

プロデューサーラインの音声受話レベルを調整します。

#### PGM1 (プログラム1) 調整つまみ

プログラム 1 の音声受話レベルを調整します。

#### PGM2 (プログラム2) 調整つまみ

プログラム 2 の音声受話レベルを調整します。

#### MIC LINE (インターカムマイクロホンライン) スイッチ

インターカムラインを選択します。

**PROD** : プロデューサーラインを使用します。

**ENG** : エンジニアラインを使用します。

**OFF** : インターカム用ヘッドセットのマイクを OFF にします。

### TRACKER (トラッカー) 調整つまみ

TRACKER端子 (9ページ) に接続したインターカムの音声受話レベルを調整します。

### LEVEL (レベル) スイッチ

**REAR** : インターカムの音声受話レベルを操作パネルの各調整つまみで調整します。

**FNT** : インターカムの音声受話レベルを操作パネルの各調整つまみとカメラ前部の INTERCOM LEVEL つまみ (7ページ) で調整します。

### 2 LIGHT (ライト) スイッチ

ONにすると操作パネルの表示文字が点灯します。

### 3 RET/ASSIGNABLE ボタン A、B

ボタンを押して、<REAR FUNCTION ASSIGN>ページでアサインした機能のオン/オフを切り換えます。リターン機能をアサインしている場合、ボタンを押している間はリターンビデオ信号をビューファインダー画面でモニターできます。

ボタンを回すと、アサインした機能の設定値を変更できます。リターン機能をアサインしている場合は、リターン信号のチャンネルを変更できます。

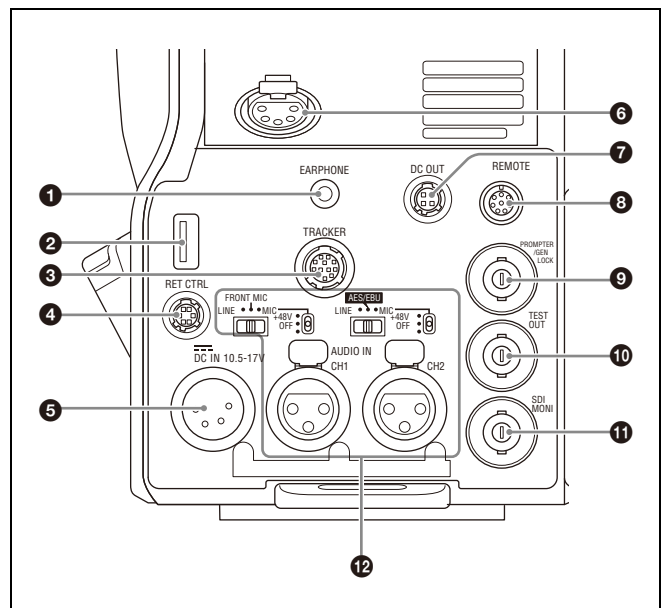
### 4 RET/ASSIGNABLE ボタン C / DISP/MENU スイッチ

ボタンを押して、<REAR FUNCTION ASSIGN>ページでアサインした機能のオン/オフを切り換えます。リターン機能をアサインしている場合、ボタンを押している間、リターンビデオ信号をビューファインダー画面でモニターできます。

ボタンを回すと、アサインした機能の設定値を変更できます。リターン機能をアサインしている場合は、リターン信号のチャンネルを変更できます。

またDISP/MENUスイッチをMENU側に倒して、MENU画面を表示した場合は、RET/ASSIGNABLE ボタンCでメニュー操作を行うことができます。

## コネクターパネル



### 1 EARPHONE (イヤホン) ジャック (4極ミニジャック)

マイク付きイヤホン (4極、3極の場合はイヤホン)、ヘッドセットなどを接続して、インターカムの音声信号を入出力します。



4極の場合、インターカムラインはINTERCOMの設定に連動します。

マイク機能のON/OFFはOPERATIONメニューのHEADSET MIC (44ページ) で設定できます。設定がONのとき、操作パネルのMIC LINEスイッチでもINTERCOM設定と連動してOFF/ONを設定できます。初期設定はOFFです。

## ② USB 端子 (USB メモリー接続用)

USBメモリーを接続して、設定データファイルを保存・呼び出すことができます。

◆ 詳しくは「USBメモリーの取り扱い」(65ページ)をご覧ください。

## ③ TRACKER (トラッカー) 端子 (12ピン)

インターカムやタリーなどの外部インターフェース用です。

## ④ RET CTRL (リターンコントロール) 端子 (6ピン)

リターンビデオセレクター CAC-6を接続します。

## ⑤ DC IN (DC 電源入力) 端子 (XLR 型 4ピン)

ACアダプター AC-DN10Aなどを接続し、本機に電源を供給します。

## ⑥ INTERCOM (インターカム) 端子 (XLR 型 5ピン)

XLR 5ピンタイプのヘッドセットを接続し、インターカムの音声信号を入出力します。

INTERCOM端子に接続したヘッドセットでは、カメラの電源が落ちていても電源のLEDが赤く点灯している場合はエンジニアラインで通話できます。

## ⑦ DC OUT (DC 電源出力) 端子 (4ピン)

別売のワイヤレスレシーバーなどに電源を供給します。(最大0.5A)

## ⑧ REMOTE (リモート) 端子 (8ピン)

リモートコントロールパネルRCP-3000/1000シリーズ、またはマスターセットアップユニットMSU-1000/1500を接続します。

### ご注意

カメラコントロールユニットと接続して使用するときは、この端子にはリモートコントロールパネルやマスターセットアップユニットを接続しないでください。

## ⑨ PROMPTER/GENLOCK (プロンプター信号出力 / 外部同期信号入力) 端子 (BNC 型)

カメラコントロールユニット接続時にはPROMPTER OUT機能、非接続時にはGENLOCK IN機能が有効になります。

**GENLOCK IN** : スタンドアロン時は、カメラを同期させる外部同期用信号 (VBSまたは3値シンク) を入力します。

**PROMPTER** : プロンプター 1 信号を出力します (カメラコントロールユニット接続時のみ有効)。プロンプター入力を 2 つ持つカメラコントロールユニットを接続した場合は、1 側が出力されます。

## ⑩ TEST OUT (テスト出力) 端子 (BNC 型)

アナログ信号を出力します。

メニューの選択で、VBS信号、HD-SYNC信号、SD-SYNC信号を出力することができます。

◆ 信号の設定方法については、「カメラ出力の設定」(21ページ)をご覧ください。

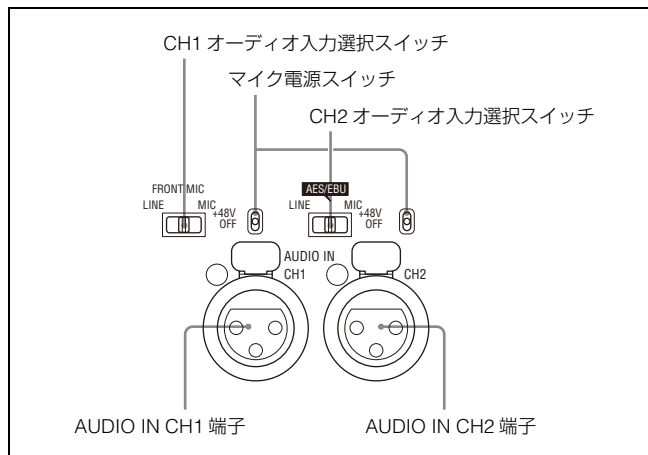
## ⑪ SDI MONI (シリアルデジタルインターフェース) 端子 (BNC 型)

HD-SDIまたはSD-SDI信号を出力します。

◆ 信号の設定方法については、「カメラ出力の設定」(21ページ)をご覧ください。

## ⑫ AUDIO IN (オーディオ入力) CH1、CH2 端子 (XLR 型 3ピン) / スイッチ

オーディオ信号を入力します。チャンネル1、2それぞれに対して入力選択スイッチ、マイク電源スイッチが用意されています。



### CH1 (チャンネル1) オーディオ入力選択スイッチ

AUDIO IN CH1端子に接続する機器に合わせて設定します。

**LINE** : ラインレベル (0 dBu) の信号を接続するとき

**FRONT MIC** : MIC 1 IN 端子に接続したマイクを使用するとき

**MIC** : マイクを接続するとき

### CH2 (チャンネル2) オーディオ入力選択スイッチ

AUDIO IN CH2端子に接続する機器に合わせて設定します。

**LINE** : ラインレベル (0 dBu) の信号を接続するとき

**AES/EBU** : デジタル オーディオ信号を接続するとき (カメラ出力と同期させる必要があります。)

**MIC** : マイクを接続するとき

### マイク電源スイッチ

対応するAUDIO IN端子にマイクを接続したとき、マイクに電源を供給するかどうかを設定します。

**+48V** : +48V の電源をマイクに供給します。

**OFF** : 電源をマイクに供給しません。

(一番下の位置は機能しません。この位置にしてもマイクに電源は供給されません。)

### ご注意

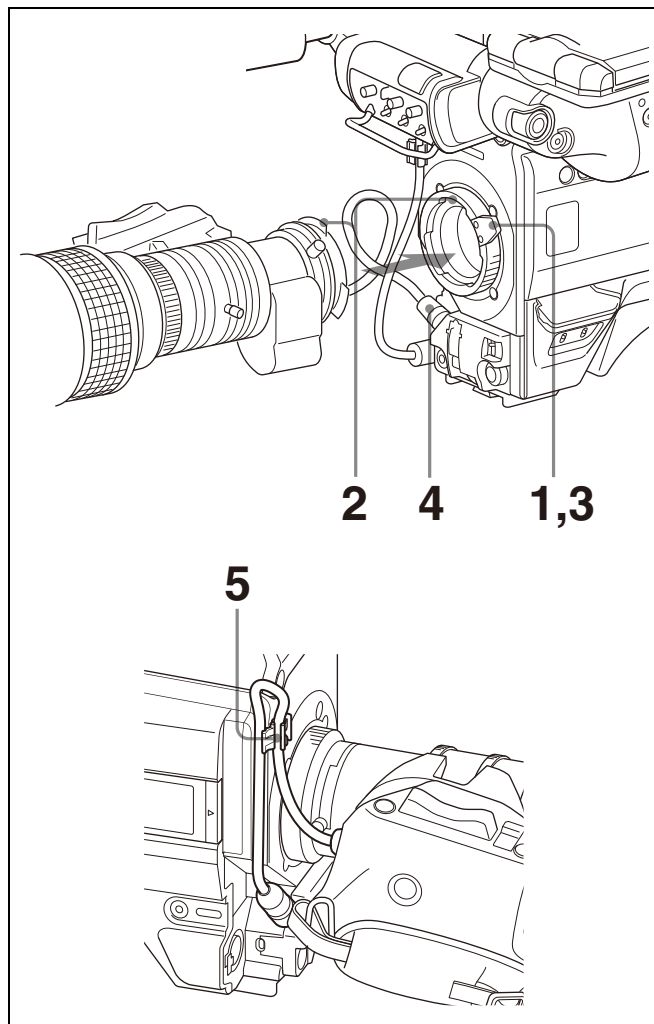
+12V電源を供給する場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

# 準備

## レンズの取り付け

◆ レンズの取り扱いについては、レンズに付属の取扱説明書をご覧ください。

### 取り付け手順



- 1 レンズ固定レバーを押し上げて、レンズマウントからレンズマウントキャップを外す。
- 2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズの位置決めピンを合わせ、レンズをマウントに差し込む。
- 3 レンズを支えながら、レンズ固定レバーを押し下げてレンズを固定する。
- 4 レンズケーブルをLENS端子に接続する。
- 5 レンズケーブルをケーブルクランプに押し込む。

## フランジバックの調整

次のような場合、フランジバック（レンズマウントの取り付け面から結像面までの距離）の調整が必要です。

- レンズを初めて取り付けるとき
- レンズを交換したとき
- ズーム操作の際に、望遠・広角の両方で焦点がきちんと合わないとき

フランジバックは、フォーカスアシストインジケータを使用すると、より正確に調整できます。

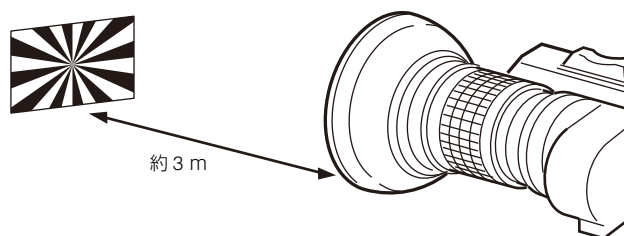
◆ フォーカスアシストインジケータについては、「フォーカスアシストインジケータを表示する」(18ページ)をご覧ください。

### ご注意

フランジバックの調整のために操作するレンズの各部分の位置は、レンズによって異なります。レンズに付属の取扱説明書を確認してください。

### 調整手順

- 1 絞りのモードを手動にして、絞りを開放にする。
- 2 フランジバック調整用チャートの本機から3 mぐらいの所に置き、適正な映像出力レベルが得られるように、照明を調整する。
- 3 Ff (Flange focal length)リング固定ネジをゆるめる。
- 4 手動または電動で、ズームリングを望遠位置にする。
- 5 フランジバック調整用チャートを写し、フォーカスリングを回して焦点を合わせる。



- 6 ズームリングを広角位置にする。
- 7 Ffリングを回し、フランジバック調整用チャートに焦点を合わせる。このとき、距離リングを動かさないように注意してください。
- 8 望遠と広角の両方で焦点が合うようになるまで、手順4~7の操作を繰り返す。
- 9 Ffリング固定ネジをしっかりと締める。

## 接眼ビューファインダーの取り付け

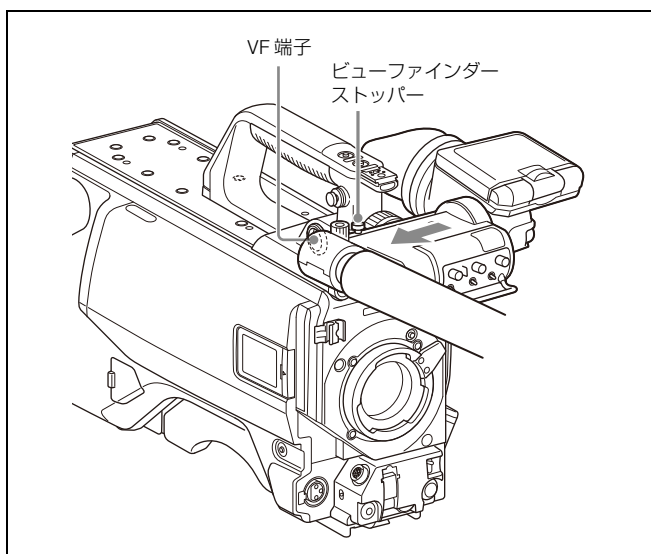
### ⚠ 警告

ビューファインダーを取り付けたあと、接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通してビューファインダー内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

### ビューファインダーを取り付ける

HDVF-20A/200/EL20/EL30を例にして説明します（手順に記載のイラストはHDVF-EL30）。

◆ ビューファインダーの取り扱いについて詳しくは、ビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。

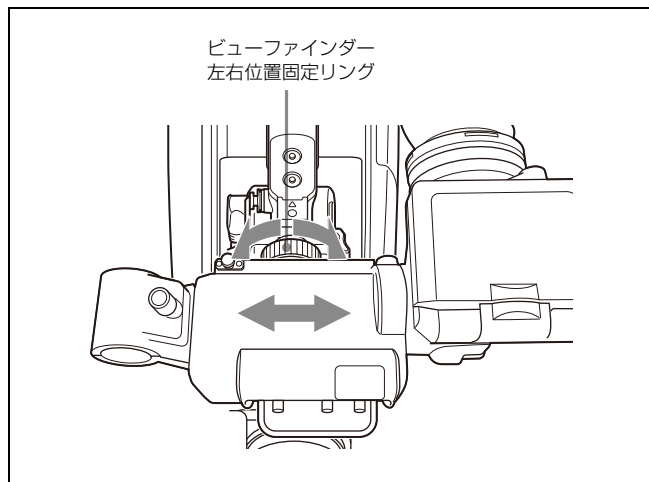


- 1 ビューファインダーを図の矢印の方向にスライドさせて取り付ける。  
ビューファインダーストッパーが自動的に下がります。
- 2 ビューファインダーの左右位置を決め、左右位置固定リングを回して締める（「左右方向の調整」参照）。
- 3 ビューファインダーケーブルをカメラのVF端子に接続する。

### 位置を調整する

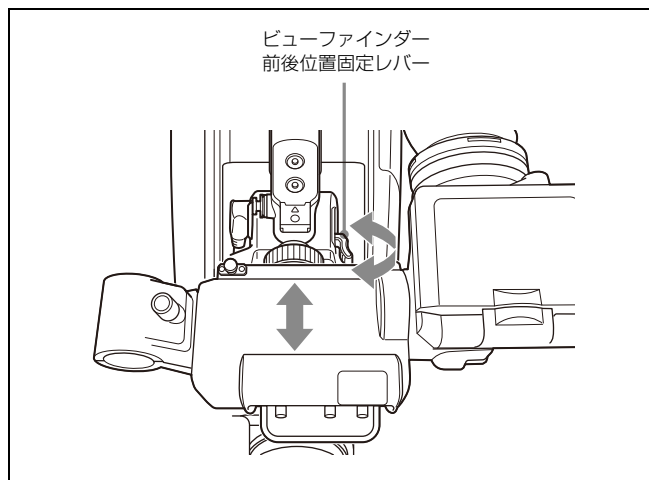
位置を左右方向および前後方向に調整して、ビューファインダー内を見やすくすることができます。

#### 左右方向の調整



- 1 ビューファインダー左右位置固定リングをゆるめる。
- 2 ビューファインダーを左右にスライドさせ、内部が見やすい位置に調整する。
- 3 ビューファインダー左右位置固定リングを締める。

#### 前後方向の調整



- 1 ビューファインダー前後位置固定レバーをロック解除位置にする。
- 2 ビューファインダーを前後にスライドさせ、内部が見やすい位置に調整する。
- 3 ビューファインダー前後位置固定レバーをロック位置に戻して、ビューファインダーを固定する。

### ビューファインダーを取り外す

ビューファインダー左右位置固定リングをゆるめ、ビューファインダーストッパーを上げて、ビューファインダーを取り付けたときと逆の方向にスライドさせて抜き取ります。

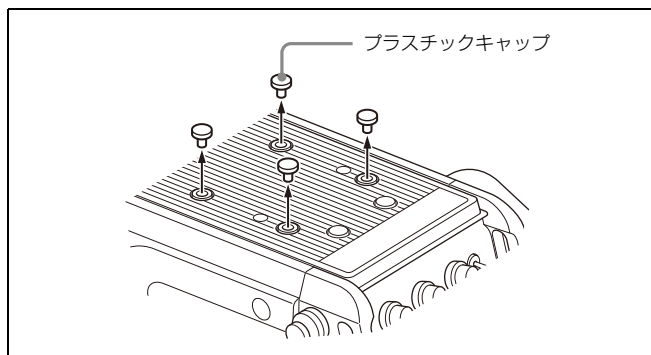
## 直視ビューファインダーの取り付け

カメラにVウェッジシューアタッチメント（ビューファインダーに付属）を取り付け、アタッチメントにビューファインダーを取り付けます。

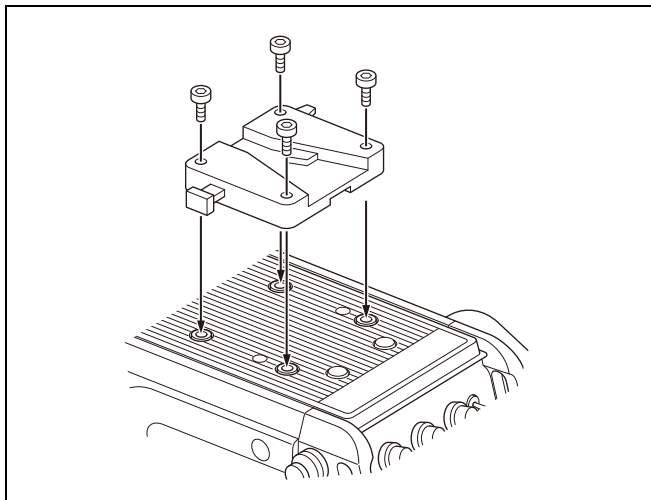
### ご注意

- カメラに取り付け / 取り外しするときは、必ずビューファインダーを標準位置にロックしてください。
- ビューファインダーをカメラから取り外すときは、三脚のチルトロックを確実にし、ビューファインダーを確実に持って取り外してください。また、ビューファインダーおよびカメラの転倒・落下にご注意ください。
- Vウェッジシューアタッチメント（ビューファインダーに付属）を取り付けるときは、ビューファインダーに付属の六角穴付きボルトを必ず使用してください。

### 1 カメラからプラスチックキャップ（4本）を取り外す。

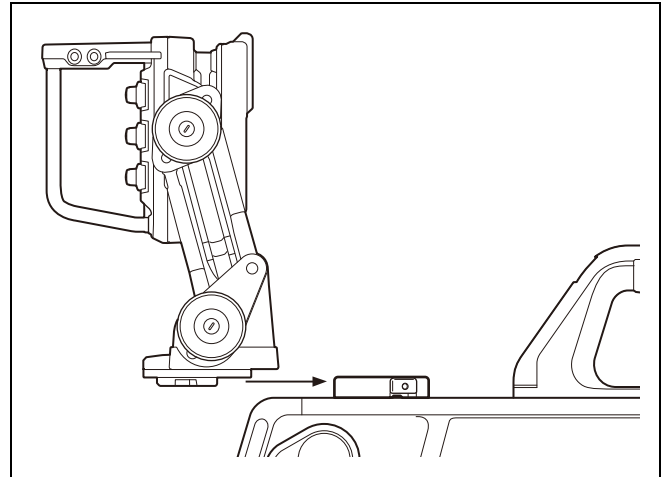


### 2 六角レンチ（ビューファインダーに付属）と六角穴付きボルト（4×12、4本、ビューファインダーに付属）を使って、Vウェッジシューアタッチメント（ビューファインダーに付属）をカメラに取り付ける。



### 3 本機をVウェッジシューアタッチメントにしっかりと差し込む。

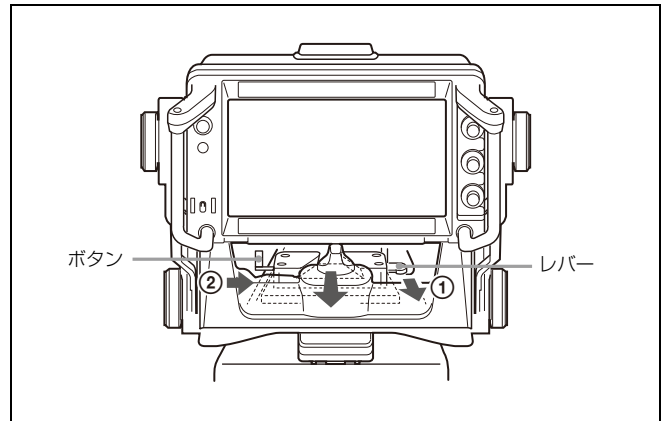
取り付けると、カチッと音がして固定されます。



### 4 本機のカメラ端子とカメラのVF端子とを接続する。

#### 取り外すには

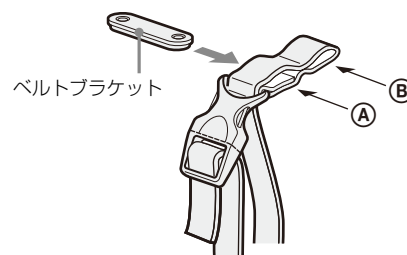
レバーを引きながら、ボタンを押して下図のようにビューファインダーを手前に引いて取り外します。



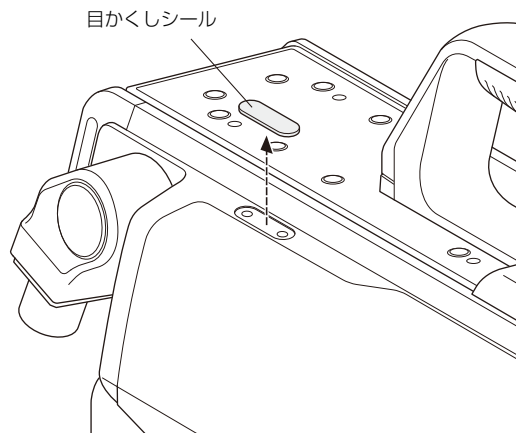
## ケーブルクランプベルト（付属）の取り付け

付属のケーブルクランプベルトを取り付けると、CCU端子に接続した光電気マルチケーブルをカメラ側面に固定することができます。

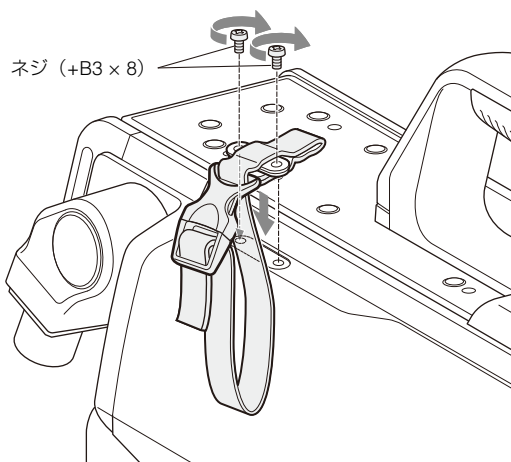
### 1 付属のケーブルクランプベルトの上端の穴①または②に、ベルトブラケットを通す。



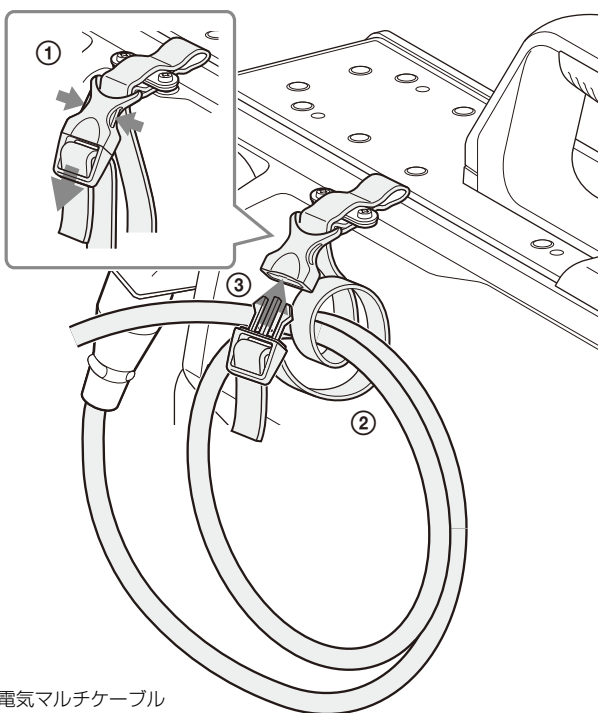
**2** 下図の目かくしシールをカメラからはがす。



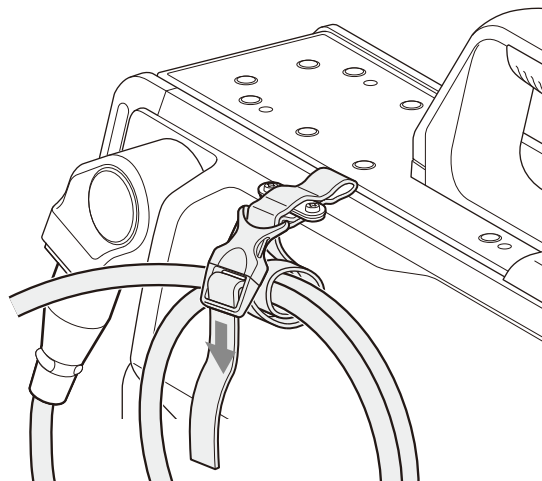
**3** 付属の+B3 × 8ネジ2本でベルトをカメラに取り付ける



**4** ①バックルを外して、②ケーブルにベルトを巻いて束ね、③バックルを元どおりロックする。



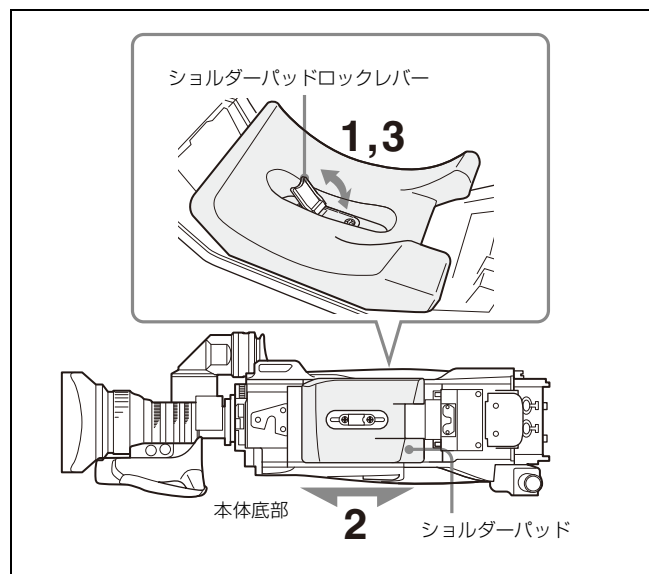
**5** ベルトの下端を引いて長さを調整する。



## ショルダーパッドの位置調整

ショルダーパッドは、中央位置（出荷時の位置）から前方に25 mm、後方に10 mmの範囲でスライドさせることができます。本機を肩にのせた状態で操作しやすくなるように、ショルダーパッドの位置を調整してください。

調整手順



**1** ショルダーパッドの中央のレバーを引き上げてロックを外す。

**2** 前後方向にスライドさせて、適当な位置を選ぶ。

**3** レバーを倒して固定する。

光電気マルチケーブル



## 三脚への取り付け

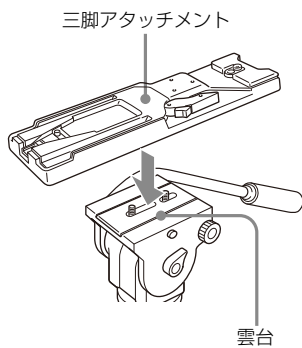
三脚アタッチメントVCT-14を使って、次の手順でカメラを三脚に取り付けます。

### ご注意

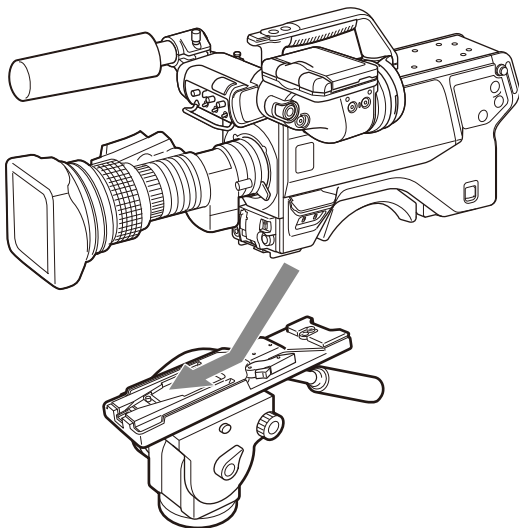
- カメラと三脚アタッチメントの重心を考慮して、三脚アタッチメント底面の穴から適切な穴を選択してください。選択した穴が適切でないと、カメラを取り付けたときに重心が偏り、カメラが落下したり転倒したりして、けがの原因となることがあります。
- 取り付けに選択した穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。ネジの径と合わないとき三脚アタッチメントが確実に固定されず、カメラが落下したり転倒したりして、けがの原因となることがあります。

### 取り付け手順

#### 1 三脚アタッチメントを三脚に取り付け、ネジで固定する。

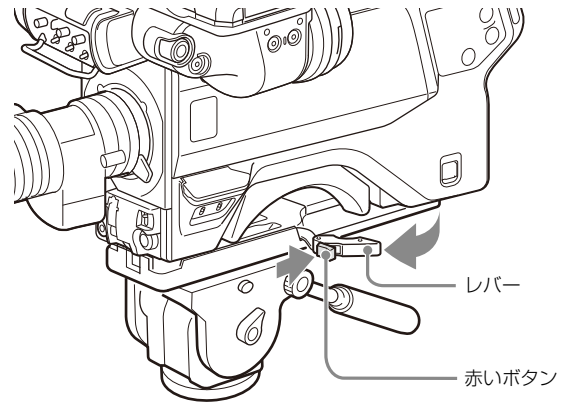


#### 2 カメラを三脚アタッチメントにのせ、三脚アタッチメントの溝に沿ってカチッと音がするまで前へスライドさせて取り付ける。

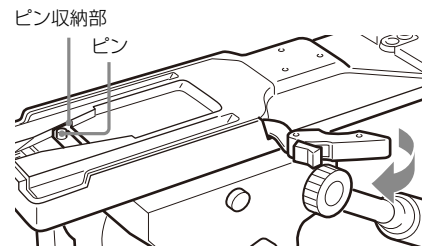


#### 3 カメラを前後に動かし、外れないことを確認する。

三脚アタッチメントからカメラを取り外すには赤いボタンを押しながら、レバーを矢印の方向へ動かします。



三脚アタッチメントのピンが元の位置に戻らないときはカメラを取り外したあと、三脚アタッチメントのピンが元の位置（ピン収納部）に戻らないときは、もう1度、赤いボタンを押しながらレバーを矢印の方へ動かして、ピンを元の位置に戻します。ピンが中央に残ったままだと、カメラの取り付けができません。



# 撮影のための調整と設定

## ブラックバランス/ホワイトバランスの調整

常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。

### ご注意

カメラコントロールユニット接続時や、RCP、MSUなどのリモートコントロール機器を接続したときは、RCPまたはMSUからのコントロールになり、カメラ本体のスイッチは動作しません。

### ブラックバランスの調整

次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用する時
  - 長時間使用しなかった後に使用する時
  - 周囲の温度が大幅に変化した状況で使用する時
  - 設定メニューでゲイン切り換え値を変更した時
- 通常は、電源を再び入れた場合でも調整し直す必要はありません。

### ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。

### ビューファインダー画面の表示について

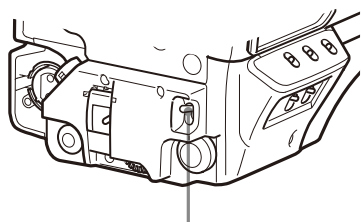
ブラックバランスとホワイトバランスの調整を始めると、ビューファインダー画面に、調整経過や結果を知らせるメッセージが表示されます。

### ご注意

本機で自動調整される調整値や各設定値は、本機のメモリーに記憶され、電源を切っても保持されています。

### ブラックバランスを調整する

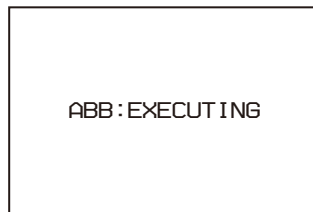
AUTO W/B BALスイッチをBLK側（下）に押します。



AUTO W/B BAL スイッチ

ブラックバランスの自動調整が始まります。  
ブラックバランスの自動調整では、ブラックセット、ブラックバランスの両方が調整されます。

調整中は、ビューファインダー画面上に図のようなメッセージが表示されます。



調整が終了すると、メッセージ「ABB: OK」が表示されます。調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

### ご注意

- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り換え回路が自動的に切り換わり、また、ビューファインダー画面上にフリッカーが数回現れますが、故障ではありません。

### ブラックバランスの自動調整ができないときは

ブラックバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面に約3秒間エラーメッセージ「ABB: NG」が表示されます。

エラーメッセージが表示されたら、再度ブラックバランスの調整を試みてください。

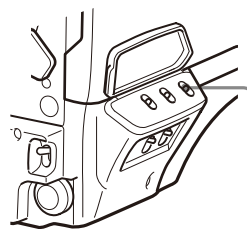
繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、内部点検をする必要があります。

### ブラックバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも保存されます。

## ホワイトバランスを調整する

### 1 WHITE BALスイッチをAまたはBに設定する。



WHITE BAL スイッチ

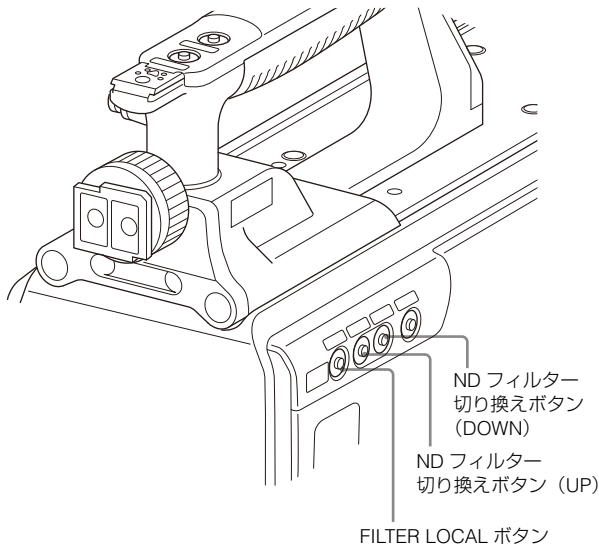
### 2 照明条件に合わせて、フィルターを切り換える。

#### NDフィルターを切り換えるには

FILTER LOCALボタンを押しながら、NDフィルター切り換えボタン（UP/DOWN）を押します。

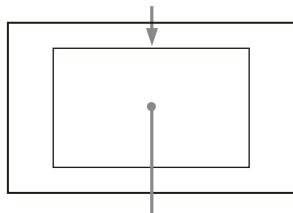
切り換えボタンを押すたびにNDフィルター（CLEAR、1/4ND、1/16ND、1/64ND、CROSS）が順次、切り換わります。





- 3** 被写体の照明光源と同じ条件のところに下記のようなホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映す。被写体の近くの白いもの（白布、白壁）で代用することもできます。

画面センターを中心とする長方形。  
各辺の長さは、画面の高さ、または幅の70%。



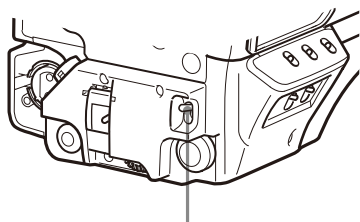
この長方形内に、画面面積の10%以上の面積の白が必要。

#### ご注意

長方形内に高輝度スポットを入れないようにしてください。

- 4** レンズの絞りを調整する。  
**手動調整レンズの場合：**絞りを適正值に合わせる。  
**自動絞り調整機能付きレンズの場合：**レンズ側の絞り自動/手動切り換えスイッチを自動に設定する。

- 5** AUTO W/B BALスイッチをWHT側（上）に押す。



AUTO W/B BAL スイッチ

ホワイトバランスの自動調整が始まります。

調整中、ビューファインダー画面にメッセージ「AWB : EXECUTING」が表示されます。  
 図のようなメッセージが表示され、調整が完了します。調整値は、手順1で選択したメモリー（AまたはB）に自動的に記憶されます。



#### ご注意

自動絞り機能付きズームレンズを使用した場合、絞りがハンチング<sup>1)</sup>を起こすことがあります。レンズに付いている絞りのゲインつまみ（IG、IS、Sなどと表示されている）を調整してください。

1) ハンチング：オートアイリスの応答を繰り返し、映像が暗くなったり明るくなったりすること。

◆ 詳しくは、レンズの取扱説明書をご覧ください。

#### ホワイトバランスの自動調整ができないとき

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面に約3秒間エラーメッセージ「AWB : NG」が表示されます。

エラーメッセージが表示されたら、再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、内部点検をする必要があります。

#### ホワイトバランスを調整する時間がないときは

WHITE BALスイッチをPRSTにします。フィルターの設定に従って、ホワイトバランスが自動的にとれます。

#### ホワイトバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切っても保存されません。

ホワイトバランスのメモリーは、A、Bの2系統があり、AUTO W/B BALスイッチをWHT側に押すと、そのときのフィルターの設定に応じてホワイトバランスが自動調整されます。調整値は選択されたメモリーに記憶されます。各メモリーに、5個ずつ合計10個の調整値を記憶できます。

## 電子シャッターの設定

ここでは、本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードについて説明し、シャッターモードとシャッタースピードの設定手順を示します。

#### ご注意

カメラコントロールユニットや、RCP、MSUなどのリモートコントロール機器を接続したときは、RCPまたはMSUからのコントロールになり、カメラ本体のスイッチは動作しません。

## シャッターモードについて

本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードと、選択できるシャッタースピードは次のとおりです。

### 設定できるシャッターモードとシャッタースピード

シャッターモード	シャッタースピード*	用途
標準	1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/2000 (秒)	動きの早い被写体を鮮明に撮影したい場合
ECS (拡張クリアスキャン)	59.96 ~ 4300 Hz の範囲で連続可変	モニター画面を、水平方向の縮模様がでないように撮影したい場合

\* 表の数値は、59.94i 時のものです。他のフォーマットでは設定できる値が異なります。

### ご注意

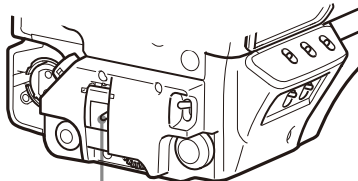
人工照明、特に蛍光灯や水銀灯などは、輝度が一定のように見えても、電源周波数に同期して、R、G、B各色の強さが変化しています（これをフリッカーと言います）。このような照明下でシャッターを使用すると、フリッカーがより目立つ場合があります。特に、電源周波数が60 Hzの地域では、カラーフリッカーとなります。なお、50 Hzの地域では、シャッタースピードを1/100に設定すると、フリッカーを低減することができます。

## シャッターモード/スピードを選択する

シャッターモードおよび標準モードでのシャッタースピードはSHUTTERスイッチを切り換えて設定します。

シャッターモードおよび標準モードでのシャッタースピードを設定するには

### 1 SHUTTERスイッチを、ONの位置からSEL側に押す。



SHUTTERスイッチ

ビューファインダー画面に、シャッターの現在の設定が約3秒間表示されます。

例：「SHUTTER：1/250」

### 2 表示が消える前に、もう1度SHUTTERスイッチをSEL側に押す。希望のモードまたはスピードが表示されるまで、この操作を繰り返す。

すべてのモードとスピードが表示される場合は、次のような順序で表示が切り換わります。

例：59.94i 時

標準モード

→ 1/100 → 1/125 → 1/250 → 1/500 → 1/1000 → 1/2000

ECSモード ←

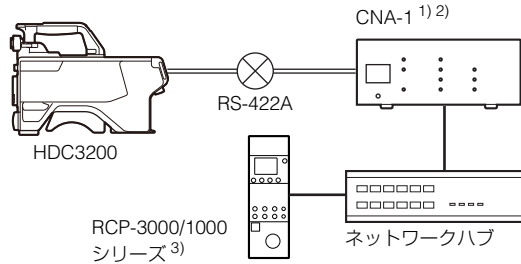
## トランスポート変換機能の設定

本機の内部で通信プロトコルをカメラネットワークシステムプロトコルから簡易プロトコルに変換する機能です。

本機とCNA-1との通信に簡易プロトコルを使用することにより、無線伝送など、カメラネットワークシステムプロトコルでは対応できない遅延量の大きな伝送路を使用したカメラ制御が可能になります。

機能のオン/オフは、<SIMPLE PROTOCOL>ページで設定します（55ページ）。

◆ CNA-1の設定方法については、CNA-1のオペレーションマニュアルをご覧ください。



1) RS-422A ケーブルは CNA-1 の I/O 端子に接続してください。

2) CNS Mode を Bridge、Emulation Mode を CAM に設定してください。

3) CNS Mode を Bridge に設定してください。

## 簡易プロトコルを使用できる伝送路

以下の条件を満たす伝送路で使用できます。

- 遅延量：片道 1 sec 以下
- 帯域：100 kbps 以上

## 簡易プロトコル通信に使用する端子

本機の以下の端子を使用してください。

- コネクターパネルの REMOTE 端子

## フォーカスアシスト機能の設定

OPERATIONメニューを使用して、フォーカスを合わせやすくするための補助機能をビューファインダー上に表示することができます。

### VFディテール信号を付加する

ビューファインダー上の画像のシャープエッジ部分にディテール信号を付加すると、ディテール信号の変化や、ディテール信号を変換した色（カラーディテール）の変化によって、フォーカスの状態を容易に判断できます。

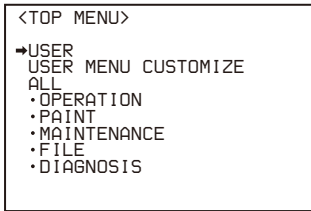
ディテール信号が最も強く表示されるようにフォーカスを合わせます。

### 1 カメラの電源を入れる。

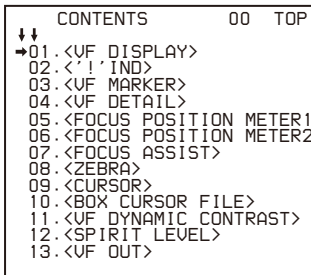
### 2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを押しながら、DISPLAYスイッチをMENU側にする。

メニューモードになり、画面右上にTOPが表示されます。

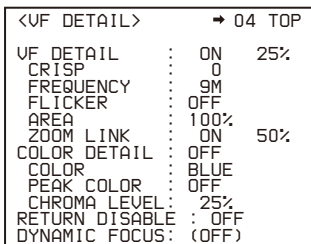
- 3 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークをTOPに合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**  
TOP MENU画面が表示されます。



- 4 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークをOPERATIONに合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**  
OPERATIONメニューのCONTENTSページが表示されます。



- 5 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークを<VF DETAIL>に合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**  
<VF DETAIL>ページが表示されます。



- 6 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークを設定したい項目に合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**

#### VFディテール信号を使うには

VF DETAILをONにすると、映像のシャープエッジ部分にディテール信号が付加されます。レベルを0～100%の範囲で設定できます。(初期設定: 25%)。

以下の項目で、ディテール信号の付きかたを調整できます。

**CRISP** : 細かなディテール信号を消す。

**FREQUENCY** : シャープエッジの検出帯域を変更する。

**FLICKER** : ディテール信号をフリッカーさせる機能をON/OFFする (ONにするとビューファインダー画面でディテール信号を確認しやすくなる)。

**AREA** : ディテール信号を表示するエリアを絞る。

**ZOOM LINK** : WIDE 端のVFディテール量を設定する (ズームポジションに応じてVFディテール量に変更される)。

#### カラーディテールを使うには

COLOR DETAILをONにすると、ディテール信号が色に変換されて表示されます (カラービューファインダーなどの液晶画面で確認しやすくなります)。ONの右の欄で表示色を選択できます。

以下の項目で色の付きかたを調整できます。

**PEAK COLOR** : ディテール信号が最も強くなる場所で色を変化させる機能をON/OFFする。

**CHROMA LEVEL** : 映像信号のクロマ成分を低くする (ビューファインダーの映像信号のみ適用)。

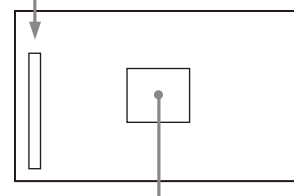
- 7 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して希望の設定値を表示させ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**

- 8 設定が終わったら、DISPLAYスイッチをOFFにして、メニューモードを解除する。**

### フォーカスアシストインジケータを表示する

フォーカスアシストインジケータ機能を使用すると、被写体の凸凹成分を抽出して、その積算値をレベルインジケータに変換してビューファインダー画面に表示することができます。

レベルインジケータ (表示場所や動作を調整可)



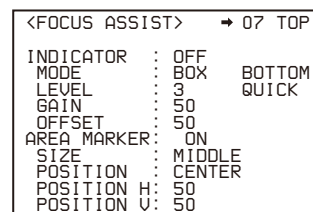
フォーカスの検出範囲を表すエリアマーカー (サイズや位置を調整可)

インジケータが最大に振れるフォーカスポジションが、ジャストポイントになります。(絵柄や撮影状況によって、インジケータの振れ幅は大きく変化します。GAIN、OFFSETを使って適宜調整してください。)

- 1 OPERATIONメニューのCONTENTSページを表示する** (「VFディテール信号を付加する」の手順1～4参照)。

- 2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して、→マークを<FOCUS ASSIST>に合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**

<FOCUS ASSIST>ページが表示されます。



- 3 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークを設定したい項目に合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。**

#### レベルインジケータを使うには

INDICATORをONにすると、フォーカスの合い具合を示すレベルインジケータがビューファインダー上に表示されます。表示方法を下記の項目で設定できます。

**MODE** : インジケータの種類と表示位置を設定する。

**LEVEL** : インジケータの濃さと反応速度を設定する。

**GAIN** : インジケータの感度を調整する。<sup>1)</sup>

**OFFSET** : フォーカス検出値のオフセットを調整する。<sup>2)</sup>

- 1) 通常は、AREA MARKER SIZE の設定値に連動して適正值に自動設定されます。撮影環境によって、インジケータの感度が適正にならないときに使用します。
- 2) 通常は、AREA MARKER SIZE と MASTER GAIN の設定値に連動して適正なオフセットに自動設定されます。撮影環境によって、オフセットが適正にならないときに使用します。

#### エリアマーカーを使うには

AREA MARKERをONにすると、フォーカスの検出範囲を示すエリアマーカーがビューファインダー上に表示されます。検出範囲のサイズや位置を下記の項目で設定できます。

**SIZE**：検出範囲のサイズを変更する。(検出範囲を大きく取りすぎると、被写体と背景の両方がエリアに含まれ、インジケータの表示が被写体からずれやすくなる。)

**POSITION**：検出範囲の位置を大まかに設定する。

**POSITION H**：検出範囲の位置を横方向で微調整する。

**POSITION V**：検出範囲の位置を縦方向で微調整する。

## 4 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して希望の設定値を表示させ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

## 5 設定が終わったら、DISPLAYスイッチをOFFにして、メニューモードを解除する。

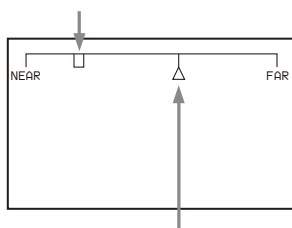
### ご注意

- レベルインジケータとエフェクトエリアマーカーは同時に表示できません。後から ON にしたほうが優先的に表示されます。
- エリアマーカーとアスペクトセーフティマーカーは同時に表示できません。後から ON にしたほうが優先的に表示されます。
- フォーカスアシストインジケータを表示するとき、フランジバックが正確に調整されていることを確認してください。
  - ◆ フランジバックについては、「フランジバックの調整」(10ページ)をご覧ください。

## フォーカスポジションメーター機能の設定

フォーカスポジションメーター機能を使用すると、あらかじめ登録したフォーカス位置(マーカー)と、現在のフォーカス位置(インデックス)の関係をビューファインダー画面にグラフィカルに表示することができます。

現在のフォーカス位置(インデックス)



登録したフォーカス位置(マーカー)

マーカーの位置にインデックスの位置が重なるようにフォーカスを調整することで、容易に登録した地点へフォーカスを合わせる(以下、ADJUST)ができます。ADJUST時に、ビューファインダー画面上に色枠やマーカー名を表示することもできます。

## 1 OPERATIONメニューのCONTENTSページを表示する(「VFディテール信号を付加する」の手順1~4参照)。

## 2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークを<FOCUS POSITION METER1>または<FOCUS POSITION METER2>に合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

<FOCUS POSITION METER1>ページ、または<FOCUS POSITION METER2>ページが表示されます。

<FOCUS POSITION METER1> 05 TOP	
FOCUS POSITION METER:	ON
NEAR LIMIT :	100
FAR LIMIT :	923
DIRECTION :	HORIZONTAL
SIZE :	NORMAL
RULED LINE :	ON
INDEX COLOR :	WHITE
INDEX WIDTH :	1
MARKER WIDTH :	1
CURRENT FOCUS DIST :	5.7M 18.7ft
	236 (0-999)

## 3 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークを設定したい項目に合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

フォーカスポジションメーターを使うには

FOCUS POSITION METERをONにすると、フォーカスポジションメーターがビューファインダー上に表示されます。表示方法を<FOCUS POSITION METER1>ページの下記の項目で設定できます。

**NEAR LIMIT**：フォーカスポジションメーターのNEAR端を設定する。

**FAR LIMIT**：フォーカスポジションメーターのFAR端を設定する。

NEAR LIMITとFAR LIMITの設定により、フォーカスポジションメーターに表示されるフォーカス位置の範囲が変わります。NEAR LIMITを0、FAR LIMITを999に設定すると、全範囲が表示されます。

**DIRECTION**：メーターを画面上部に水平方向に表示するか、画面右側に垂直方向に表示するかを選択する。

**SIZE**：メーターの大きさを設定する。

**RULED LINE**：メーター上のガイド線の表示をON/OFFする。

**INDEX COLOR**：インデックスの色を設定する。

**INDEX WIDTH**：インデックスの幅を設定する。

**MARKER WIDTH**：マーカーの幅を設定する。

**ADJUST判定の感度や表示内容を設定するには**  
ADJUST判定の感度やADJUST時の表示は、<FOCUS POSITION METER2>ページのADJUSTED SIGNで設定できます。

**SENSE**：ADJUST判定の感度を設定する。数字が大きいほど高感度(ADJUSTと判定されにくい状態)になる。

**NAME DISP**：ADJUST時のマーカー名の表示をON/OFFする。(表示されるのはDISPLAY画面のみ)

**FRAME DISP**：ADJUST時の画面への色枠(以下、ADJUST枠)の表示をON/OFFする。

**FRAME WIDTH**：ADJUST枠の幅を設定する。

**マーカーの表示内容について設定するには**  
マーカーの表示内容は、<FOCUS POSITION METER2>ページのMARKER CONFIGで設定できます。

**REG**：インデックスの位置にマーカーを登録する。

**DISP**：マーカーの表示をON/OFFする。

**COLOR**：マーカーの色を設定する。ADJUST枠の色もここで設定した色になる。

NAME：マーカーの名前を設定する。  
POS：マーカー位置を手動調整する。

4 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して希望の設定値を表示させ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

5 設定が終わったら、DISPLAYスイッチをOFFにして、メニューモードを解除する。

#### マーカーの登録について

RET/ASSIGNABLE ボタンA、B、Cを使用してフォーカスポジションメーターのマーカーを登録できます。

## VF ダイナミックコントラスト機能の設定

ビューファインダー上の画像にコントラストを強調すると、高輝度領域やコントラストの低い被写体に対して、フォーカスの状態を容易に判断できます。

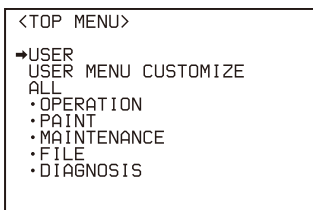
1 カメラの電源を入れる。

2 MENU SELECTつまみを押しながら、DISPLAYスイッチをMENU側にする。

メニューモードになり、画面右上にTOPが表示されます。

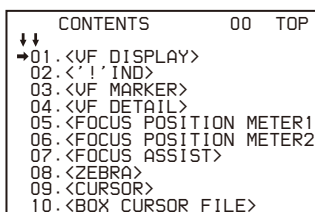
3 MENU SELECTつまみを回して→マークをTOPに合わせ、MENU SELECTつまみを押す。

TOP MENU画面が表示されます。



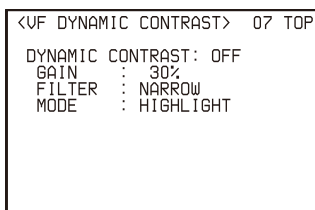
4 MENU SELECTつまみを回して→マークをOPERATIONに合わせ、MENU SELECTつまみを押す。

OPERATIONメニューのCONTENTSページが表示されます。



5 MENU SELECTつまみを回して→マークを<VF DYNAMIC CONTRAST>に合わせ、MENU SELECTつまみを押す。

<VF DYNAMIC CONTRAST>ページが表示されます。



6 MENU SELECTつまみを回して→マークを設定したい項目に合わせ、MENU SELECTつまみを押す。

VFダイナミックコントラスト信号を使うには

DYNAMIC CONTRASTをONにすると、映像にコントラスト信号が付加されます。GAINを0～100%の範囲で設定できます。

以下の項目で、コントラスト信号の付きかたを調整できます。

**FILTER**：コントラスト抽出対象画素の選択範囲を調整する。

**MODE**：コントラスト信号付加モードの選択。LINEARは映像全体のコントラストを強調する。HIGHLIGHTは高輝度領域のコントラストを強調する。FOGGYはもやがかかり、コントラストが低い映像のコントラストを強調する。

7 MENU SELECTつまみを回して希望の設定値を表示させ、MENU SELECTスイッチを押す。

8 設定が終わったら、DISPLAYスイッチをOFFにして、メニューモードを解除する。

## HDR Look 機能の設定

本機能でカメラの撮像画をディスプレイ上にHDR映像として出力する際のLook（画作り）の設定を、以下の3つから選択することができます。

**Live**：SDR映像とのLook親和性を維持しながら、映像ダイナミックレンジが広く、コントラスト感と発色性の高い、迫力あるHDR映像。

**Mild**：Liveよりも全体的にコントラストと発色性を抑えたHDR映像。

**Natural**：HLGのオリジナルLookで、感度設定を下げノイズ感が少なく、発色も穏やかなHDR映像。（この設定は出力信号のOETF設定がHLGのときのみ選択可能）

機能の設定は<OUTPUT FORMAT>ページでできます。



# カメラ出力の設定

本機から直接出力する映像信号は、メニューを使用して設定できます。

設定した出力信号名のラベル（付属）をコネクタ表示部分に貼り、信号名を表示することができます。

## ご注意

- SD-SDI と VBS では、MAIN（カメラ画像）、RET（リターン）、VF（ビューファインダーと同等の画像）の設定は共通です。別の信号は出力できません。
- フォーマットが 720P に設定されていても SDI MONI 端子からは 1080i で出力されます。

## カメラで撮影している信号を出力する

<SDI OUT>または<TEST OUT>でCHARACTERを“ON”に設定することで、それぞれビューファインダーに表示される文字と同等の文字情報を付加できます。

## HD-SDIで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<SDI OUT>	SDI-MONI OUT	MAIN

## SD-SDIで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<SDI OUT>	SDI-MONI OUT	SD-SDI
	DOWN CONVERTER SELECT	MAIN

## VBSで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<TEST OUT>	OUTPUT	VBS
	DOWN CONVERTER SELECT	MAIN

## リターン信号を常に出力する

- カメラコントロールユニット接続時、カメラコントロールユニットに入力された信号のうちひとつを取り出して出力することができます。
- リターン選択で最後に選択した信号が出力されます。
- <SDI OUT> または <TEST OUT> で CHARACTER を“ON”に設定することで、それぞれビューファインダーに表示されるのと同等の文字情報を付加できます。

## HD-SDIで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<SDI OUT>	SDI-MONI OUT	RET

## SD-SDIで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<SDI OUT>	SDI-MONI OUT	SD-SDI
	DOWN CONVERTER SELECT	RET

## VBSで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<TEST OUT>	OUTPUT	VBS
	DOWN CONVERTER SELECT	RET

## ビューファインダーと同等の映像を出力する

- HD-SDI の場合、VF MARKER、CHARACTER、VF DETAIL、ZEBRA などの設定に応じてビューファインダーに表示される情報が付加された信号が得られます。それぞれの ON/OFF などの設定は、ビューファインダーにおける設定と同等です。ビューファインダーの Y、R、G、B や リターン信号への切り換えに同期します。
- SD-SDI と VBS では、リターン信号とカメラ画像との切り換えにのみ連動します。Y、R、G、B の切り換えには対応しません。また CHARACTER 以外の情報（VF MARKER、VF DETAIL、ZEBRA など）は付加できません。

## ご注意

ビューファインダーと同等の映像を出力する設定では、フォーマットが 720P に設定されていても 1080i で出力されます。

## HD-SDIで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<SDI OUT>	SDI-MONI OUT	VF

## SD-SDIで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<SDI OUT>	SDI-MONI OUT	SD-SDI
	DOWN CONVERTER SELECT	VF

## VBSで出力するには

メニューページ名	項目	設定
<TEST OUT>	OUTPUT	VBS
	DOWN CONVERTER SELECT	VF

## 3G-SDIで出力する

SDI 1出力が3G-SDI出力となります。

## 1080/59.94Pまたは1080/50Pを出力するには

メニューページ名	項目	設定
<OUTPUT FORMAT>	ACTIVE LINE	1080
	(フォーマット)	59.94Pまたは50P
<SDI OUT>	SDI-1	HD/3G-A/SDR HD/3G-B/SDRなど ◆SDI 出力フォーマット表 (56 ページ) 参照

## ご注意

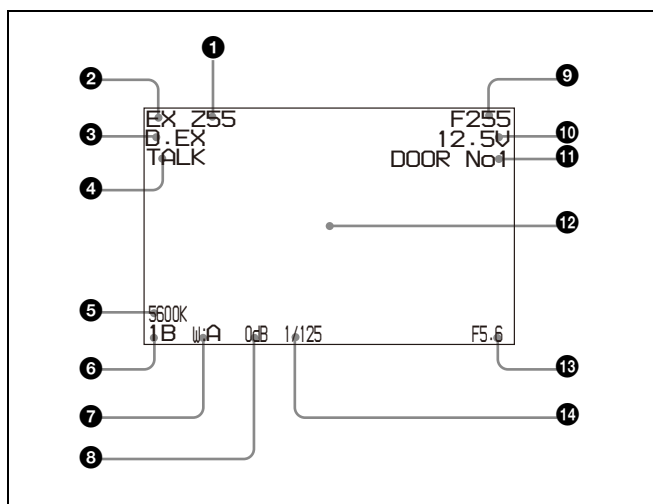
本機での3G-SDI出力には、カメラオペレーティングソフトウェアH3C-PRV50/PRV50M/PRV50W（別売）が必要です。

# ビューファインダー画面上の状態表示

ビューファインダー画面には、映像の他に本機の設定や動作の状態を示す文字やメッセージ、センターマーカー、セーフティゾーンマーカーなどが表示されます。

## DISPLAYスイッチがDISPLAYに設定されているとき

画面の上端、下端には、メニューや関連するスイッチでONに設定された項目が表示されます。



### ① ズームポジション

ズームレンズのバリエーターが、広角端 (0) と望遠端 (99) の間のおおよそどの位置にあるかを数値で表示します。

### ② レンズエクステンダー

レンズエクステンダーの使用中にEXを表示します。

### ③ デジタルエクステンダー

デジタルエクステンダーの使用中にD.EXを表示します。

### ④ TALK 表示

インターカムのマイクがONのとき、表示されます。

### ⑤ 5600K モード

5600KがONのとき、表示されます。

### ⑥ フィルター

現在選択されているフィルターの種類を表示します。数字 (1~5) はNDフィルターとクロスフィルターを示し、アルファベット (B、C、D) はCCフィルターを示します。

### ⑦ ホワイトバランスメモリー

現在選択されているホワイトバランスの自動調整メモリーを示します。

**W:A** : WHITE BAL スイッチを A に設定したとき

**W:B** : WHITE BAL スイッチを B に設定したとき

**W:P** : WHITE BAL スイッチを PRST に設定したとき

### ⑧ ゲイン値

GAINスイッチによる映像アンプのゲイン設定値 (dB) を示します。

### ⑨ フォーカスポジション

ズームレンズのフォーカスポジションを数値で表示します (0~255 (∞))。

### ❗ 注意

シリアル通信レンズ接続時のみ表示します。

### ⑩ バッテリー電圧

バッテリー電圧を表示します。

### ⑪ フォーカスポジションメーターのマーカー名

フォーカスポジションメーターのマーカー名が表示されます。

### ⑫ 設定変更 / 調整経過メッセージ表示部

メニューのMESSAGEの設定がOFF以外のときのみ有効です。

### ⑬ F 値

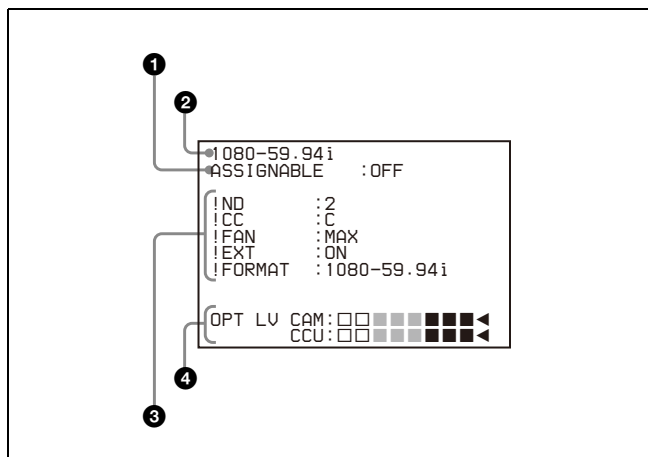
レンズのF値 (絞り値) を表示します。

### ⑭ シャッター / ECS

シャッター / ECSの状態を表示します。ただし、シャッターがOFFの場合、表示されません。

## STATUS/CANCELスイッチをSTATUS側にしたとき

STATUS/CANCELスイッチをSTATUS側にすると、下記のような状態表示に切り換わります。



### ① アサインブルスイッチ機能表示

ASSIGNスイッチD (6ページ) に割り当てられている機能を表示します。

◆ 割り当てられる機能については、OPERATION メニュー <SWITCH ASSIGN1> (39 ページ) をご覧ください。

### ② フォーマット表示

現在のビデオフォーマットを表示します。

### ③ '!' 表示領域

<'!' IND>機能を使用して標準以外の状況などを表示させる領域です。表示の条件はメニューで変更できます。

◆ 詳しくは OPERATION メニュー <'!' IND> (34 ページ) をご覧ください。

### ④ 受光レベル表示

受光レベルをセグメントで表示します。

**CAM**: カメラのCCU端子 (7ページ) における受光レベル

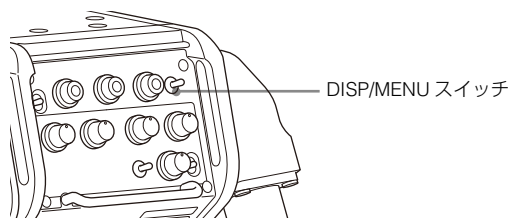
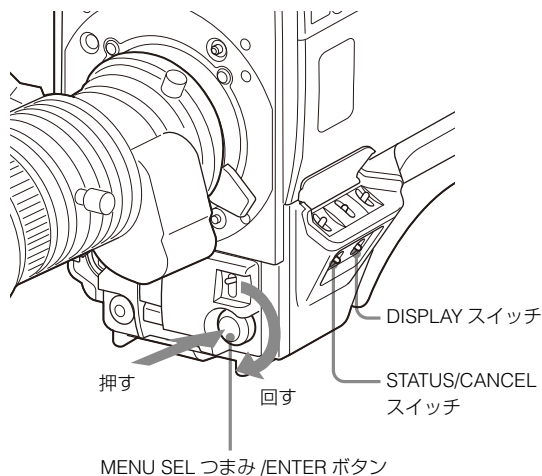
**CCU**: CCUのCAMERA端子における受光レベル



# メニュー操作

本機では、ビューファインダー画面に表示されるメニューを使用して各種の設定が可能です。

メニュー操作には、下記のスイッチ類を使用します。



## メニュー操作の開始

### メニューの設定ページを表示させるには

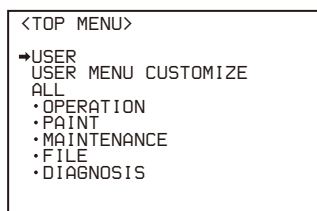
DISPLAYスイッチをOFFからMENUに切り換えます。リアパネルのDISP/MENUスイッチをMENU側に倒してMENUを表示することもできます。

前回操作したメニューのページが表示されます。(初めて操作するときはOPERATIONメニューのCONTENTSページが表示されます。)

### TOP MENU画面を表示させるには

MENU SELつまみ/ENTERボタンを押しながらDISPLAYスイッチをOFFからMENUに切り換えると、画面右上にTOPが表示されます。これを選択すると、メニューの全体構成を示すTOP MENU画面が表示され、この画面からメニューを選択することができます。

TOP MENU画面



### TOPを表示しないようにするには

電源を再起動するか、CANCEL/STATUSスイッチをCANCEL側に押しながらDISPLAYスイッチをOFFからMENUに切り換えると、TOP選択ができなくなります。

## メニュー構成

### USERメニュー

USERメニューは、ユーザーがOPERATION、PAINT、MAINTENANCE、FILE、DIAGNOSISメニューの中からよく使用するページを選択して構成するメニューです。ページの変更、追加、削除などはUSER MENU CUSTOMIZEメニューで行います。

### USER MENU CUSTOMIZEメニュー

USERメニューを編集するとき使用します。

◆ 詳しくは「USERメニューの編集」(25ページ)をご覧ください。

### ALLメニュー

このメニューを選択すると、OPERATION、PAINT、MAINTENANCE、FILE、DIAGNOSISの各メニュー項目をひとつのメニューとして扱うことができます。

### OPERATIONメニュー

カメラマンが本機を運用するための設定項目です。主に、ビューファインダー、インターカム、スイッチ設定などを行います。

### PAINTメニュー

波形モニター等を使用してカメラの出力の波形を監視しながら、細かな画像調整をするための設定項目が含まれています。通常、各項目の設定を行うにはビデオエンジニアのサポートが必要です。

項目の設定は、外部のリモートコントロールパネルやマスターセットアップユニットなどでも行えますが、このメニュー自体は、本機を屋外で単体で使用する場合に有効です。

### MAINTENANCEメニュー

変更頻度の少ないペイント項目やカメラ保守用の項目が含まれています。

### FILEメニュー

リファレンスファイルなどの書き込みやクリアなど、ファイル操作を行います。

### DIAGNOSISメニュー

自己診断情報を表示します。

## TOP MENUからメニューを選択するには

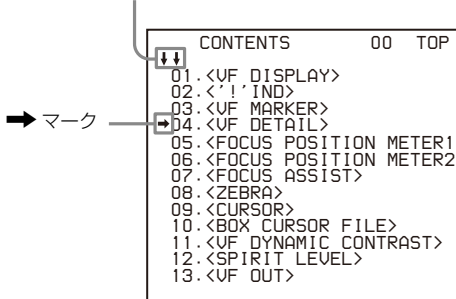
- 1 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して、→マークを設定したいメニューに移動する。
- 2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
選択したメニューのCONTENTSページまたは前回操作したページが表示されます。

## ページの選択

### CONTENTSページから設定ページを選択するとき

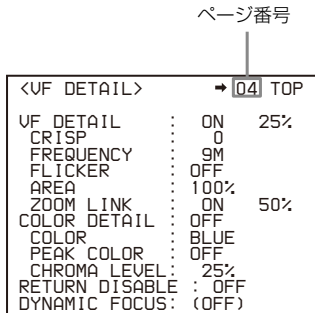
例: OPERATIONメニューのCONTENTSページ

画面スクロールが可能な場合、スクロール方向を示す矢印が表示されます。



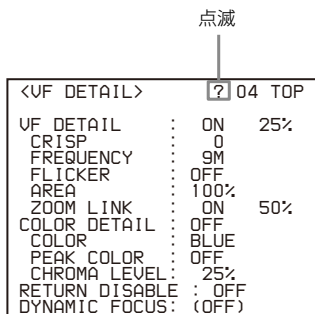
MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークを設定したいページに合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

選択したページが表示されます。



### 設定ページを切り換えるには

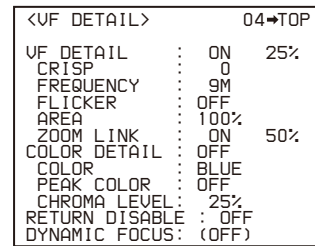
- 1 ページ番号の左に→マークが表示されていることを確認し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
→マークが?マークに変わり、点滅します。



- 2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して、ページを順次切り換える。
- 3 設定したいページが表示されたら、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
?マークが→マークに戻り、選択したページの操作が可能になります。

### TOP MENUに戻るには

ページの右上に表示されているTOPに→マークを合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。



TOP MENU画面が表示されます。

## メニュー項目の設定

ページ番号の左に?マークが表示されているときは、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押して→マークに切り換えます。表示されているページの設定が可能になります。

- 1 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して、→マークを設定したい項目に移動する。
- 2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
→マークが?マークに変わり、点滅します。
- 3 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して、設定を変更する。  
速く回すと数値が速く変化し、ゆっくり回すと微調整ができます。

### 変更した数値を取り消すには

MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す前にSTATUS/CANCELスイッチをCANCEL側に押すと、設定が元に戻ります。

### 設定を中断するには

DISPLAYスイッチをOFFにすると、メニュー表示が消えます。再びDISPLAYスイッチをMENUにすると、設定を再開することができます。

- 4 MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
?マークが→マークに戻り、設定が確定します。
- 5 続けて同じページの設定項目を変更するには、手順1~4を繰り返す。

### 文字列を設定するには

ファイルIDなど、文字列を入力する項目に→マークを合わせてMENU SELつまみ/ENTERボタンを押すと、四角いカーソルと選択できる文字のリストが表示されます。カーソルは、MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して移動します。

- 1 入力位置にカーソルを移動し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
文字リストにカーソルが表示されます。

## 2 入力したい文字にカーソルを合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

手順1と2を繰り返します。

文字リストの下の行でINSを選択すると、カーソル位置にスペースを入力できます。

DELを選択すると、カーソル位置の文字を削除できます。

RETを選択すると、文字を変更しないで手順1に戻ります。

最大許容文字数まで（右端のマークまで）入力すると、カーソルが文字リストの右下のESCに移動します。

ENDを選択してMENU SELつまみ/ENTERボタンを押すと、新しく入力した文字列が確定します。

元の状態に戻りたいときは、ESCを選択してMENU SELつまみ/ENTERボタンを押してください。

## 設定値を標準設定に戻すには

項目を選択し、➡マークが表示されているときにMENU SELつまみ/ENTERボタンを3秒長押しすると、設定値がリファレンスファイルの状態に戻ります。

## メニュー操作を終了するには

DISPLAYスイッチをOFFにします。

## USER メニューの編集

OPERATION、PAINT、MAINTENANCE、FILE、DIAGNOSISの各メニューから任意のページや項目を選択して、USERメニューに登録することができます。

使用頻度の高いページや項目をあらかじめUSERメニューに登録しておくことによって、設定を容易にすることができます。

工場出荷時には、以下のページがUSERメニューに設定されています。

メニューページ名	USER メニュー No.	ソースメニュー / ページ No.
<VF OUT>	U01	OPERATION 12
<VF DETAIL>	U02	OPERATION 04
<FOCUS ASSIST>	U03	OPERATION 07
<VF DISPLAY>	U04	OPERATION 01
<'!'IND>	U05	OPERATION 02
<VF MARKER>	U06	OPERATION 03
<CURSOR>	U07	OPERATION 09
<ZEBRA>	U08	OPERATION 08
<SWITCH ASSIGN1>	U09	OPERATION 14
<SWITCH ASSIGN2>	U10	OPERATION 15
<HEADSET MIC>	U11	OPERATION 19
<OUTPUT FORMAT>	U12	MAINTENANCE M11
<TEST OUT>	U13	MAINTENANCE M12
<SDI OUT>	U14	MAINTENANCE M13
<ROM VERSION>	U15	DIAGNOSIS D03

◆ 各ページの項目については、それぞれ「メニュー一覧」（28ページ）のソースメニューの表を参照してください。

USERメニューは、USER MENU CUSTOMIZEメニューによってページや項目の追加、削除、順番入替えなどを行い、より使いやすく編集することができます。

## 項目単位で編集するには

USER MENU CUSTOMIZEメニューには、USERメニューに新しいページを追加し、任意の項目を追加する機能があります。工場出荷時、EDITページにはすでに項目が入っていますが、USER 1 EDIT～USER 19 EDITページは白紙の状態です。これらのページには、空白行も含めて最大10個の項目を登録することができます。

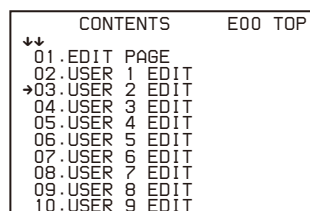
## ページ内の項目を追加するには

以下の手順で操作します。

1 MENU SELつまみ/ENTERボタンを押しながらDISPLAYスイッチをOFFからMENUに切り換える。  
TOP MENU画面が表示されます。

2 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して、USER MENU CUSTOMIZEに➡マークを移動させ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

USER MENU CUSTOMIZEメニューを初めて使用するときは、CONTENTSページが表示されます。

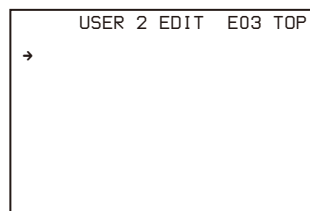


	CONTENTS	E00 TOP
↕	01 .EDIT PAGE	
	02 .USER 1 EDIT	
➡	03 .USER 2 EDIT	
	04 .USER 3 EDIT	
	05 .USER 4 EDIT	
	06 .USER 5 EDIT	
	07 .USER 6 EDIT	
	08 .USER 7 EDIT	
	09 .USER 8 EDIT	
	10 .USER 9 EDIT	

すでにこのメニューを使用している場合は、前回操作したページが表示されます。

3 CONTENTSページが表示されている場合は、USER 1 EDIT～USER 19 EDITのいずれかに➡マークを移動させ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
他のページが表示されている場合は、MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して希望のページまで画面をスクロールさせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

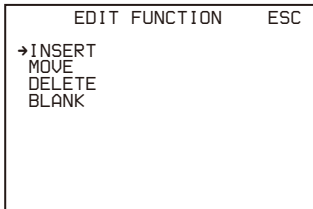
例：USER 2 EDITページを選んだ場合



	USER 2 EDIT	E03 TOP
➡		

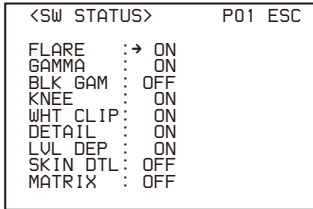
4 項目を追加したい箇所に➡マークを合わせて（前図のように項目が表示されていない場合はそのまま）、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

EDIT FUNCTION画面が表示されます。



### 5 →マークをINSERTに合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

前回追加された項目のページが表示されます。



### 6 項目を追加する。

- ① MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して希望の項目があるページまで画面をスクロールさせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。
- ② MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークを希望の項目に合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

USER 2 EDITページに戻り、追加した項目が表示されます。

### 7 手順4~6を繰り返して、残りの項目を追加する。 最大10項目を登録することができます。

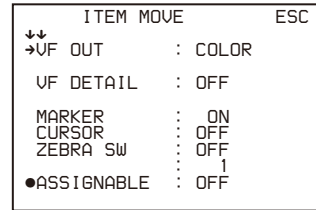
ページ内の項目を削除するには  
以下の手順で操作します。

- 1 削除したい項目に→マークを合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
EDIT FUNCTION画面が表示されます。
- 2 DELETEを選択し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
画面表示が戻り、右上に「DELETE OK ? YES→NO」というメッセージが表示されます。
- 3 削除を実行する場合は、MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークをYESに移動してから、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

ページ内の項目の順番を入れ替えるには  
以下の手順で操作します。

- 1 移動したい項目に→マークを合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
EDIT FUNCTION画面が表示されます。
- 2 MOVEを選択し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
画面表示が戻ります。

### 3 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して移動先に→マークを合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。



手順1で選んだ項目が、手順3で選んだ項目の上に移動します。

上の例では、一番上にASSIGNABLEが入り、他の項目が1つずつ下に移動します。

空白行を入れるには  
以下の手順で操作します。

- 1 空白を入れる項目に→マークを合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
EDIT FUNCTION画面が表示されます。
- 2 BLANKを選択し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。  
画面表示が戻り、指定した項目の上に空白行が挿入されます。

#### ご注意

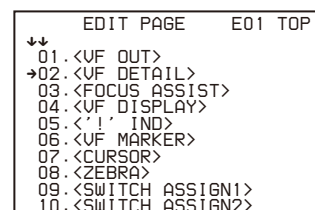
すでに10個の項目があるページには、空白行を入れることはできません。

### ページ単位で編集するには

USER MENU CUSTOMIZEメニューのEDIT PAGEを使用して、USERメニューに新しいページや既存のページを追加したり、削除したり、入れ替えたりすることができます。

ページを追加するには  
以下の手順で操作します。

- 1 TOP MENU画面からUSER MENU CUSTOMIZEを選択する。  
USER MENU CUSTOMIZEメニューを初めて使用するときは、CONTENTSページが表示されます。  
すでにこのメニューを使用している場合は、前回操作したページが表示されます。
- 2 CONTENTSページが表示されている場合は、EDIT PAGEに→マークを移動させ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押してEDIT PAGEを表示させる。  
他のページが表示されている場合は、MENU SELつまみ/ENTERボタンを回してEDIT PAGEまで画面をスクロールさせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。



### 3 ページを追加したい箇所に→マークを合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

EDIT FUNCTION画面が表示されます。

```
EDIT FUNCTION      ESC
→INSERT
MOVE
DELETE
```

### 4 INSERTを選択し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

選択画面が表示されます。

```
CONTENTS          ESC
↓↓
→01.USER 1
02.USER 2
03.USER 3
04.USER 4
05.USER 5
06.USER 6
07.USER 7
08.USER 8
09.USER 9
10.USER 10
```

### 5 →マークを希望のページに合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

手順3で選択した項目の上に新しい項目が追加されます。

ページ追加の操作を中止するには

上記の手順5でMENU SELつまみ/ENTERボタンを押す前に、→マークを画面右上のESCに合わせ、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押します。

EDIT PAGEに戻ります。

ページを削除するには

以下の手順で操作します。

### 1 USER MENU CUSTOMIZEメニューのEDIT PAGEを開き、削除したい項目に→マークを合わせてMENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

EDIT FUNCTION画面が表示されます。

### 2 DELETEを選択し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

画面表示が戻り、右上に「DELETE OK? YES→NO」というメッセージが表示されます。

```
ITEM DELETE      ESC
DELETE OK? YES→NO
01.<VF OUT>
02.<VF DETAIL>
03.<FOCUS ASSIST>
●04.<VF DISPLAY>
05.<'!' IND>
06.<VF MARKER>
07.<CURSOR>
08.<ZEBRA>
09.<SWITCH ASSIGN1>
10.<SWITCH ASSIGN2>
```

### 3 削除を実行する場合は、MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して→マークをYESに移動してから、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

ページの順番を入れ替えるには

以下の手順で操作します。

### 1 USER MENU CUSTOMIZEメニューのEDIT PAGE画面を開き、MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して移動したいページに→マークを合わせてMENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

EDIT FUNCTION画面が表示されます。

### 2 MOVEを選択し、MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

EDIT PAGE画面に戻ります。

### 3 MENU SELつまみ/ENTERボタンを回して移動先の場所に→マークを合わせる。

```
ITEM MOVE        ESC
↓↓
01.<VF OUT>
02.<VF DETAIL>
03.<FOCUS ASSIST>
→04.<VF DISPLAY>
05.<'!' IND>
06.<VF MARKER>
07.<CURSOR>
●08.<ZEBRA>
09.<SWITCH ASSIGN1>
10.<SWITCH ASSIGN2>
```

### 4 MENU SELつまみ/ENTERボタンを押す。

手順1で選んだページが手順3で選んだ場所に移動します。

上の例では、04に<ZEBRA>が入り、<VF DISPLAY>以降のページが1行ずつ下に移動します。

# メニュー一覧

ビューファインダーに表示されるメニューを表で示します。

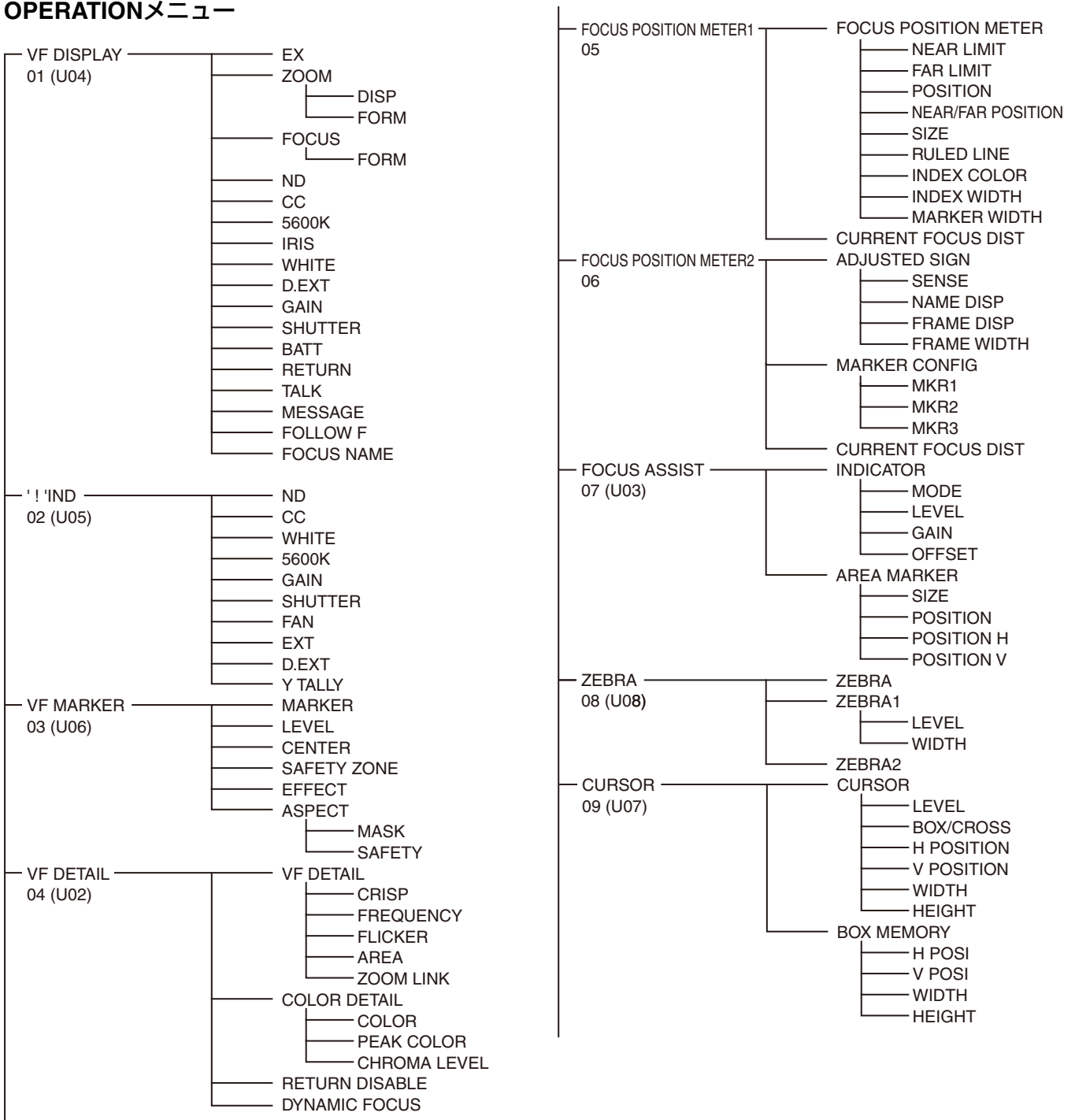
- 工場出荷時に USER メニューに設定されているページの場合は、表の No. 欄に USER メニューのページ番号が ( ) で記載されています。
- 各メニューには、それぞれの CONTENTS ページ (No. 00) も用意されています。

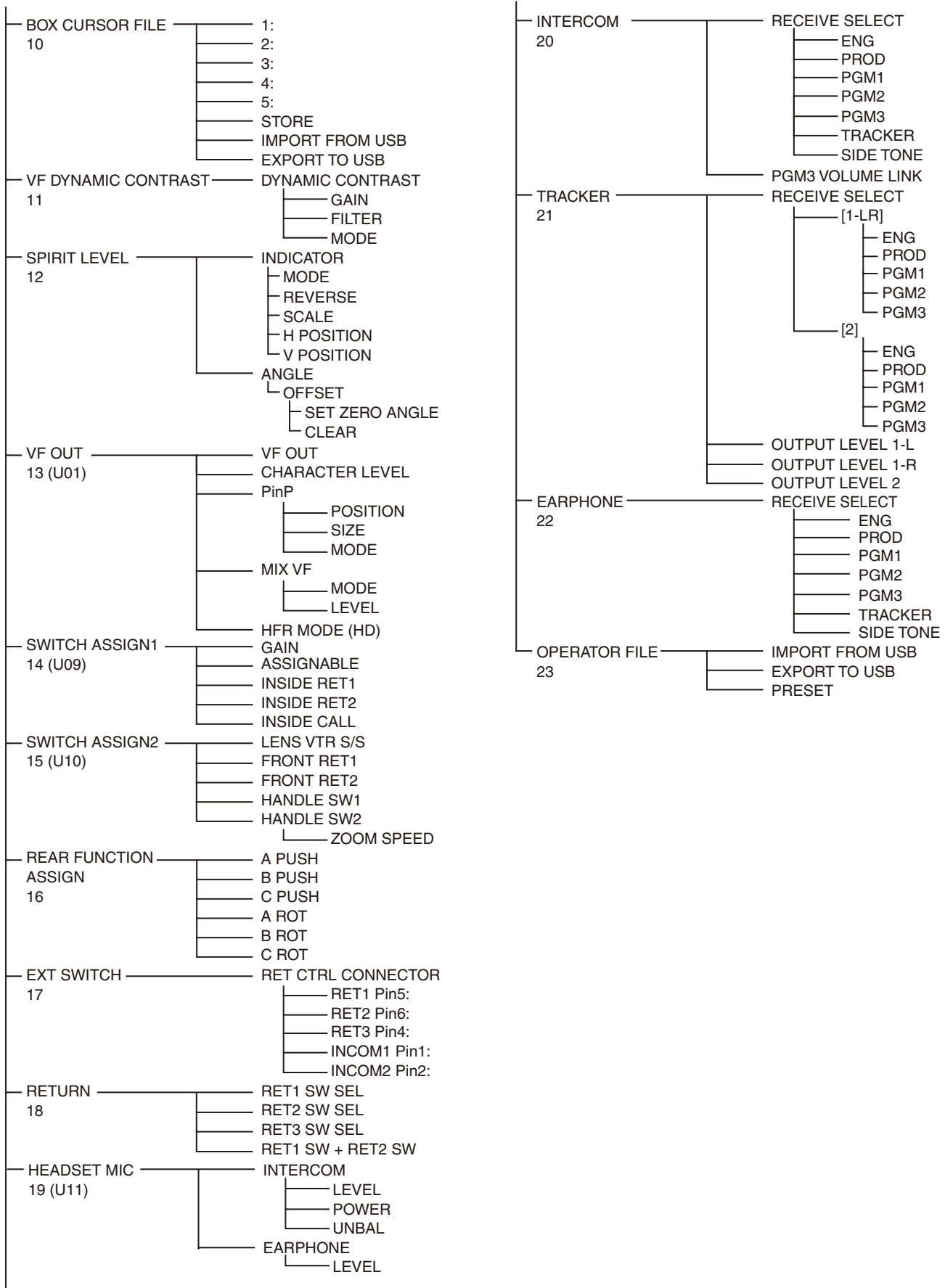
## 凡例

**CCU:** カメラコントロールユニット HDCU3100/3170/3500/2000/2500  
**設定値欄の ON, OFF, 0 など:** 下線部は出荷時の初期設定値です。  
**ENTER で実行:** MENU SEL つまみ /ENTER ボタンを押して実行する。

## メニューツリー

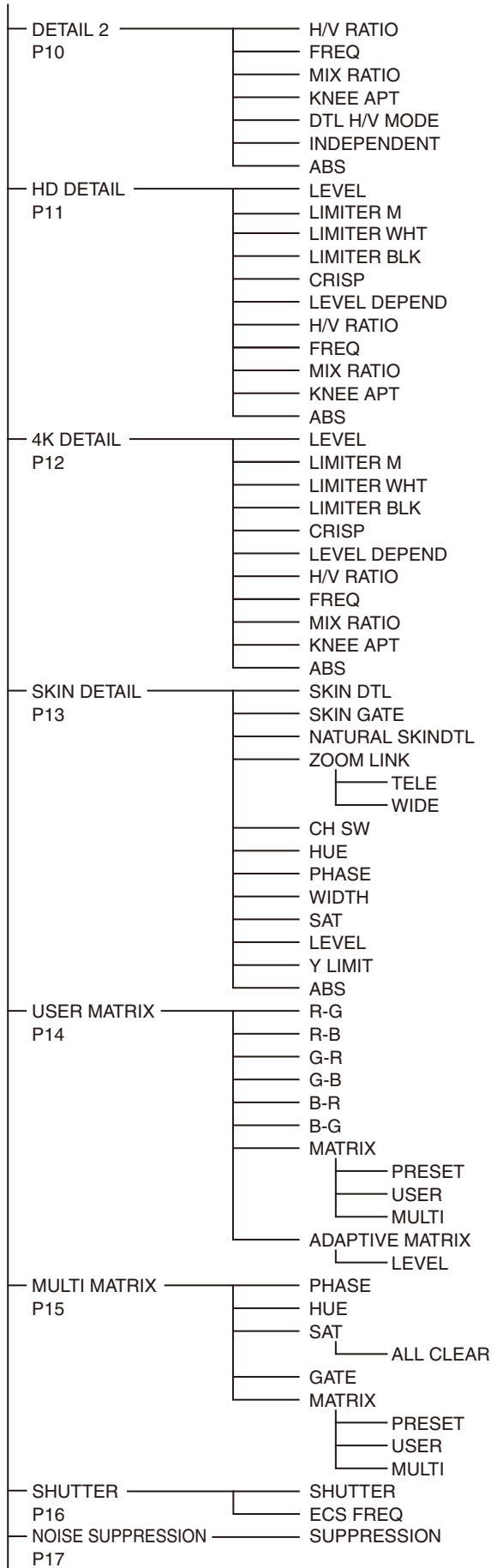
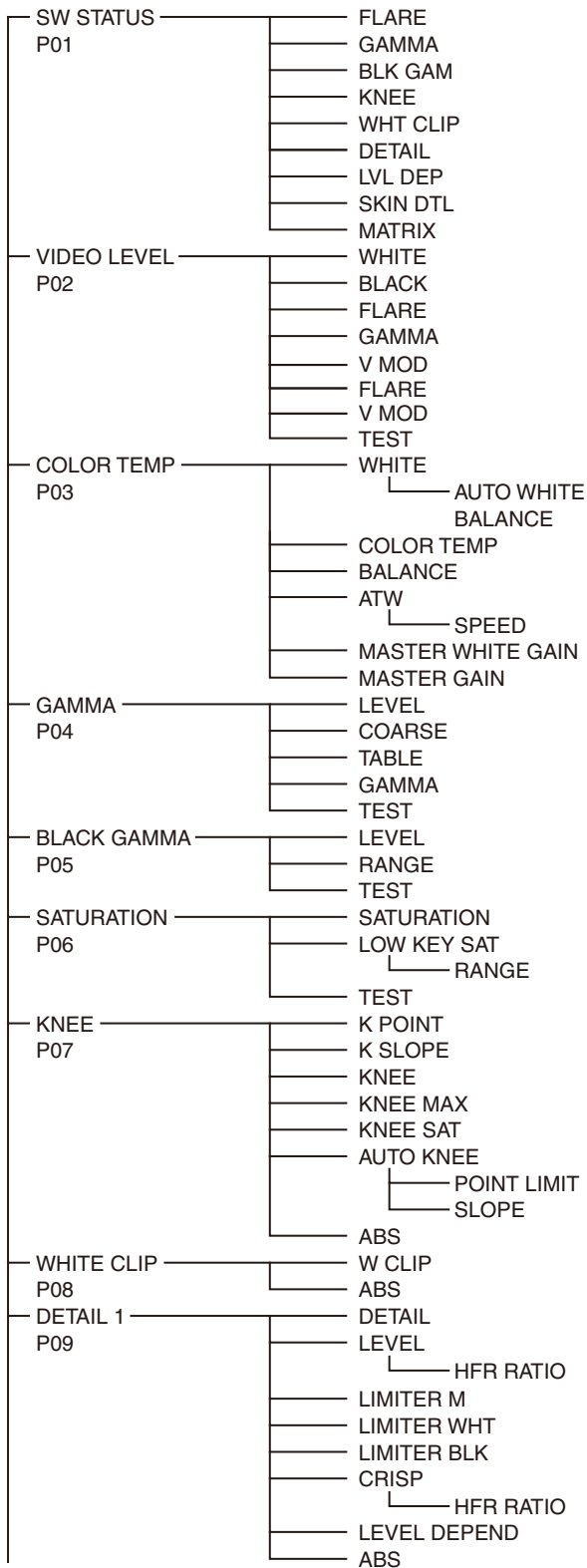
### OPERATIONメニュー

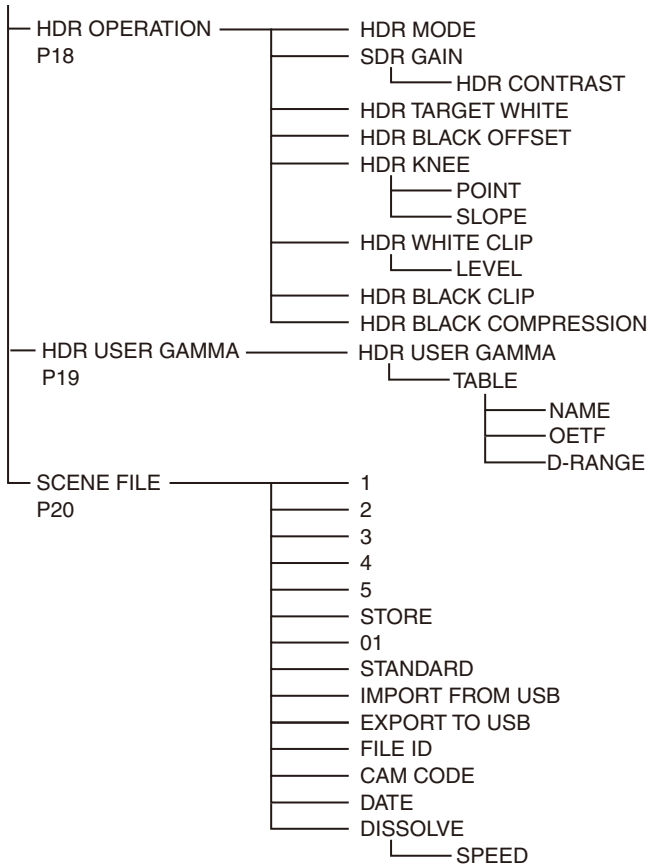




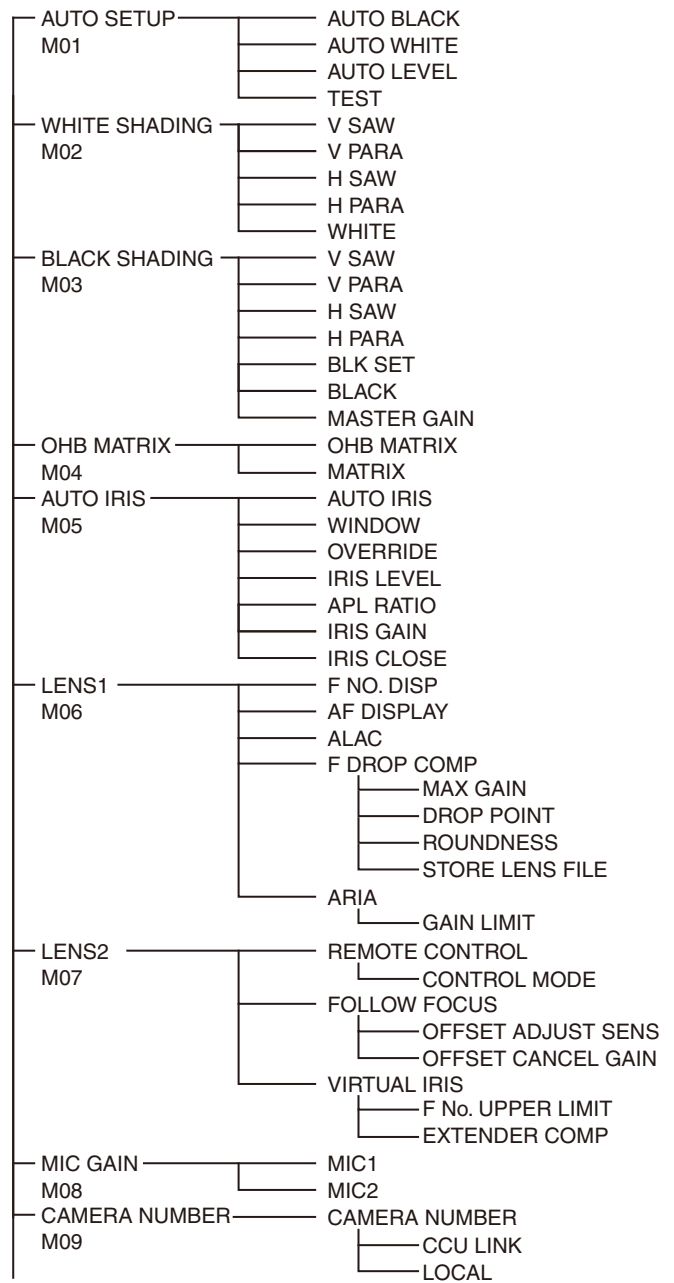


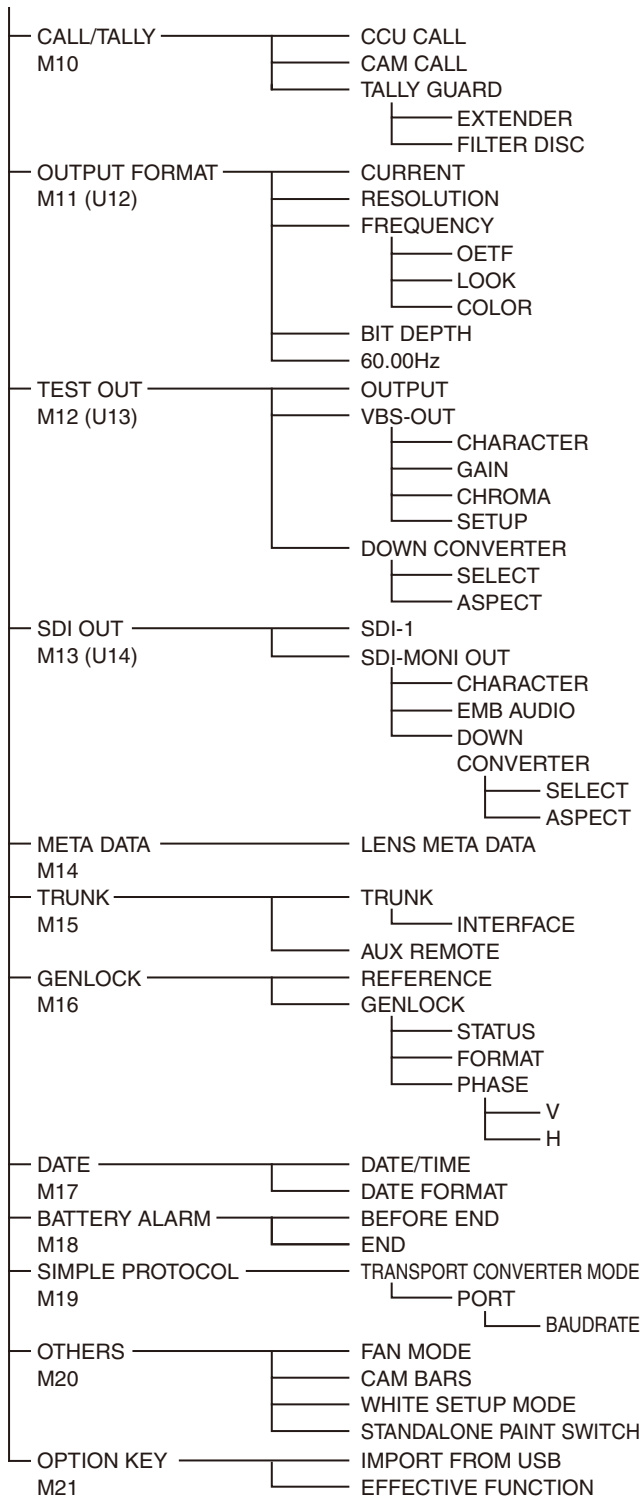
# PAINTメニュー



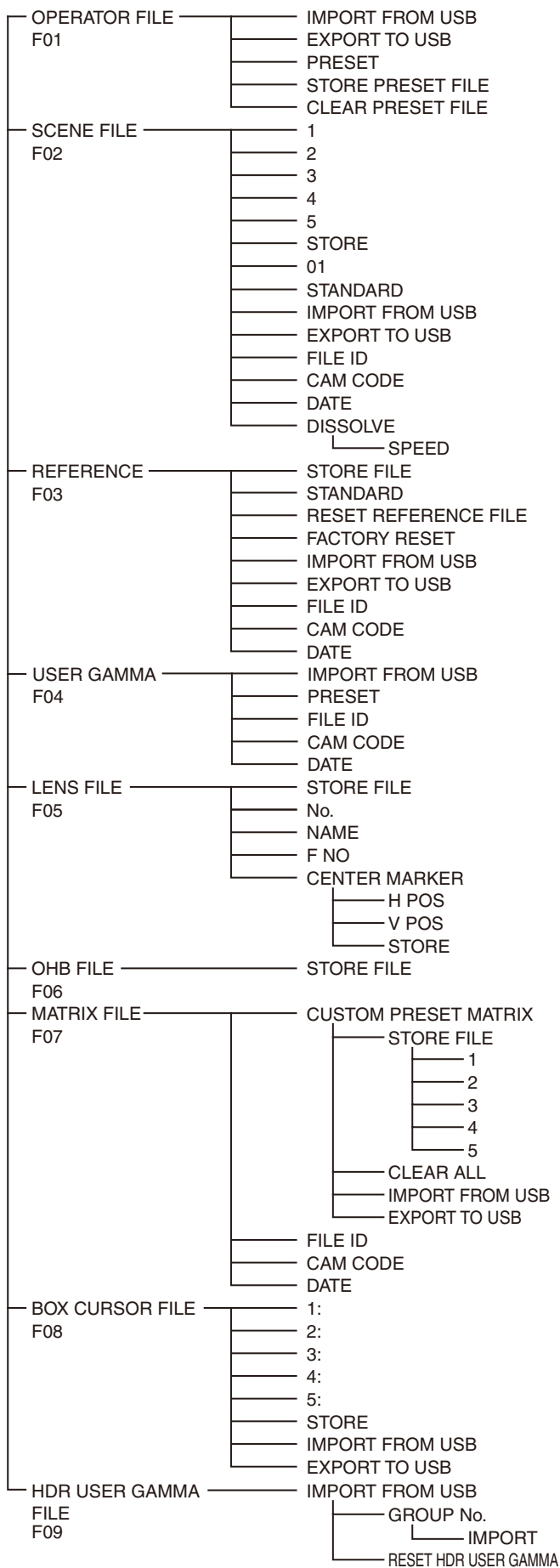


## MAINTENANCEメニュー

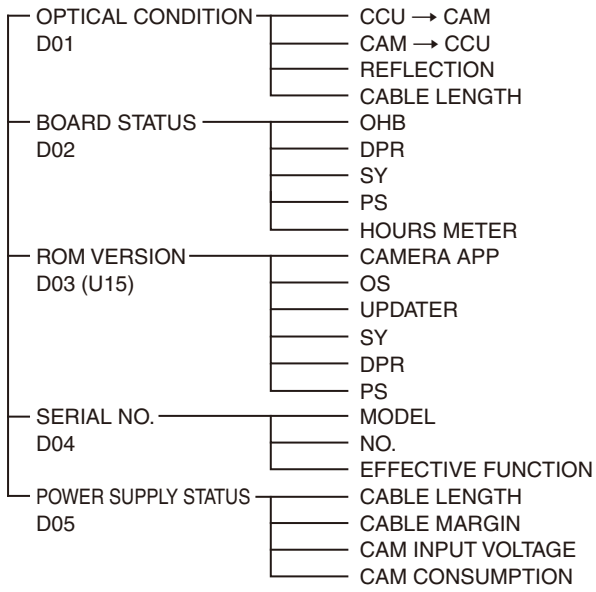




## FILEメニュー



# DIAGNOSISメニュー



# OPERATION メニュー

OPERATION	項目	設定値	備考
<VF DISPLAY> 01 (U04)	EX	<b>ON</b> , OFF, 3S	
	ZOOM	ON, <b>OFF</b> , 3S	
	DISP	<b>LEFT</b> , RIGHT	
	FORM	<b>999</b> , mm	ZOOM 表示形式の設定 <b>999</b> : 0 ~ 999 で表示 (単位なし) <b>mm</b> : ミリメートルで表示
			<b>ご注意</b> シリアルレンズ使用時以外は 999 を表示します。
	FOCUS	ON, <b>OFF</b> , 3S	シリアルレンズ使用時のみ有効
	FORM	<b>999</b> , m, ft	FOCUS 表示形式の設定 <b>999</b> : 0 ~ 999 で表示 (単位なし) <b>m</b> : メートルで表示 <b>ft</b> : フィートで表示
			<b>ご注意</b> シリアルレンズ使用時以外は 999 を表示します。
	ND	<b>ON</b> , OFF, 3S	
	CC	<b>ON</b> , OFF, 3S	
	5600K	<b>ON</b> , OFF, 3S	
	IRIS	<b>ON</b> , OFF, 3S	
	WHITE	ON, <b>OFF</b> , 3S	
	D.EXT	<b>ON</b> , OFF, 3S	
	GAIN	<b>ON</b> , OFF, 3S	
	SHUTTER	<b>ON</b> , OFF, 3S	
	BATT	ON, <b>OFF</b> , 3S	
	RETURN	<b>ON</b> , OFF, 3S	
	TALK	<b>ON</b> , OFF, 3S	
	MESSAGE	<b>ALL</b> , WRN, AT, OFF	<b>ALL</b> : すべてのメッセージを表示する。 <b>WRN</b> : ワーニング以上のメッセージを表示する。 <b>AT</b> : オートセットアップ以上のメッセージを表示する。
FOLLOW F	ON, <b>OFF</b> , 3S		
FOCUS NAME	OFF, 1S, 3S, 5S, <b>ON</b>	Marker Name の表示 / 非表示と表示時間の設定	
<'!'IND> 02 (U05)	ND	<b>ON</b> , OFF 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 (組み合わせ可)	[IND] : '!' 表示 (22 ページ参照) のオン / オフ [NORMAL] : [IND] が ON に設定されていても点灯しない条件 (標準となる項目を設定しておくことによって、標準以外の項目が選択されたとき '!' 表示で通知することができます。)
	CC	<b>ON</b> , OFF <b>B</b> , C, D (組み合わせ可)	
	WHITE	<b>ON</b> , OFF, --- P, <b>A</b> , <b>B</b> (組み合わせ可)	例 ; ND の初期設定では、1 以外の ND フィルターが選択されたとき '!' 表示されます。
	5600K	<b>ON</b> , OFF, --- ON, <b>OFF</b>	--- : CCU 接続時 (変更不可)
	GAIN	<b>ON</b> , OFF, --- <b>L</b> , M, H (組み合わせ可)	
	SHUTTER	<b>ON</b> , OFF, --- ON, <b>OFF</b>	
	FAN	<b>ON</b> , OFF <b>AUTO1</b> , AUTO2, MIN, MAX	
	EXT	<b>ON</b> , OFF	
	D.EXT	<b>ON</b> , OFF	
	Y TALLY	<b>ON</b> , OFF	


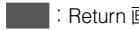

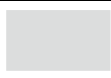

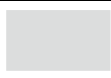

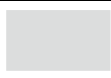

























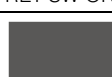



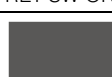



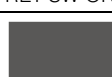


OPERATION				
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考	
<VF MARKER> 03 (U06)	MARKER	<b>ON</b> , OFF <b>WHITE</b> , BLACK, DOT	すべてのマーカの表示の ON/OFF を設定します。	
	LEVEL	MIN, 1 ~ 10, <b>4</b>		
	CENTER	ON, <b>OFF</b> <b>1</b> , 2, 3, 4	<b>1</b> : 全クロス <b>2</b> : 全クロス穴あき <b>3</b> : 中心 <b>4</b> : 中心穴あき	
	SAFETY ZONE	ON, <b>OFF</b> 80.0, <b>90.0</b> , 92.5, 95.0%		
	EFFECT	ON, <b>OFF</b>		
	ASPECT	ON, <b>OFF</b> 16:9, 15:9, 14:9, 13:9, <b>4:3</b>	<b>(4:3)</b> : HDLA 装着時に HDLA 側で VF SCAN が 4:3 に設定されているとき (変更不可)	
	MASK	ON, <b>OFF</b> 0 ~ 15, <b>12</b>	<b>(ON)</b> : HDLA 装着時に HDLA 側で VF SCAN が 4:3 に設定されているとき (変更不可) アスペクト外の落とし込みレベル	
	SAFETY	ON, <b>OFF</b> 80.0, <b>90.0</b> , 92.5, 95.0%	アスペクトモードのセーフティマーカの設定。	
	<VF DETAIL> 04 (U02)	VF DETAIL	<b>ON</b> , OFF, (ON), (OFF) 0 ~ 100%, (0 ~ 100%), <b>25%</b>	( ) 表示: HDLA 装着時 (変更不可)
		CRISP	-99 ~ +99, <b>0</b>	
		FREQUENCY	<b>9M</b> , 14M, 18M	
		FLICKER	ON, <b>OFF</b>	
	AREA	10 ~ 100%, <b>100%</b>		
	ZOOM LINK	<b>ON</b> , OFF 0 ~ 100%, <b>50%</b>		
	COLOR DETAIL	ON, <b>OFF</b> YELLOW, RED, <b>BLUE</b>		
	COLOR	ON, <b>OFF</b>		
	PEAK COLOR	ON, <b>OFF</b>		
	CHROMA LEVEL	100%, 50%, <b>25%</b> , 0%		
	RETURN DISABLE	ON, <b>OFF</b>	RETURN 表示時に VF DETAIL を OFF にするかどうかを選択	
	DYNAMIC FOCUS	<b>OFF</b> , ON, (OFF)		
<FOCUS POSITION METER1> 05	FOCUS POSITION METER	<b>OFF</b> , ON	フォーカスポジションメーターの表示 / 非表示	
	NEAR LIMIT	<b>0</b> ~ 999	フォーカスポジションメーターの NEAR 端の設定	
	FAR LIMIT	0 ~ <b>999</b>	フォーカスポジションメーターの FAR 端の設定	
	POSITION	<b>TOP</b> , RIGHT, BOTTOM, LEFT	フォーカスポジションメーターの表示位置の設定 <b>TOP</b> : 画面上部に表示 <b>RIGHT</b> : 画面右に表示 <b>BOTTOM</b> : 画面下部に表示 <b>LEFT</b> : 画面左に表示	
	NEAR/FAR POSITION	<b>NORMAL</b> , REVERSE	フォーカスポジションメーターの遠近表示方向の設定 REVERSE にすると、NEAR 端 / FAR 端位置が反転する。	
	SIZE	<b>NORMAL</b> , HALF	フォーカスポジションメーターの表示サイズの設定	
	RULED LINE	<b>OFF</b> , ON	Ruled Line の表示 / 非表示	
	INDEX COLOR	BLACK, <b>WHITE</b>	Index の色設定	
	INDEX WIDTH	<b>1</b> ~ 5	Index の幅設定	
	MARKER WIDTH	<b>1</b> ~ 9	Marker の軸部分の幅設定	
	CURRENT FOCUS DIST		現在のフォーカス距離 (表示のみ)	

OPERATION				
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考	
<FOCUS POSITION METER2> 06	ADJUSTED SIGN			
	SENSE	1 ~ 5, <b>2</b>	ADJUST 判定の感度の設定 数値が大きいほど高感度になる。	
	NAME DISP	OFF, 1S, 3S, 5S, <b>ON</b>	Marker Name の表示 / 非表示と表示時間の設定	
	FRAME DISP	OFF, 1S, 3S, 5S, <b>ON</b>	Adjust Frame の表示 / 非表示と表示時間の設定	
	FRAME WIDTH	1 ~ 5, <b>2</b>	Adjust Frame の幅設定	
	MARKER CONFIG			
	[REG] MKR1, 2, 3	ENTER で実行	現在のフォーカス位置での Marker の登録 (Marker 登録操作を専用スイッチに割り当てている場合、 ここでの登録は不可)	
	[DISP] MKR1, 2, 3	<b>OFF</b> , ON	Marker の表示 / 非表示 (Marker 登録操作を専用スイッチに割り当てている場合、 ここでの変更は不可)	
	[COLOR] MKR1, 2, 3	<b>RED, GREEN, BLUE</b> , YELLOW, ORANGE, PURPLE, GRAY, BLACK, WHITE	Marker の三角部分の色設定 MKR1 のデフォルト値は RED、MKR2 のデフォルト値は GREEN、MKR3 のデフォルト値は BLUE	
	[NAME] MKR1, 2, 3	最大 8 文字 (初期値 : MARKER 1 ~ 3)	Marker Name の文字設定 ◆「文字列を設定するには」(24 ページ) 参照	
	[POS] MKR1, 2, 3	<b>0</b> ~ 999	Marker の位置設定	
	CURRENT FOCUS DIST		現在のフォーカス距離 (表示のみ)	
	<FOCUS ASSIST> 07 (U03)	INDICATOR	ON, <b>OFF</b>	
		MODE	<b>BOX</b> , B&W, COL <b>BTM</b> , LEFT, TOP, RIGHT	
LEVEL		MIN, 1 ~ 10, <b>4</b> <b>QUICK</b> , SMOOTH		
GAIN		0 ~ 99, <b>50</b>		
OFFSET		0 ~ 99, <b>50</b>		
AREA MARKER		ON, <b>OFF</b>		
SIZE		SMALL, <b>MIDDLE</b> , LARGE		
POSITION		LEFT, <b>CENTER</b> , RIGHT		
POSITION H		0 ~ 99, <b>50</b>		
POSITION V		0 ~ 99, <b>50</b>		
<ZEBRA> 08 (U08)		ZEBRA	ON, <b>OFF</b> <b>1</b> , 2, 1&2	
	ZEBRA1			
	LEVEL	50 ~ 109%, <b>70%</b>		
	WIDTH	0 ~ 30%, <b>10%</b>		
	ZEBRA2	50 ~ 109%, <b>100%</b>		
	CURSOR	<b>OFF</b> , ON	HDLA 装着時は 表示のみ	
	LEVEL	<b>WHITE</b> , BLACK, DOT MIN, 1 ~ 10, <b>4</b>		
BOX/CROSS	<b>BOX</b> , CROSS			
H POSITION	0 ~ 99, <b>50</b>	HDLA 装着時は 表示のみ		
V POSITION	0 ~ 99, <b>50</b>			
WIDTH	0 ~ 99, <b>50</b>			
HEIGHT	0 ~ 99, <b>50</b>			
BOX MEMORY	1/2/3/4: <b>OFF</b> , ON			
H POSI	1/2/3/4: 0 ~ 99, <b>50</b>			
V POSI	1/2/3/4: 0 ~ 99, <b>50</b>			
WIDTH	1/2/3/4: 0 ~ 99, <b>50</b>			
HEIGHT	1/2/3/4: 0 ~ 99, <b>50</b>			



OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<BOX CURSOR FILE> 10	1:		BOX CURSOR FILE 選択と FILE 名入力
	2:		BOX CURSOR FILE を選択するときは、数字の左側にカーソルを合わせる。
	3:		BOX CURSOR FILE 名を入力するときは、数字の右側にカーソルを合わせる。
	4:		◆「文字列を設定するには」(24 ページ) 参照
	5:		
	STORE		BOX CURSOR FILE 名をカメラに保存
	IMPORT FROM USB		BOX CURSOR FILE を USB からカメラへ転送
	EXPORT TO USB		BOX CURSOR FILE をカメラから USB へ転送
<VF DYNAMIC CONTRAST> 11	DYNAMIC CONTRAST	<b>OFF</b> , ON	VF に表示される画のコントラストを強調する機能の ON/OFF 設定
	GAIN	0 ~ 100%, <b>30%</b>	コントラスト強調の強度の設定
	FILTER	<b>NARROW</b> , MIDDLE, WIDE	コントラストを抽出するフィルターの周波数特性の設定
	MODE	LINEAR, <b>HIGHLIGHT</b> , FOGGY	コントラストを強調するモードの設定 <b>LINEAR</b> : 全輝度に対して強調を行う。 <b>HIGHLIGHT</b> : 高輝度部分に対して強調を行う。 <b>FOGGY</b> : 低輝度部分に対して強調を行う。
<SPIRIT LEVEL> 12	INDICATOR	ON, <b>OFF</b>	
	MODE	<b>1</b> , 2	インジケータの表示形式を切り換える。
	REVERSE	<b>OFF</b> , ON	インジケータの左右の動作を反転する。
	SCALE	50% ~ 150%, <b>100%</b>	インジケータの水平方向の幅を調整する。
	H POSITION	0 ~ 99, <b>50</b>	
	V POSITION	0 ~ 99, <b>97</b>	
	ANGLE		傾きの角度 (表示のみ)
	OFFSET	-90 ~ +90, <b>0</b>	
	SET ZERO ANGLE	ENTER で実行	現在の傾きを水平 (0°) にする
	CLEAR	ENTER で実行	OFFSET を 0 にする

**OPERATION**

ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考															
<VF OUT> 13 (U01)	VF OUT	<b>COLOR</b> , Y, R, G, B, (COLOR), (Y), (R), (G), (B), (R+G), (R+B), (G+B)	( ) 表示 : HDLA 装着時 (変更不可)															
	CHARACTER LEVEL	1 ~ 5, <b>4</b>																
	PinP	<b>OFF</b> , RETURN, HD PROMPTER																
	POSITION	<b>1</b> , 2, 3, 4																
	SIZE	1/2.5, <b>1/3</b> , 1/4																
	MODE	PinP OFF 時 : --- PinP RETURN 時 : 1, 2, 3, 4 PinP HD PROMPTER 時 : 1, 2	 : Main 画、  : Return 画、  : HD Prompter 画															
				<b>PinP : OFF時</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Mode</th> <th>RET SW OFF</th> <th>RET SW ON</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>---</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Mode	RET SW OFF	RET SW ON	---										
	Mode	RET SW OFF	RET SW ON															
	---																	
				<b>PinP : RETURN時</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Mode</th> <th>RET SW OFF</th> <th>RET SW ON</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Mode	RET SW OFF	RET SW ON	1			2			3			4	
Mode	RET SW OFF	RET SW ON																
1																		
2																		
3																		
4																		
			<b>PinP : HD PROMPTER時</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Mode</th> <th>RET SW OFF</th> <th>RET SW ON</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Mode	RET SW OFF	RET SW ON	1			2								
Mode	RET SW OFF	RET SW ON																
1																		
2																		
			スタンドアロン時は動作しません。															
MIX VF		<b>OFF</b> , ON	リターン映像を半透明にして、カメラの映像とともに VF に表示する機能の ON/OFF															
	MODE	<b>MAIN&amp;RET</b> , MAIN, RET	<b>MAIN&amp;RET</b> : カメラ映像表示時にリターン映像を半透明にして表示する。リターン表示時はカメラ映像を半透明にして表示する。 <b>MAIN</b> : カメラ映像表示時にリターン映像を半透明にして表示する。リターン表示時は混合しない。 <b>RET</b> : リターン表示時にカメラ映像を半透明にして表示する。カメラ映像表示時は混合しない。															
	LEVEL	0 ~ 99, <b>10</b>	リターン映像とカメラ映像の混合比 (%)															
	HFR MODE (HD)	<b>ACCUMULATE</b> , SINGLE	HD の HFR フォーマット時に VF に以下のように画を出力します。 <b>ACCUMULATE</b> : 加算した画 <b>SINGLE</b> : 間引いた 1 枚画															

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<SWITCH ASSIGN1> 14 (U09) *1	GAIN	L: -6, -3, <b>0</b> , 3, 6, 9, 12 dB M: -6, -3, 0, 3, <b>6</b> , 9, 12 dB H: -6, -3, 0, 3, 6, 9, <b>12</b> dB	
*1 : 45 ページ参照	ASSIGNABLE	<b>OFF</b> , RETURN1 SW, RETURN2 SW, RETURN3 SW, ENG, PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	HDLA 装着時 : OFF, EXTENDER, 5600K, FAN MAX, D.EXTENDER, PinP, FLAG <b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>D.EXTENDER の ON/OFF 切り換え時に画面にノイズが発生しますが、故障ではありません。4K や 2 倍速以上のフォーマット時には D.EXTENDER は動作しません。</li> <li>TALLY R, TALLY G, TALLY Y は、スタンドアローン時のみ表示されます。</li> </ul>
	INSIDE RET1	OFF, <b>RETURN1 SW</b> , RETURN2 SW, RETURN3 SW, ENG, PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	RET 1 ボタンを押したときに実行される機能の割り当て
	INSIDE RET2	OFF, RETURN1 SW, <b>RETURN2 SW</b> , RETURN3 SW, ENG, PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	RET 2 ボタンを押したときに実行される機能の割り当て
	INSIDE CALL	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW, RETURN3 SW, ENG, PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, FLAG, AWB, <b>CALL</b> , ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	CALL ボタンを押したときに実行される機能の割り当て

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<SWITCH ASSIGN2> 15 (U10) *1	LENS VTR S/S	OFF, RETURN1 SW, <b>RETURN2 SW</b> , RETURN3 SW, ENG, PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	レンズの VTR START/STOP スイッチへの機能割り当て

\*1 : 45 ページ参照

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<SWITCH ASSIGN2> 15 (U10) *1	FRONT RET1	OFF, <b>RETURN1 SW</b> , RETURN2 SW, RETURN3 SW, ENG, PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	VTR S/S はスタンドアローン時のみ有効で、SDI 信号に REC 信号を重畳します。押すたびに REC ON/OFF が切り換わります。REC ON 中は赤タリーが点灯します。
	FRONT RET2	OFF, RETURN1 SW, <b>RETURN2 SW</b> , RETURN3 SW, ENG, PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	
	HANDLE SW1	OFF, <b>RETURN1 SW</b> , RETURN2 SW, RETURN3 SW, ENG, PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	
	HANDLE SW2	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW, RETURN3 SW, <b>ENG</b> , PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	
	ZOOM SPEED	0 ~ 99, <b>20</b>	

\*1 : 45 ページ参照

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<REAR FUNCTION ASSIGN> 16	A PUSH	OFF, <b>RETURN1 CAM SW.</b>	RET/ASSIGNABLE A、B、C ボタンを押したときに実行される機能の割り当て
	B PUSH	RETURN1 CAM SW TOGGLE,	
	C PUSH	<b>RETURN2 CAM SW.</b> RETURN2 CAM SW TOGGLE, <b>RETURN3 CAM SW.</b> RETURN3 CAM SW TOGGLE, VF DETAIL, MIX VF, FOCUS POSITION METER, FOCUS POSITION METER MKR1 REG, FOCUS POSITION METER MKR2 REG, FOCUS POSITION METER MKR3 REG, FOCUS ASSIST INDICATOR, DIGITAL EXTENDER, VF DYNAMIC CONTRAST, DYNAMIC FOCUS	
	A ROT	OFF, <b>RET CCU CH SEL.</b> VF	RET/ASSIGNABLE A、B、C ボタンを回したときに実行される機能の割り当て
	B ROT	DETAIL LEVEL, VF DETAIL CRISP,	
	C ROT	FOCUS ASSIST IND GAIN	
			初期設定値： A PUSH 選択時は RETURN1 CAM SW、B PUSH 選択時は RETURN2 CAM SW、C PUSH 選択時は RETURN3 CAM SW  A PUSH、B PUSH、C PUSH の設定により選択可能項目は以下に変わる PUSH 機能が OFF : OFF RETURN1 CAM SW, RETURN1 CAM SW TOGGLE, RETURN2 CAM SW, RETURN2 CAM SW TOGGLE, RETURN3 CAM SW, RETURN3 CAM SW TOGGLE, FOCUS POSITION METER, FOCUS POSITION METER MKR1 REG, FOCUS POSITION METER MKR2 REG, FOCUS POSITION METER MKR3 REG, DIGITAL EXTENDER 選択時 : RET CCU CH SEL VF DETAIL 選択時 : VF DETAIL LEVEL または VF DETAIL CRISP FOCUS ASSIST INDICATOR 選択時 : FOCUS ASSIST IND GAIN VF DYNAMIC CONTRAST 選択時 : DYNAMIC CONTRAST GAIN DYNAMIC FOCUS 選択時 : DYNAMIC FOCUS CRISP

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<EXT SWITCH> 17 <sup>*1</sup>	RET CTRL CONNECTOR		
	RET1 Pin5:	OFF, <b>RETURN1 SW</b> , RETURN2 SW, RETURN3 SW, ENG, PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, DYNAMIC FOCUS, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	RET CTRL コネクタの各ピンを GND(Pin3) と接触させると機能が動作します。 TALLY R, TALLY G, TALLY Y はスタンダローン時のみ有効で、タリーを点灯させます。VTR S/S はスタンダローン時のみ有効で、R タリーを点灯させます。 VTR S/S 信号は映像にエンベデッドされます。
	RET2 Pin6:	OFF, RETURN1 SW, <b>RETURN2 SW</b> , RETURN3 SW, ENG, PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, DYNAMIC FOCUS, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	
	RET3 Pin4:	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW, <b>RETURN3 SW</b> , ENG, PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, DYNAMIC FOCUS, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	

\*1 : 45 ページ参照



OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<EXT SWITCH> 17 *1	INCOM1 Pin1:	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW, RETURN3 SW, <b>ENG</b> , PROD, EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, DYNAMIC FOCUS, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	RET CTRL コネクタの各ピンを GND(Pin3) と接触させると機能が動作します。 TALLY R, TALLY G, TALLY Y はスタンドアローン時のみ有効で、タリーを点灯させます。VTR S/S はスタンドアローン時のみ有効で、R タリーを点灯させます。 VTR S/S 信号は映像にエンベデッドされます。
	INCOM2 Pin2:	OFF, RETURN1 SW, RETURN2 SW, RETURN3 SW, ENG, <b>PROD</b> , EXTENDER, D.EXTENDER, 5600K, VF DETAIL, MIX VF, SPIRIT LEVEL INDICATOR, FOCUS ASSIST INDICATOR, PinP, VF ASSIGN SW1, VF ASSIGN SW2, RET1 SW TOGGLE, RET2 SW TOGGLE, RET3 SW TOGGLE, VTR S/S, TALLY R, TALLY G, TALLY Y, FAN MAX, CURSOR ALL OFF, DYNAMIC FOCUS, FLAG, AWB, CALL, ZOOM(T), ZOOM(W), DYNAMIC CONTRAST, FOCUS POSITION METER	
<RETURN> 18	RET1 SW SEL	<b>CCU RET1, CCU RET2,</b>	各リターンスイッチが押された時に表示するリターン映像を設定する。 接続する CCU により選択可能な設定値が増える。 RET1 SW SEL のデフォルト値は CCU RET1、RET2 SW SEL のデフォルト値は CCU RET2、RET3 SW SEL のデフォルト値は CCU RET3
	RET2 SW SEL	<b>CCU RET3, CCU RET4,</b>	
RET3 SW SEL	CCU RET5, CCU RET6, CCU RET7, CCU RET8		
	RET1 SW + RET2 SW	<b>RET1 SW, RET3 SW</b>	RET1 ボタンと RET2 ボタンを同時に押したときの動作を切り換える。 <b>RET1 SW</b> : RET1 ボタンとして動作する <b>RET3 SW</b> : RET3 ボタンとして動作する
<HEADSET MIC> 19 (U11)	INTERCOM	<b>DYNAMIC, CARBON, MANUAL</b>	( ) 表示 : DYNAMIC/CARBON 時 (変更不可) DYNAMIC の場合は -60 dBu 固定、CARBON の場合は -20 dBu 固定
	LEVEL	-60 dBu, -50 dBu, -40 dBu, -30 dBu, -20 dBu, ( <b>-60 dBu</b> ), (-20 dBu) -6, <b>0</b> , 6 dB	
	POWER	ON, OFF, (ON), ( <b>OFF</b> )	
	UNBAL	<b>ON</b> , OFF, (ON), (OFF)	
	EARPHONE	ON, <b>OFF</b>	
	LEVEL	-34 dBu, <b>-40 dBu</b> , -46 dBu	入力ゲイン

OPERATION			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<INTERCOM> 20	RECEIVE SELECT	<b>SEPARATE</b> , MIX	ヘッドセットの音声を設定します。 <b>SEPARATE</b> : L/R を個別に設定 <b>MIX</b> : L/R を同じに設定
	ENG	---, <b>LEFT</b> , RIGHT, BOTH	
	PROD		
	PGM1	---, LEFT, <b>RIGHT</b> , BOTH	
	PGM2	---, LEFT, <b>RIGHT</b> , BOTH	
	PGM3	---, LEFT, RIGHT, BOTH	
	TRACKER	---, <b>LEFT</b> , RIGHT, BOTH	
	SIDE TONE	MUTE, 1 ~ 99, <b>50</b>	
	PGM3 VOLUME LINK	<b>PGM1</b> , PGM2, MENU	PGM の音量操作の決定方法を設定します。 <b>PGM1</b> : インターカム 1 の PGM1 調整つまみで決定 <b>PGM2</b> : インターカム 1 の PGM2 調整つまみで決定 <b>MENU</b> : メニュー上で決定
	(項目名なし)	0% ~ <b>50%</b> ~ 100%	PGM3 VOLUME LINK で MENU を選択したときのみ表示
<TRACKER> 21	RECEIVE SELECT	<b>SEPARATE</b> , MIX	ヘッドセットの音声を設定します。 <b>SEPARATE</b> : L/R を個別に設定 <b>MIX</b> : L/R を同じに設定
	[1-LR]		
	ENG	---, <b>LEFT</b> , RIGHT, BOTH	
	PROD	---, <b>LEFT</b> , RIGHT, BOTH	
	PGM1	---, LEFT, <b>RIGHT</b> , BOTH	
	PGM2	---, LEFT, <b>RIGHT</b> , BOTH	
	PGM3	---, LEFT, RIGHT, BOTH	
	[2]		
	ENG	ON, <b>OFF</b>	
	PROD	ON, <b>OFF</b>	
	PGM1	ON, <b>OFF</b>	
	PGM2	ON, <b>OFF</b>	
	PGM3	ON, <b>OFF</b>	
	OUTPUT LEVEL 1-L	<b>0 dBu</b> , -6 dBu, -12 dBu, -18 dBu,	
OUTPUT LEVEL 1-R	-20 dBu, -24 dBu		
OUTPUT LEVEL 2			
<EARPHONE> 22	RECEIVE SELECT	<b>SEPARATE</b> , MIX	ヘッドセットの音声を設定します。 <b>SEPARATE</b> : L/R を個別に設定 <b>MIX</b> : L/R を同じに設定
	ENG	---, <b>LEFT</b> , RIGHT, BOTH	
	PROD		
	PGM1	---, LEFT, <b>RIGHT</b> , BOTH	
	PGM2	---, LEFT, <b>RIGHT</b> , BOTH	
	PGM3	---, LEFT, RIGHT, BOTH	
	TRACKER	---, <b>LEFT</b> , RIGHT, BOTH	
	SIDE TONE	MUTE, 1 ~ 99, <b>50</b>	
<OPERATOR FILE> 23	IMPORT FROM USB	ENTER で実行	オペレーターファイルを USB メモリーから読み込む。
	EXPORT TO USB	ENTER で実行	現在のオペレーターファイル項目の設定を USB メモリーに書き込む。
	PRESET	ENTER で実行	本体のメモリーに保存されているオペレーターファイルのデータを呼び出す。

\*1 以下の点にご注意ください。

- D.EXTENDER の ON/OFF 切り換え時に画面にノイズが発生しますが、故障ではありません。4K や 2 倍以上のフォーマット時には D.EXTENDER は動作しません。
- TALLY R、TALLY G、TALLY Y は、スタンドアロン時のみ動作します。

- VTR S/Sはスタンダアローン時のみ有効で、SDI信号にREC信号を重畳します。押すたびにREC ON/OFFが切り換わります。REC ON中は赤タリが点灯します。
- 動作しない項目は、末尾に:N/Aが表示されます。

# PAINT メニュー

PAINT				
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考	
<SW STATUS> P01	FLARE	<b>ON</b> , OFF		
	GAMMA	<b>ON</b> , OFF		
	BLK GAM	ON, <b>OFF</b>		
	KNEE	<b>ON</b> , OFF		
	WHT CLIP	<b>ON</b> , OFF		
	DETAIL	<b>ON</b> , OFF		
	LVL DEP	<b>ON</b> , OFF		
	SKIN DTL	ON, <b>OFF</b>		
MATRIX	ON, <b>OFF</b>			
<VIDEO LEVEL> P02	WHITE	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>	R, G, B, M (マスター) を個別に設定可能 (WHITE は M は設定不可)	
	BLACK	R/G/B/M: -99 ~ +99, <b>0.0</b>		
	FLARE	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>		
	GAMMA	M: -99.9 ~ +99.9, <b>0</b>		
	V MOD			
	FLARE	<b>ON</b> , OFF		
	V MOD	<b>ON</b> , OFF		
	TEST	<b>OFF</b> , SAW, 10STEP		
<COLOR TEMP> P03	WHITE	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>		
	AUTO WHITE BALANCE	ENTER で実行		
	COLOR TEMP	0 K ~ 65535 K, <b>3200 K</b>		
	BALANCE	-99 ~ +99, <b>0</b>		
	ATW	ON, <b>OFF</b>		
	SPEED	1, <b>2</b> , 3, 4, 5		
	MASTER WHITE GAIN	-6 dB ~ +12 dB, <b>0.0 dB</b>	連続的に変化させることのできるゲイン	
	MASTER GAIN	-6, -3, <b>0</b> , 3, 6, 9, 12 dB	ステップ状に変化させることのできるゲイン	
<GAMMA> P04	LEVEL	R/G/B/M: -99 ~ +99, <b>0</b>	R, G, B, M (マスター) を個別に設定可能	
	COARSE	0.35 ~ 0.90 (0.05 ステップ) , <b>0.45</b>		
	TABLE	<b>STANDARD</b> , HYPER, USER 1, 2, 3, 4, <b>5</b> , 6, 7	STANDARD、または USER 選択時 (USER 選択時は、 1 ~ 5 のみ) <b>1</b> : カムコーダー相当 <b>2</b> : x4.5 ゲイン <b>3</b> : x3.5 ゲイン <b>4</b> : SMPTE-240M 相当 <b>5</b> : ITU-R709 相当 <b>6</b> : x5.0 ゲイン <b>7</b> : x5.0-709	
		1, 2, 3, <b>4</b>	HYPER 選択時 <b>1</b> : 325% to 100% <b>2</b> : 460% to 100% <b>3</b> : 325% to 109% <b>4</b> : 460% to 109%	
	GAMMA	<b>ON</b> , OFF		
	TEST	<b>OFF</b> , SAW, 10STEP		
	<BLACK GAMMA> P05	LEVEL	R/G/B/M: -99 ~ +99, <b>0</b>	R, G, B, M (マスター) を個別に設定可能
		RANGE	LOW, L.MID, H.MID, <b>HIGH</b> ON, <b>OFF</b>	
TEST		<b>OFF</b> , SAW, 10STEP		

PAINT			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<SATURATION> P06	SATURATION	-99 ~ +99, <b>0</b> ON, <b>OFF</b>	
	LOW KEY SAT	-99 ~ +99, <b>0</b>	
	RANGE	LOW, L.MID, H.MID, <b>HIGH</b> ON, <b>OFF</b>	
	TEST	<b>OFF</b> , SAW, 10STEP	
<KNEE> P07	K POINT	R/G/B/M: -99 ~ +99, <b>0</b>	R, G, B, M (マスター) を個別に設定可能
	K SLOPE	R/G/B/M: -99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は [M] 以外は絶対値表示
	KNEE	<b>ON</b> , OFF	
	KNEE MAX	ON, <b>OFF</b>	
	KNEE SAT	-99 ~ +99, <b>0</b> ON, <b>OFF</b>	
	AUTO KNEE	<b>OFF</b> , AUTO, (OFF)	<b>(OFF)</b> : 4K/HDR フォーマット時に表示
	POINT LIMIT	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	SLOPE	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	ABS		反転表示: ABS (絶対値) モード
<WHITE CLIP> P08	W CLIP	-99 ~ +99, <b>0</b> <b>ON</b> , OFF	
	ABS		反転表示: ABS (絶対値) モード
<DETAIL 1> P09	DETAIL	<b>ON</b> , OFF	
	LEVEL	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	HFR RATIO	0 ~ 199%, <b>100%</b>	HFR フォーマット時の調整値
	LIMITER [M]	-99 ~ +99, <b>0</b>	
	LIMITER [WHT]	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	LIMITER [BLK]	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	CRISP	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	HFR RATIO	0 ~ 199%, <b>100%</b>	HFR フォーマット時の調整値
	LEVEL DEPEND	-99 ~ +99, <b>0</b> <b>ON</b> , OFF	ABS 時は絶対値表示
	ABS		反転表示: ABS (絶対値) モード
<DETAIL 2> P10	H/V RATIO	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	FREQ	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	MIX RATIO	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	KNEE APT	-99 ~ +99, <b>0</b> ON, <b>OFF</b>	ABS 時は絶対値表示
	DTL H/V MODE	<b>H/V</b> , V Only	
	INDEPENDENT	ON, <b>OFF</b>	
	ABS		反転表示: ABS (絶対値) モード
<HD DETAIL> P11	LEVEL	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	LIMITER [M]	-99 ~ +99, <b>0</b>	
	LIMITER [WHT]	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	LIMITER [BLK]	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	CRISP	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	LEVEL DEPEND	-99 ~ +99, <b>0</b> <b>ON</b> , OFF	ABS 時は絶対値表示
	H/V RATIO	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	FREQ	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	MIX RATIO	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示
	KNEE APT	-99 ~ +99, <b>0</b> ON, <b>OFF</b>	ABS 時は絶対値表示
	ABS		反転表示: ABS (絶対値) モード

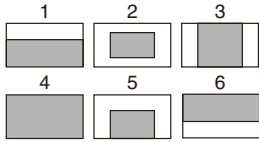
PAINT				
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考	
<4K DETAIL> P12	LEVEL	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示	
	LIMITER [M]	-99 ~ +99, <b>0</b>		
	LIMITER [WHT]	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示	
	LIMITER [BLK]	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示	
	CRISP	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示	
	LEVEL DEPEND	-99 ~ +99, <b>0</b> <b>ON, OFF</b>	ABS 時は絶対値表示	
	H/V RATIO	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示	
	FREQ	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示	
	MIX RATIO	-99 ~ +99, <b>0</b>	ABS 時は絶対値表示	
	KNEE APT	-99 ~ +99, <b>0</b> <b>ON, OFF</b>	ABS 時は絶対値表示	
	ABS		反転表示：ABS（絶対値）モード	
	<SKIN DETAIL> P13	SKIN DTL	<b>ON, OFF</b>	
		SKIN GATE	<b>OFF</b> , 1, 2, 3, (MAT)	<b>1, 2, 3</b> ：いずれか 1 チャンネルのみスキングート機能をオンにできる。 <b>(MAT)</b> ：<MULTI MATRIX> の GATE が ON のとき表示
		NATURAL SKINDTL	<b>OFF</b> , ON	
ZOOM LINK		<b>OFF</b> , ON		
TELE		0 ~ <b>99</b>		
WIDE		<b>0</b> ~ 99		
CH SW		1: (ON), 2/3: ON, <b>OFF</b>	スキントーンディテール機能をチャンネルごとに設定 (チャンネル 1 は常に ON)	
HUE		1/2/3: ENTER で実行		
PHASE		1/2/3: <b>0</b> ~ 359	ABS 時は LEVEL のみ絶対値表示	
WIDTH		1/2/3: 0 ~ 90, <b>29</b>		
SAT		1/2/3: -99 ~ +99, <b>-89</b>		
LEVEL		1/2/3: -99 ~ +99, <b>0</b>		
Y LIMIT		1/2/3: <b>0</b> ~ 99		
ABS			反転表示：ABS（絶対値）モード	
<USER MATRIX> P14	R-G	-99 ~ +99, <b>0</b>		
	R-B	-99 ~ +99, <b>0</b>		
	G-R	-99 ~ +99, <b>0</b>		
	G-B	-99 ~ +99, <b>0</b>		
	B-R	-99 ~ +99, <b>0</b>		
	B-G	-99 ~ +99, <b>0</b>		
	MATRIX	<b>ON, OFF</b>		
	PRESET	<b>---</b> , ON, OFF <b>---</b> , SMPTE-240M, ITU-709, SMPTE-WIDE, NTSC, EBU, ITU-601, CUSTOM1, CUSTOM2, CUSTOM3, CUSTOM4, CUSTOM5		
	USER	<b>---</b> , ON, OFF		
	MULTI	<b>---</b> , ON, OFF		
	ADAPTIVE MATRIX	<b>OFF</b> , ON		
	LEVEL	0 ~ 7, <b>0</b>		

PAINT			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<MULTI MATRIX> P15	PHASE	<b>0</b> , 23, 45, 68, 90, 113, 135, 158, 180, 203, 225, 248, 270, 293, 315, 338	PHASE でマルチマトリックス補正機能を調整する軸（角度）を選択し HUE, SAT を設定する。（16 軸それぞれに個別に HUE, SAT を設定可能）
	HUE	-99 ~ +99, <b>0</b>	
	SAT	-99 ~ +99, <b>0</b>	
	ALL CLEAR	ENTER で実行	
	GATE	ON, <b>OFF</b> (SKIN)	<b>(SKIN)</b> : <SKIN DETAIL> の SKIN GATE が ON のとき表示
	MATRIX	ON, <b>OFF</b>	
	PRESET	---, ON, OFF ---, SMPTE-240M, ITU-709, SMPTE-WIDE, NTSC, EBU, ITU-601, CUSTOM1, CUSTOM2, CUSTOM3, CUSTOM4, CUSTOM5	
	USER	---, ON, OFF	
	MULTI	---, ON, OFF	
	<SHUTTER> P16	SHUTTER	ON, <b>OFF</b> (ON), (OFF)
ECS FREQ		撮像周波数が 60.00 Hz または 59.94 Hz のとき : <b>1/100</b> , 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000 撮像周波数が 50 Hz のとき : 1/60, <b>1/125</b> , 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000 撮像周波数が 30.00 Hz または 29.97 Hz のとき : 1/40, 1/60, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000 撮像周波数が 25 Hz のとき : 1/33, 1/50, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000 撮像周波数が 24 Hz または 23.98 Hz のとき : 1/32, 1/48, 1/96, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000	ステップシャッターの選択
<NOISE SUPPRESSION> P17	SUPPRESSION	<b>0</b> ~ 100% ON, <b>OFF</b>	



PAINT				
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考	
<HDR OPERATION> P18	HDR MODE	<b>OFF</b> , LIVE HDR	CCU の設定が表示されます。	
	SDR GAIN	0.0 ~ -15.0 dB, <b>-6.0 dB</b>	LIVE HDR 時のみ有効 SDR 出力にかかるゲインの設定	
	HDR CONTRAST	100 ~ 566%, <b>200%</b>	LIVE HDR 時のみ有効 (表示のみ) SDR で 100% に相当する明るさが HDR では何%になるかを設定する。 SDR GAIN によって変化する。	
	HDR TARGET WHITE	99 ~ 765nit, <b>228nit</b>	LIVE HDR 時のみ有効 (表示のみ) SDR で 100% に相当する明るさが HDR では何 nit になるかを設定する。 SDR GAIN と HDR LOOK によって変化する。	
	HDR BLACK OFFSET	-10.0 ~ 30.0, <b>0.0</b>	LIVE HDR 時のみ有効 HDR 出力のブラックオフセット	
	HDR KNEE	<b>OFF</b> , ON	LIVE HDR 時のみ有効	
	POINT	-99 ~ 99, <b>0</b>	HDR 側にかかる KNEE の設定	
	SLOPE	-99 ~ 99, <b>0</b>		
	HDR WHITE CLIP	<b>OFF</b> , ON	LIVE HDR 時のみ有効	
	LEVEL	-99 ~ 99, <b>0</b>		
	HDR BLACK CLIP	<b>OFF</b> , ON	LIVE HDR 時のみ有効 HDR 出力に対して 0%以下をクリップするかどうかを設定する。 <OUTPUT FORMAT> → FREQUENCY → OETF が S-Log3 に設定されているときは OFF に固定	
	HDR BLACK COMPRESSION	<b>OFF</b> , ON	LIVE HDR 時のみ有効 HDR 出力に対して低輝度領域を沈ませるかどうかを設定する。	
	<HDR USER GAMMA> P19	HDR USER GAMMA	<b>OFF</b> , ON	HDR User Gamma 機能 (HDR 出力に対して自分の作成したカーブを適用できる機能) の ON/OFF を設定する
		TABLE	<b>1</b> ~ 5	HDR 出力に対して適用するカーブの番号を選択する
NAME			選択したカーブの名称が表示される	
OETF			選択したカーブが対応する OETF が表示される 設定されている OETF と一致しないと、意図した画にならない	
D-RANGE			選択したカーブが対応するダイナミックレンジが表示される	
<SCENE FILE> P20	1		シーンファイル (ペイントデータ) の保存と呼び出し : カメラのメモリーにシーンファイルを保存するときは、STORE の後にファイル番号を指定。 読み出すときは、ファイル番号指定のみ。	
	2			
	3			
	4			
	5			
	STORE	ENTER で実行		
	01	<b>01</b> ~ 32		
	STANDARD	ENTER で実行	標準のペイントデータを呼び出す。	
	IMPORT FROM USB	ENTER で実行	32 個のシーンファイルを USB メモリーから本体のメモリーに読み込む。	
	EXPORT TO USB	ENTER で実行	32 個のシーンファイルを本体のメモリーから USB メモリーに書き出す。	
	FILE ID	最大 14 文字	USB メモリーに保存するシーンファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(24 ページ) 参照	
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ	
DATE	日付	表示のみ		
DISSOLVE	<b>OFF</b> , ON	シーンファイルの切り換えをシームレスにする機能		
SPEED	0.2 ~ 2.8 (0.2 ステップ) , 3 ~ 10 (1 ステップ) , <b>0.2</b>			

# MAINTENANCE メニュー

MAINTENANCE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<AUTO SETUP> M01	AUTO BLACK	ENTER で実行	
	AUTO WHITE	ENTER で実行	
	AUTO LEVEL	ENTER で実行	
	TEST	<b>OFF</b> , SAW, 10STEP	
<WHITE SHADING> M02	V SAW	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>	R, G, B を個別に設定可能
	V PARA	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>	
	H SAW	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>	
	H PARA	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>	
	WHITE	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>	
<BLACK SHADING> M03	V SAW	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>	R, G, B を個別に設定可能
	V PARA	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>	BLACK のみ M (マスター) 設定も可能
	H SAW	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>	
	H PARA	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>	
	BLK SET	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b>	
	BLACK	R/G/B: -99 ~ +99, <b>0</b> M: -99.9 ~ +99.9, <b>0.0</b>	
	MASTER GAIN	-6, -3, <b>0</b> , 3, 6, 9, 12 dB	ステップ状に変化させることのできるゲイン
<OHB MATRIX> M04	OHB MATRIX	<b>ON</b> , OFF	
	MATRIX	ON, <b>OFF</b>	
<AUTO IRIS> M05	AUTO IRIS	ON, <b>OFF</b> , (ON), (OFF)	( ) 表示: リモートコントロールユニット/パネル、CCU 非接続時 (変更不可)
	WINDOW	<b>1</b> , 2, 3, 4, 5, 6	オートアイリス検出ウィンドウを選択  それぞれの図の網かけ部で光を検出する。
	OVERRIDE	-99 ~ 99, <b>0</b> , ---	オートアイリスレベルの明るさの基準を一時的に ±2 絞りの範囲で変更。 -99: 2 絞り閉じ気味 99: 2 絞り開け気味 ---: OFF 時 電源を切ると設定値は --- に戻る。
	IRIS LEVEL	-99 ~ +99, <b>0</b>	±4 絞り
	APL RATIO	-99 ~ +99, <b>65</b>	
	IRIS GAIN	-99 ~ +99, <b>0</b>	
	IRIS CLOSE	ON, <b>OFF</b>	

MAINTENANCE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<LENS1> M06	F NO. DISP	<b>CONTROL</b> , RETURN	AUTO IRIS OFF のときのパネルの IRIS 表示の切り換え <b>CONTROL</b> : カメラからの値を表示 <b>RETURN</b> : レンズからの戻り値を表示 (AUTO IRIS ON のときは、常にレンズからの戻り値を表示)
	AF DISPLAY	ON, <b>OFF</b>	
	ALAC	<b>AUTO</b> , OFF	AUTO 時は右側に状態が表示される。 (ACTIVE) : 補正中 (WAIT) : レンズの初期化完了待ち (STOP) : 非対応レンズのため補正 OFF
	F DROP COMP	<b>OFF</b> , ON, (OFF)	F ドロップ補正の ON/OFF 補正中は右側に補正ゲインが表示される (OFF) : シリアルレンズが装着されていないとき
	MAX GAIN	<b>0.0</b> ~ 24.0 dB	補正の最大値
	DROP POINT	0 ~ 99, <b>50</b>	補正開始点
	ROUNDNESS	<b>0.0</b> ~ 12.0 dB	補正曲線の丸み
	STORE LENS FILE	ENTER で実行	レンズファイルに保存する
	ARIA	AUTO, <b>OFF</b>	AUTO 時は右側に状態が表示される。 (ACTIVE) : 補正中 (WAIT) : レンズの初期化完了待ち (STOP) : 非対応レンズのため補正 OFF
	GAIN LIMIT	0 ~ 12 dB, <b>OFF</b>	F ドロップを補正するゲインの上限を設定する (OFF は上限なし)
	<LENS2> M07	REMOTE CONTROL	<b>OFF</b> , ON, (OFF)
CONTROL MODE		<b>ZOOM&amp;FOCUS</b> , FOCUS, FOLLOW FOCUS	<b>ZOOM &amp; FOCUS</b> : ZOOM と FOCUS を MSU/RCP でコントロールする (レンズデマンドでのコントロールは無効) <b>FOCUS</b> : FOCUS は MSU/RCP からコントロールし、ZOOM はレンズデマンドでコントロールする <b>FOLLOW FOCUS</b> : FOCUS はレンズデマンドでコントロールするが、MSU/RCP で微調整 (オフセット) が可能。ZOOM はレンズデマンドでコントロールする
<b>で注意</b>			
オフセットが 0 以外かつ REMOTE CONTROL が OFF のときは、FOLLOW FOCUS から他の設定には変更できません。設定を変更したい場合は REMOTE CONTROL を ON にしてください。			
FOLLOW FOCUS			
OFFSET ADJUST SENS		1, 2, <b>3</b> , 4, 5	MSU 側のオフセットを重畳する感度
OFFSET CANCEL GAIN		1, 2, <b>3</b> , 4, 5	デマンド側でオフセットをキャンセルする感度
VIRTUAL IRIS		ON, <b>OFF</b>	以下の機能の ON/OFF • F No. UPPER LIMIT で設定した F 値以上にレンズを開けようとしたとき、アイリスを固定して代わりにデジタルゲインをかけることで画を明るくする。
F No. UPPER LIMIT		F2.0 ~ <b>F4.0</b> ~ F5.6	どこまでレンズを開放するかの値 (F 値)
EXTENDER COMP.		ON, <b>OFF</b>	• レンズのエクステンダーを ON したときに、レンズが自動でアイリスの F 値を 1/2 にして、レンズのエクステンダーを ON にする前と明るさが変わらないように設定できるレンズを装着している場合は、ON に設定する。これにより、レンズのエクステンダーを ON にしても、F No. UPPER LIMIT で設定した F 値がレンズのアイリスに反映される。 • 上記の設定が行えないレンズを装着している場合は、OFF に設定する。

MAINTENANCE				
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考	
<MIC GAIN> M08	MIC1	20, 30, 40, 50, <b>60</b> dB	スタンドアロン時のみ変更可能	
	MIC2	20, 30, 40, 50, <b>60</b> dB		
<CAMERA NUMBER> M09	CAMERA NUMBER	---, 1 ~ 96	カメラナンバーを設定	
			<b>ご注意</b> システム連動時 (MSU で SYSCAM 番号を送信する設定にしたとき) や CCU 連動時は、設定値が反映表示になり、変更できません。	
	CCU LINK	<b>OFF</b> , ON	CCU No との連動のオン/オフを設定 オンにすると、CCU でカメラナンバーが設定できます。	
	LOCAL	<b>OFF</b> , ON	システムに連動しない番号を設定	
<CALL/TALLY> M10	CCU CALL	OFF, <b>ON</b>	CALL で TALLY を点灯させるかどうかを選択	
	CAM CALL	<b>OFF</b> , ON		
	TALLY GUARD		TALLY 点灯中に変更させないようにするかどうかを選択	
	EXTENDER	<b>OFF</b> , ON		
	FILTER DISC	<b>OFF</b> , ON		
<OUTPUT FORMAT> M11 (U12)	CURRENT	表示のみ	現在のフォーマットを表示	
	RESOLUTION	3840×2160, <b>1920×1080</b>	CCU 接続時は非表示	
	FREQUENCY	60.00P, <b>59.94P</b> , 50P, 30P, 29.97P, 25P, 24P, 23.98P, 59.94i(444), 50i(444), 29.97PsF(444), 25PsF(444), 24PsF(444), 23.98PsF(444)	システムフォーマットの設定 (カメラオペレーティングソフトウェアのオプションにより、選択可能なシステムフォーマットが異なります。)	
	OETF	<b>SDR</b> , S-Log3, HLG	CCU 接続時は非表示 カメラの OETF を設定	
	LOOK	-----, Live, Mild, Natural	CCU 接続時は非表示 HDR 出力の Look を設定 OETF が SDR または S-Log3(Cinema) の場合は ----- となる。	
	COLOR	<b>BT.709</b> , BT.2020	CCU 接続時は非表示 カメラの色域設定 OETF が SDR のときは、BT.709 に固定 OETF が S-Log3 または HLG のときは、BT.709 または BT.2020 から選択可能	
	BIT DEPTH	<b>10bit</b> , 12bit	CCU 接続時は非表示 RGB444 のときだけ選択可能	
	60.00Hz	<b>DISABLE</b> , ENABLE	CCU 接続時は非表示 60.00 Hz で撮像するフォーマットを有効にするかどうかを設定	
	<TEST OUT> M12 (U13)	OUTPUT	表示のみ	現在のフォーマットを表示
		VBS-OUT		OUTPUT が VBS のとき表示
CHARACTER		ON, <b>OFF</b>		
GAIN		-99 ~ +99, <b>0</b>		
CHROMA		-99 ~ +99, <b>0</b>		
SETUP		<b>OFF</b> , ON		
DOWN CONVERTER			OUTPUT が VBS のとき表示	
SELECT		<b>MAIN</b> , RET, VF		
ASPECT		<b>SQ</b> , EC	OUTPUT が VBS (NTSC) のとき表示	
SYNC-OUT			OUTPUT が SD-SYNC、HD-SYNC のとき表示	
	V-PHASE	-999 ~ +999, <b>0</b>		
	H-PHASE	-999 ~ +999, <b>0</b>		

MAINTENANCE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<SDI OUT> M13 (U14)	SDI-1	◆「Master Frequency が 1.001 のときの SDI 出力フォーマット」 (56 ページ) 参照	出力フォーマットを設定
	SDI-MONI OUT	MAIN, <b>VF</b> , RET, SD-SDI, OFF	
	CHARACTER	ON, <b>OFF</b>	SDI-MONI OUT が VF 以外のとき表示
	EMB AUDIO	<b>OFF</b> , MIC, PGM	
	DOWN CONVERTER		SDI-MONI OUT が SD-SDI のとき表示
	SELECT	<b>MAIN</b> , RET, VF	
	ASPECT	<b>SQ</b> , EC	
<META DATA > M14	LENS META DATA	ON, OFF	LENS 情報を SDI OUT に重畳するかどうかを選択
<TRUNK> M15	TRUNK	<b>ON</b> , OFF	
	INTERFACE	<b>232c</b> , 422A	
	AUX REMOTE		表示のみ
<GENLOCK> M16	REFERENCE	同期の状態	表示のみ
	GENLOCK	<b>ENABLE</b> , DISABLE	CCU 接続時は非表示
	STATUS		
	FORMAT		
	PHASE		
	V	-1024 ~ 1023, <b>0</b>	
H	-1700 ~ 1700, <b>0</b>		
<DATE> M17	DATE/TIME	2000 ~ 2035/01 ~ 12/00 ~ 31 00 ~ 23 : 00 ~ 59	
	DATE FORMAT	1 Y/Mn/D, 2 Mn/D, 3 D/M/Y 4 D/M, <b>5 M/D/Y</b> , 6 M/D	<b>Y</b> : 年 <b>Mn</b> : 月 (数字) <b>M</b> : 月 (英略語) <b>D</b> : 日
<BATTERY ALARM> M18	BEFORE END	<b>11.5</b> ~ 17.0 V	
	END	<b>11.0</b> ~ 11.5 V	
<SIMPLE PROTOCOL> M19 スタンドアロン使用 時のみ表示	TRANSPORT CONVERTER MODE	<b>DISABLE</b> , ENABLE	無線伝送などの遅延量の大きな伝送路を使用したカメラ制御を可能にする、トランスポート変換モードを有効にする。
	PORT	<b>REMOTE(RS-422A)</b>	トランスポート変換モードを有効にするポートの設定
	BAUDRATE	9.6kbps ~ 843.75kbps, <b>115.2kbps</b>	通信速度
<OTHERS> M20	FAN MODE	OFF, <b>AUTO1</b> , AUTO2, MIN, MAX	<b>AUTO1</b> : 通常回転 <b>AUTO2</b> : スロー回転
	CAM BARS	ON, <b>OFF</b> , (OFF)	<b>(OFF)</b> : 4K/HDR フォーマット時に表示
	WHITE SETUP MODE	AWB, <b>A.LVL</b>	
	STANDALONE PAINT SWITCH	<b>OFF</b> , ON	ON にすると、CCU やコントロールパネルが未接続でも WHITE BAL などの本体スイッチを動作させない。
<OPTION KEY> M21	IMPORT FROM USB	ENTER で実行	インストールキーを USB メモリーから読み込む。
	EFFECTIVE FUNCTION		インストールされたオプション機能のみ表示

## Master Frequency が 1.001 のときの SDI 出力フォーマット

<標準フォーマット時>

SYSTEM FORMAT		HDR/SDR	OUTPUT FORMAT	
			SDI-1	
RESOLUTION	FREQUENCY	OETF	設定値	出力フォーマット
1920x1080	59.94i	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/1.5G/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/59.94i – –
1280x720	59.94P	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/1.5G/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1280x720/59.94P – –

<HZC-PSF50/PSF50M/PSF50Wインストール時>

SYSTEM FORMAT		HDR/SDR	OUTPUT FORMAT	
			SDI-1	
RESOLUTION	FREQUENCY	OETF	設定値	出力フォーマット
1920x1080	29.97PsF	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/1.5G/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/29.97PsF – –
	23.98PsF	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/1.5G/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/23.98PsF – –
	29.97P(4K/HDR) <sup>*1</sup>	(CCUで設定)	<b>OFF</b> HD/1.5G/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/29.97PsF – –
	23.98P(4K/HDR) <sup>*1</sup>	(CCUで設定)	<b>OFF</b> HD/1.5G/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/23.98PsF – –
	29.97PsF(444) (HZC-UG50が必要)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/29.97PsF(444) – –
	23.98PsF(444) (HZC-UG50が必要)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/23.98PsF(444) – –

\*1 CCU 接続時のみ選択可

<HZC-UG50/UG50M/UG50Wインストール時>

SYSTEM FORMAT		HDR/SDR	OUTPUT FORMAT	
			SDI-1	
RESOLUTION	FREQUENCY	OETF	設定値	出力フォーマット
1920x1080	59.94i(444)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	- 1920x1080/59.94i(444) - -
	29.97PsF(444) (HZC-PSF50が必要)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	- 1920x1080/29.97PsF(444) - -
	23.98PsF(444) (HZC-PSF50が必要)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	- 1920x1080/23.98PsF(444) - -

<HZC-PRV50/PRV50M/PRV50Wインストール時>

SYSTEM FORMAT		HDR/SDR	OUTPUT FORMAT	
			SDI-1	
RESOLUTION	FREQUENCY	OETF	設定値	出力フォーマット
1920x1080	59.94P	S-Log3またはHLG <sup>*1</sup>	<b>OFF</b> HD/3G-A/HDR HD/3G-B/HDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	- 1920x1080/59.94P 1920x1080/59.94P - -
		SDR	<b>OFF</b> HD/3G-A/SDR HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	- 1920x1080/59.94P 1920x1080/59.94P - -
	59.94P(4K/HDR) <sup>*2</sup>	(CCUで設定)	<b>OFF</b> HD/3G-A/SDR HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	- 1920x1080/59.94P 1920x1080/59.94P - -

\*1 スタンドアローン使用時のみ選択可能

\*2 CCU 接続時のみ選択可能

<HZC-DFR50/DFR50M/DFR50Wインストール時>

SYSTEM FORMAT		HDR/SDR	OUTPUT FORMAT	
			SDI-1	
RESOLUTION	FREQUENCY	OETF	設定値	出力フォーマット
1920x1080	59.94i(2x)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR/HFR(i) HD PROMPTER	- 1920x1080/59.94i/Link A-B -
1280x720	59.94P(2x)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR/HFR HD PROMPTER	- 1280x720/59.94P/Link A-B -

**ご注意**

HZC-DFR50/DFR50M/DFR50Wを有効にするためには、ソフトウェアライセンスに加えてFilter Disk Unitの交換が必要です。



## Master Frequency が 1.000 のときの SDI 出力フォーマット

<標準フォーマット時>

SYSTEM FORMAT		HDR/SDR	OUTPUT FORMAT	
			SDI-1	
RESOLUTION	FREQUENCY	OETF	設定値	出力フォーマット
1920x1080	50i	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/1.5G/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/50i – –
1280x720	50P	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/1.5G/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1280x720/50P – –

<HZC-PSF50/PSF50M/PSF50Wインストール時>

SYSTEM FORMAT		HDR/SDR	OUTPUT FORMAT	
			SDI-1	
RESOLUTION	FREQUENCY	OETF	設定値	出力フォーマット
1920x1080	25PsF	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/1.5G/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/25PsF – –
	24PsF	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/1.5G/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/24PsF – –
	25P(4K/HDR) <sup>*1</sup>	(CCUで設定)	<b>OFF</b> HD/1.5G/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/25PsF – –
	24P(4K/HDR) <sup>*1</sup>	(CCUで設定)	<b>OFF</b> HD/1.5G/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/24PsF – –
	25PsF(444) (HZC-UG50が必要)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/25PsF(444) – –
	24PsF(444) (HZC-UG50が必要)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	– 1920x1080/24PsF(444) – –

\*1 CCU 接続時のみ選択可

<HZC-UG50/UG50M/UG50Wインストール時>

SYSTEM FORMAT		HDR/SDR	OUTPUT FORMAT	
			SDI-1	
RESOLUTION	FREQUENCY	OETF	設定値	出力フォーマット
1920x1080	50i(444)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	- 1920x1080/50i(444) - -
	25PsF(444) (HZC-PSF50が必要)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	- 1920x1080/25PsF(444) - -
	24PsF(444) (HZC-PSF50が必要)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	- 1920x1080/24PsF(444) - -

<HZC-PRV50/PRV50M/PRV50Wインストール時>

SYSTEM FORMAT		HDR/SDR	OUTPUT FORMAT	
			SDI-1	
RESOLUTION	FREQUENCY	OETF	設定値	出力フォーマット
1920x1080	50P	S-Log3またはHLG <sup>*1</sup>	<b>OFF</b> HD/3G-A/HDR HD/3G-B/HDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	- 1920x1080/50P 1920x1080/50P - -
		SDR	<b>OFF</b> HD/3G-A/SDR HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	- 1920x1080/50P 1920x1080/50P - -
	50P(4K/HDR) <sup>*2</sup>	(CCUで設定)	<b>OFF</b> HD/3G-A/SDR HD/3G-B/SDR HD TRUNK IN HD PROMPTER	- 1920x1080/50P 1920x1080/50P - -

\*1 スタンドアローン使用時のみ選択可能

\*2 CCU 接続時のみ選択可能

<HZC-DFR50/DFR50M/DFR50Wインストール時>

SYSTEM FORMAT		HDR/SDR	OUTPUT FORMAT	
			SDI-1	
RESOLUTION	FREQUENCY	OETF	設定値	出力フォーマット
1920x1080	50i(2x)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR/HFR(i) HD PROMPTER	- 1920x1080/50i/Link A-B -
1280x720	50P(2x)	SDR (固定)	<b>OFF</b> HD/3G-B/SDR/HFR HD PROMPTER	- 1280x720/50P/Link A-B -

**ご注意**

HZC-DFR50/DFR50M/DFR50Wを有効にするためには、ソフトウェアライセンスに加えてFilter Disk Unitの交換が必要です。

## FILE メニュー

本機では、操作や調整を容易にするため、オペレーターファイル、シーンファイル、リファレンスファイル、レンズファイル、OHBFファイル、マトリクスファイル、およびBOXファイルの7種類のファイルを使用できます。

オペレーターファイルには、OPERATIONメニューで設定できる項目とカスタマイズしたUSERメニューを保存できます。

◆ それぞれのファイルに含まれる具体的項目については、メンテナンスマニュアルをご覧ください。

FILE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<OPERATOR FILE> F01	IMPORT FROM USB	ENTER で実行	オペレーターファイルを USB メモリーから読み込む。
	EXPORT TO USB	ENTER で実行	現在のオペレーターファイル項目の設定を USB メモリーに書き込む。
	PRESET	ENTER で実行	本体のメモリーに保存されているオペレーターファイルのデータを読み出す。
	STORE PRESET FILE	ENTER で実行	現在のオペレーターファイル項目の設定を、本体のメモリーのオペレーターファイルに書き込む。
	CLEAR PRESET FILE	ENTER で実行	本体のメモリーに保存されているオペレーターファイルのデータを出荷時の初期設定に戻す。
<SCENE FILE> F02	1		シーンファイル（ペイントデータ）の保存と読み出し：カメラのメモリーにシーンファイルを保存するときは、STORE の後にファイル番号を指定。読み出すときは、ファイル番号指定のみ。
	2		
	3		
	4		
	5		
	STORE	ENTER で実行	
	01	<b>01</b> ~ 32	
	STANDARD	ENTER で実行	標準のペイントデータを読み出す。
	IMPORT FROM USB	ENTER で実行	32 個のシーンファイルを USB メモリーから本体のメモリーに読み込む。
	EXPORT TO USB	ENTER で実行	32 個のシーンファイルを本体のメモリーから USB メモリーに書き出す。
	FILE ID	最大 14 文字	USB メモリーに保存するシーンファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」（24 ページ）参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ
	DISSOLVE SPEED	<b>OFF</b> , ON 0.2 ~ 2.8 (0.2 ステップ), 3 ~ 10 (1 ステップ), <b>0.2</b>	シーンファイルの切り換えをシームレスにする機能
<REFERENCE> F03	STORE FILE	ENTER で実行	リファレンスファイル項目の現在の状態を、内蔵メモリーのリファレンスファイルに書き込む。
	STANDARD	ENTER で実行	内蔵メモリーに保存されているリファレンスファイルを読み出す。
	RESET REFERENCE FILE	ENTER で実行	内蔵メモリーに保存されているリファレンスファイルを工場設定に戻す。
	FACTORY RESET	ENTER で実行	全設定値を工場設定に戻す。
	IMPORT FROM USB	ENTER で実行	リファレンスファイルを USB メモリーから読み込む。
	EXPORT TO USB	ENTER で実行	リファレンスファイル項目の現在の状態を USB メモリーに書き出す。
	FILE ID	最大 14 文字	USB メモリーに保存するリファレンスファイルに入れるコメントを入力する。 ◆「文字列を設定するには」（24 ページ）参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ

FILE			
ページ名 ページ No.	項目	設定値	備考
<USER GAMMA> F04 HZC-UG50 インストール時のみ表示	IMPORT FROM USB	ENTER で実行	ユーザーガンマファイルを USB メモリーから読み込む。
	PRESET	ENTER で実行	本体のメモリーに保存されているユーザーガンマファイルのデータを呼び出す。
	FILE ID	最大 14 文字	USB メモリーに保存するユーザーガンマファイルに入れる。 コメントを入力する。 ◆「文字列を設定するには」(24 ページ) 参照
	CAM CODE	カメラコード	表示のみ
	DATE	日付	表示のみ
<LENS FILE> F05	STORE FILE	ENTER で実行	センターマーカースは含みません。
	No.	1 ~ 17, <b>1</b>	1 ~ 16 : 非シリアルレンズ使用時 (大型レンズ使用時はレンズ内部の設定に従います。) 17 : シリアルレンズ使用時
	NAME		非シリアルレンズ使用時のみ変更可
	F NO	F1.0 ~ F3.4, <b>F1.7</b>	非シリアルレンズ使用時のみ変更可
	CENTER MARKER		センターマーカース位置の設定と保存
	H POS	-48 ~ +48, <b>0</b>	H POS : 数値が大きいほど右
	V POS	-27 ~ +27, <b>0</b>	V POS : 数値が大きいほど下
<OHB FILE> F06	STORE FILE	ENTER で実行	CMOS 固有の項目のオフセット値を保存 (一度保存すれば、取り付け直したときの再保存は不要)
	STORE FILE	ENTER で実行	
<MATRIX FILE> F07	CUSTOM PRESET MATRIX		マトリクスのプリセットファイルの保存と呼び出し : カメラのメモリーにプリセットファイルを保存するときは、ファイル番号を指定する。
	STORE FILE	ENTER で実行	
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	CLEAR ALL	ENTER で実行	すべてのファイルを消去。
	IMPORT FROM USB	ENTER で実行	5 個のプリセットファイルを USB メモリーから本体のメモリーに読み込む。
	EXPORT TO USB	ENTER で実行	5 個のプリセットファイルを本体のメモリーから USB メモリーに書き出す。
	FILE ID	最大 14 文字	USB メモリーに保存するプリセットファイルに入れるコメントを入力 ◆「文字列を設定するには」(24 ページ) 参照
CAM CODE	カメラコード	表示のみ	
DATE	日付	表示のみ	
<BOX CURSOR FILE> F08	1:		BOX CURSOR FILE 選択と FILE 名入力
	2:		BOX CURSOR FILE を選択するときは、数字の左側にカーソルを合わせる。
	3:		BOX CURSOR FILE 名を入力するときは、数字の右側にカーソルを合わせる。
	4:		BOX CURSOR FILE 名を入力するときは、数字の右側にカーソルを合わせる。
	5:		◆「文字列を設定するには」(24 ページ) 参照
	STORE		BOX CURSOR FILE 名をカメラに保存
<HDR USER GAMMA FILE> F09	IMPORT FROM USB		BOX CURSOR FILE を USB からカメラへ転送
	EXPORT TO USB		BOX CURSOR FILE をカメラから USB へ転送
<HDR USER GAMMA FILE> F09	IMPORT FROM USB		USB メモリーを本体に挿入すると、USB メモリー内の HDR User Gamma グループファイルが表示されるので、インポートしたいファイルを選択する
	IMPORT		選択した HDR User Gamma グループファイルをインポートする
	RESET HDR USER GAMMA		HDR User Gamma のカーブ (1 ~ 5) を工場出荷時のものに初期化する

## DIAGNOSIS メニュー

表示のみで、カメラ機能の設定はできません。  
ただし、一部の項目では、表示のための条件設定を行います。

DIAGNOSIS			
ページ名 ページ No.	項目	表示	備考
<OPTICAL CONDITION> D01	CCU → CAM	GREEN, YELLOW, RED, NG, NO SIGNAL	<b>NO SIGNAL</b> : CCU 非接続時
	CAM → CCU	GREEN, YELLOW, RED, NG, NO SIGNAL	
	REFLECTION	OK, NG, --	-- : CCU 非接続時
	CABLE LENGTH	x.x km	カメラケーブル長を表示 (CCU 接続時のみ表示)
<BOARD STATUS> D02	OHB	OK, NG	
	DPR	OK, NG	
	SY	OK, NG	
	PS	OK, NG	
	HOURS METER	xxxx H	通算起動時間を表示
<ROM VERSION> D03 (U15)	CAMERA APP	Vx.xx	
	OS	Vx.xx	
	UPDATER	Vx.xx	
	SY	Vx.xx	
	DPR	Vx.xx	
	PS	Vx.xx	
<SERIAL NO.> D04	MODEL	xxxxxxx	機種名を表示
	NO.	xxxxxxx	シリアルナンバーを表示
	EFFECTIVE FUNCTION		オプション機能搭載時のみ、搭載オプション機能を表示
<POWER SUPPLY STATUS> D05	CAM LENGTH	x.x km	CCU が測定したケーブル長の値を表示 (CCU 接続時のみ表示)
	CABLE MARGIN	x.x m	伸長可能なケーブル長を表示 (CCU 接続時のみ表示)
<b>ご注意</b> この表示は、カメラの 給電状態を簡易的に表 示するもののため、誤 差があります。目安と してお使いください。	CAM INPUT VOLTAGE	0% ~ 100%	CCU 側の出力電圧に対するカメラ側の入力電圧の比率を表示
	CAM CONSUMPTION	0% ~ 100%	カメラの消費電力量を表示

# 付録

## 使用上のご注意

### レーザービームについてのご注意

レーザービームは、CMOS イメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOS イメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

### 強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

### 使い終わったら

電源スイッチを切ってください。

### 使用、保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。本体が濡れた場合、十分に乾燥させてから保管してください。

次のような場所での使用および保管は避けてください。

- 極端に暑い所や寒い所
- 湿気の多い所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発生する所
- 直射日光が長時間あたる所や暖房器具の近く

### 結露

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

### 有寿命部品について

- ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。
- 電解コンデンサの寿命は約5年です。(常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合)したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

## 本機搭載のCMOSイメージセンサーの現象

### ご注意

撮影画面に出る下記の現象は、イメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

### 白点

イメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。

これはイメージセンサーの原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- ゲイン(感度)を上げたとき

### フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯、LEDによる照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したように見ることがあります。

### 携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。

本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

### 医療機器に近づけない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

### インターネット接続についてのご注意

本製品は、専用線またはイントラネット接続で使用します。セキュリティ上の問題が生じる可能性がありますので外部ネットワークへの接続をしないでください。

### お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。

ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、乾拭きします。

アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗装がはげることがありますので、使わないでください。

エアダスターなどの高風圧機器を使ったお手入れは、光学部位へのほこりの侵入や機器内部の損傷につながりますのでお控えください。

## エラーメッセージ

操作中に異常が検出されたときは、下記のメッセージが表示されます。

### ご注意

メッセージを表示させるには、DISPLAYスイッチをDISPLAYまたはMENUに設定してください。

メッセージ	内容
TEMP WARNING	内部温度が異常に高い。
FAN STOP	内蔵ファンが正しく回転していない。
SET CORRECT SYSTEM DATE	内蔵時計の日時が設定されていない。
OHB BLOCK NG!	光学ブロックに異常が検出された。
NO USB FLASH DRIVE	USB メモリーが装着されていない状態で、USB メモリーの操作を行った。
USB FLASH DRIVE ERROR	USB メモリーへのアクセス中にエラーが発生した。
FORMAT ERROR!	フォーマットされていない USB メモリーにアクセスした。
WRITE PROTECTED	ライトプロテクトされている USB メモリーにファイルを書き込もうとした。
FILE ERROR	USB メモリーからファイルを読み込むときエラーが発生した。
OTHER MODEL'S FILE	互換性のない他の機種 of ファイルを読み込もうとした。
FILE NOT FOUND	読み出そうとしたファイルが USB メモリーに存在しない。
ZOOM/FOCUS CONTROL:RCP/MSU	RCP/MSU からレンズのズームとフォーカスをコントロール中です。レンズデマンドのズームとフォーカスは無効になっています。



# USB メモリーの取り扱い

USB端子にUSBメモリーを接続して、設定データファイルを保存・呼び出すことができます。

シリーズ名	製品名
USM-QX シリーズ	USM8GQX、USM16GQX、USM32GQX、USM64GQX、USM128GQX
USM-T シリーズ (日本国内専用)	USM8GT、USM16GT、USM32GT、USM64GT、USM128GT
USM-U シリーズ	USM4GU、USM8GU、USM16GU、USM32GU、USM64GU、USM128GU
USM-X シリーズ (生産終了)	USM8X、USM16X、USM32X、USM64X
USM-W3 シリーズ (生産終了)	USM8W3、USM16W3、USM32W3、USM64W3、USM128W3
USM-R シリーズ	USM4GR、USM8GR、USM16GR、USM32GR、USM64GR
USM-W シリーズ (海外専用)	USM8W、USM16W、USM32W、USM64W
USM-M1 シリーズ (海外専用)	USM8M1、USM16M1、USM32M1、USM64M1
USM-SA3 シリーズ (海外専用)	USM16SA3、USM32SA3、USM64SA3
USM-SA2 シリーズ (海外専用)	USM16SA2、USM32SA2、USM64SA2
USM-SA1 シリーズ (生産終了)	USM8SA1、USM16SA1、USM32SA1、USM64SA1
USM-CA1 シリーズ (生産終了)	USM16CA1、USM32CA1、USM64CA1
USM-L シリーズ (生産終了)	USM1GL、USM2GL、USM4GL、USM8GL、USM16GL、USM32GL
USM-LX シリーズ (生産終了)	USM1GLX、USM2GLX、USM4GLX、USM8GLX、USM16GLX、USM32GLX、USM64GLX
USM-N シリーズ (生産終了)	USM4GN、USM8GN、USM16GN、USM32GN
USM-P シリーズ (生産終了)	USM4GP、USM8GP、USM16GP、USM32GP、USM64GP
USM-M シリーズ (生産終了)	USM4GM、USM8GM、USM16GM、USM32GM
USM-Q シリーズ (生産終了)	USM8GQ、USM16GQ、USM32GQ、USM64GQ
USM-S シリーズ (生産終了)	USM4GS、USM8GS、USM16GS
USM-V シリーズ (生産終了)	USM4GV、USM8GV

## ご注意

- 推奨品以外の USB メモリーは、USB 端子に接続しても認識されないことがあります。
- USB メモリーは FAT16 または FAT32 ファイルシステムでフォーマットされている必要があります。推奨品はフォーマットされていますので、購入後そのままご使用できます。

# 仕様

一般	
電源	AC 240 V、1.4 A (max.) DC 12V、9.5A (max.) DC 240 V、1.05 A (max.)
動作温度	-20℃～+45℃
保存温度	-20℃～+60℃
質量	約 4.6 kg
外形寸法	67 ページ参照
撮像素子	
撮像素子	2/3 型グローバルシャッター付き CMOS センサー
方式	RGB 3 板式
電気特性	
感度	F10.0 (1080/59.94P、3840/59.94P、 反射率 89.9%にて) (プログレッシブ出力オプションインストール時)
ノイズレベル	-62 dB
水平解像度	2000TV 本 (画面中心) 変調度 5%以上
幾何学ひずみ	認められず (ただしレンズによるひずみを除く)
光学系仕様	
分光系	3 板プリズム方式
内蔵フィルター	1 : CLEAR 2 : 1/4ND 3 : 1/16ND 4 : 1/64ND 5 : CROSS
入出力端子	
CCU	光電気マルチコネクタ (1)
LENS	12 ピン (1)
VF	20 ピン (1)
MIC 1 IN	XLR 型 3 ピン、凹型 (1)
AUDIO IN CH1、CH2	XLR 型 3 ピン、凹型 (各 1) AUDIO スイッチ MIC 時 : -60 dBu (メニューの操作により -20 dBu まで切り換え可能)、平衡 AUDIO スイッチ LINE 時 : 0 dBu、平衡
INTERCOM	XLR 型 5 ピン、凹型 (1)
EARPHONE	4 極ミニジャック (1) (2 極モノラル、3 極ステレオ、4 極 CTIA 規格、4 極 OMTP 規格対応)
DC IN	XLR 型 4 ピン (1)、DC 10.5 V ~ 17 V
DC OUT	4 ピン (1)、DC 10.5 V ~ 17 V、 最大 0.5 A (ただし、負荷条件、入力条件などにより、 制限される場合があります。) 2 ピン (1)、DC 10.5 V ~ 17 V、 最大 2.5 A (ただし、負荷条件、入力条件などにより、 制限される場合があります。)
SDI 1	BNC 型 (1)
SDI MONI	BNC 型 (1)
TEST OUT	BNC 型 (1)

PROMPTER/GENLOCK	BNC 型 (1)
PROMPTER	1 Vp-p、75 Ω
GENLOCK	HD : SMPTE ST274、3 値 シンク、0.6 Vp-p、75 Ω SD : ブラックバースト (NTSC : 0.286 Vp-p、 75 Ω/PAL : 0.3 Vp-p、 75 Ω)
RET CTRL	6 ピン (1)
REMOTE	8 ピン (1)
TRACKER	12 ピン (1)
USB	USB 2.0 タイプ A 4 ピン (1) (USB メモリー接続用)

付属品	
ご使用になる前に (1)	
取扱説明書 (CD-ROM) (1)	
ケーブルクランプベルト (1 式)	
ネジ (+B3 × 8) (2)	
付属ラベル (1)	
カメラナンバーラベル (1)	

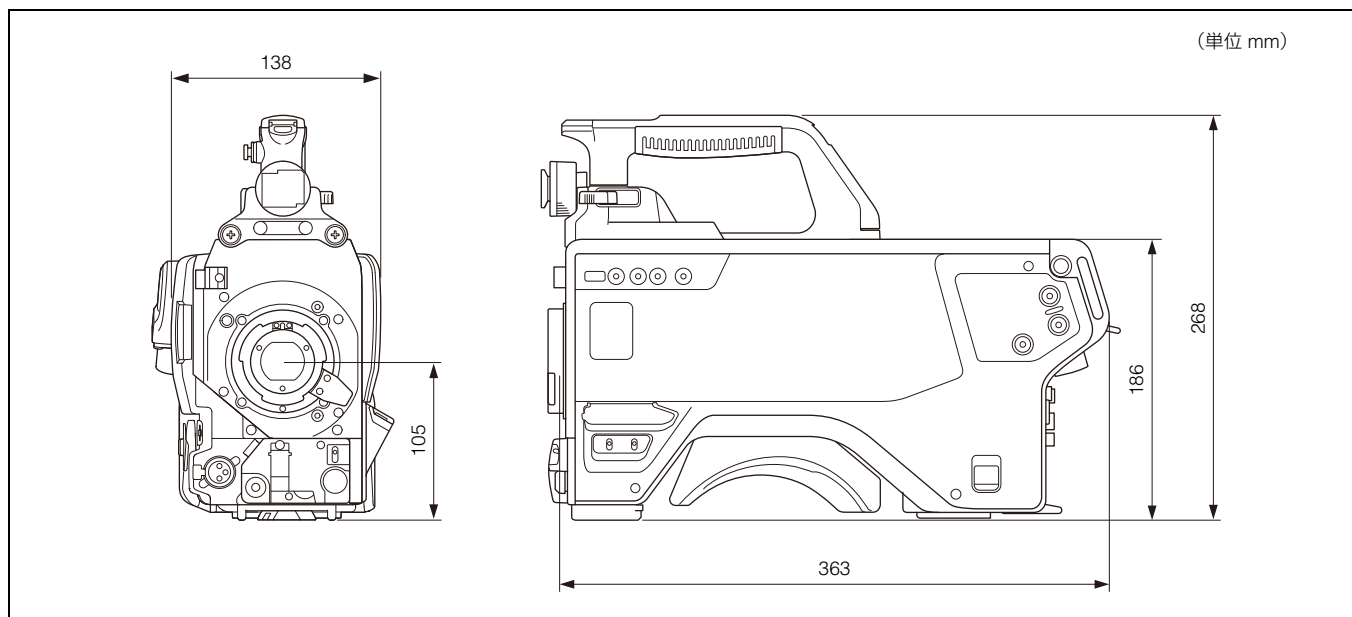
## 別売品／関連機器

別売品	
カメラオペレーティングソフトウェア	HZC-PRV50/PRV50M/PRV50W HZC-PSF50/PSF50M/PSF50W HZC-UG50/UG50M/UG50W HZC-DFR50/DFR50M/DFR50W
HD エレクトロニックビューファインダー	HDVF-EL20 (0.7 型、カラー) HDVF-EL30 (0.7 型、カラー) HDVF-EL75 (7.4 型、カラー) HDVF-L750 (7 型、カラー) HDVF-L770 (7 型、カラー)
マイクホルダー	CAC-12
リターンビデオセレクター	CAC-6
三脚アタッチメント	VCT-14
低反発ショルダーパッド	A-8286-346-A
大型レンズアダプター	HDLA1500/3500 シリーズ
大型ビューファインダーアダプター	HDLA1507
関連機器	
カメラコントロールユニット	HDCU5000/3500/3100/3170
HD カメラコントロールユニット	HDCU2000 シリーズ
リモートコントロールパネル	RCP-3000/1000 シリーズ
マスターセットアップユニット	MSU-3000/1000 シリーズ
カメラコントロールネットワークアダプター	CNA-1

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

## 外形寸法



## オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスの内容に関しては、付属のCD-ROM に収録されている「License」フォルダ内のPDFファイルをご覧ください。PDF ファイルをご覧いただくためには、Adobe Reader がコンピューターにインストールされている必要があります。